

【WEB掲載用】 ver2019.4

学生の皆さんは、この案内をよく読み、全内容を確認してください。
なお、変更事項等は、キャンパス内掲示版で周知します。

【 繊維学部2～4年生用 】

2019年度

上田キャンパス 履修案内

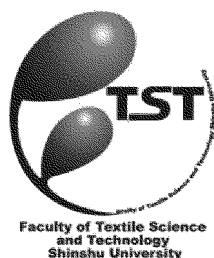
Guide about lessons at UEDA Campus

開設科目一覧表 授業時間割表

▼シラバス[授業内容]はWEB上で参照

<http://campus-2.shinshu-u.ac.jp/syllabus/syllabus.dll/top>

(信大トップページからアクセス)



信州大学繊維学部

2019年度 上田キャンパス 学年暦

-上田キャンパス(繊維学部, 大学院博士課程)-

※日付の下の「曜日○」は授業回数を表す

前期							後期										
日	月	火	水	木	金	土	備考	日	月	火	水	木	金	土	備考		
4	1	2	3	4	5	6	3日 ガイダンス 履修登録期間 (4/3~4/18) 4日 学部・大学院入学式 5日 安全教育 8日 前期授業開始 18日 履修登録〆切 22日 履修登録確認・訂正期間 (4/22~4/25)	10	1	2	3	4	5	9日 履修登録〆切 11日 履修登録確認・訂正期間 (10/11~10/16)			
	7	8	9	10	11	12			13	6	7	8	9		10	11	12
	14	15	16	17	18	19			20	13	14	15	16		17	18	19
	21	22	23	24	25	26			27	20	21	22	23		24	25	26
	28	29	30							27	28	29	30		31		
5			1	2	3	4	31日 履修登録取消期限(学部)	11					1	2	16日 学部推薦入試 19日 修士課程入試(2次, 飛級)(A日程) 29日 履修登録取消期限(学部)		
	5	6	7	8	9	10			11	3	4	5	6	7		8	9
	12	13	14	15	16	17			18	10	11	12	13	14		15	16
	19	20	21	22	23	24			25	17	18	19	20	21		22	23
	26	27	28	29	30	31				24	25	26	27	28		29	30
6						1	1日 開学記念日 11日 学部入試(3年次編入)	12								25日 冬季休業 (12/25~1/5)	
	2	3	4	5	6	7			8	1	2	3	4	5	6		7
	9	10	11	12	13	14			15	8	9	10	11	12	13		14
	16	17	18	19	20	21			22	15	16	17	18	19	20		21
	23	24	25	26	27	28			29	22	23	24	25	26	27		28
	30									29	30	31					
7							2日 修士課程入試(推薦) 16日 月曜日の授業実施 31日 前期期末試験(学部) (7/31~8/6)	1								16日 月曜日の授業実施 17日 臨時休業日 (大学入試センター試験準備) 28日 後期期末試験(学部) (1/28~2/3) 28日 博士課程入試	
	7	8	9	10	11	12			13	5	6	7	8	9	10		11
	14	15	16	17	18	19			20	12	13	14	15	16	17		18
	21	22	23	24	25	26			27	19	20	21	22	23	24		25
	28	29	30	31						26	27	28	29	30	31		
8							7日 前期期末試験調整日 (8/7~8/9) 10日 夏季休業 (8/10~9/25) 21日 修士課程入試(1次, 留学, 10月入学) 22日 博士課程入試	2								4日 後期期末試験調整日 (2/4~2/6) 7日 春季休業(2/7~3/31) 14日 修士課程入試(2次, 飛級, 社会人, 留学2次)(B日程) 25日 学部入試(前期日程)	
	4	5	6	7	8	9			10	2	3	4	5	6	7		8
	11	12	13	14	15	16			17	9	10	11	12	13	14		15
	18	19	20	21	22	23			24	16	17	18	19	20	21		22
	25	26	27	28	29	30			31	23	24	25	26	27	28		29
9							19日 履修登録期間 (9/19~10/9) 25日 卒業証書・学位記授与式 (9月卒業等) 大学院10月入学式 26日 後期授業開始	3								12日 学部入試(後期日程) 24日 卒業証書・学位記授与式	
	1	2	3	4	5	6			7	1	2	3	4	5	6		7
	8	9	10	11	12	13			14	8	9	10	11	12	13		14
	15	16	17	18	19	20			21	15	16	17	18	19	20		21
	22	23	24	25	26	27			28	22	23	24	25	26	27		28
29	30						29	30	31								

(凡例) 授業日 祝祭日
ガイダンス, 健康診断, 等

(凡例) 期末試験期間
振替授業日, 休講日

(振替授業日)
7/16(火) → 月曜日の時間割
1/16(木) → 月曜日の時間割

2019 年度 繊維学部 学事日程

	月	日	学 事
前 期	4月	1日(月)～5日(金)	ガイダンス実施期間, 健康診断, 安全教育(2年次必修集中講義)
		8日(月)	前期授業開始
		3日(水)～18日(木)	履修登録期間(前期・通年科目)
		22日(月)～25日(木)	履修登録確認・訂正期間
	5月	31日(金)	履修登録取消期限(前期・通年科目)
	6月	1日(土)	開学記念日
		15日(土)	TOEIC-IPテスト
	7月	1日(月)	前期 期末試験 時間割公示
		2日(火)	大学院修士課程入試(推薦)
		8日(月)～8月9日(金)	前期 授業アンケート実施期間
		16日(火)	振替授業日(月曜日の授業を行う)
		31日(水)～8月6日(火)	前期 期末試験期間
	8月	7日(水)～9日(金)	前期 期末試験 調整日
		10日(土)～9月25日(水)	夏季休業
		21日(水)	大学院修士課程入試(1次, 留学, 10月入学)
9月	2日(月)	前期 成績開示	
	25日(水)	9月卒業式	
後 期	9月	26日(木)	後期授業開始
		19日(木)～10月9日(水)	履修登録期間(後期科目)
	10月	7日(月)～11日(金)	繊維学部 授業公開期間
		11日(金)～16日(水)	履修登録確認・訂正期間
	11月	19日(火)	大学院修士課程入試(2次, 飛級)(A日程)
		29日(金)	履修登録取消期限(後期科目)
	12月	7日(土)	TOEIC-IPテスト
		25日(水)～1月5日(日)	冬季休業
	1月	6日(月)	授業再開
			後期 期末試験 時間割公示
		7日(火)～2月7日(金)	後期 授業アンケート実施期間
		16日(木)	振替授業日(月曜日の授業を行う)
		17日(金)	センター試験準備(休講)
		28日(火)～2月3日(月)	後期 期末試験期間
	2月	4日(火)～6日(木)	後期 期末試験 調整日
7日(金)～		春季休業	
14日(金)		大学院修士課程入試(2次, 飛級, 社会人, 留学2次)(B日程)	
28日(金)		後期 成績開示	
3月	6日(金)	卒業判定結果通知	
	16日(月)	3年次進級判定結果通知	
	24日(火)	3月卒業式	

※日程等是一部変更される場合があります。掲示板などで必ず確認してください。

繊維学部・大学院の理念及び教育研究目標

理念

豊かな自然に抱かれた本学部・大学院は、衣・食・住の要である“繊維”に根ざした伝統的な科学技術を背景として、学際的先端科学技術のさらなる展開を図り、21世紀における文化創造科学技術を開拓するとともに、優れた人格と国際性を有し、未来を創造しうる、広い視野と高い能力を持つ技術者、高度専門職業人、研究者を養成します。そして、地球環境と共生し、人類社会の発展と平和、福祉の向上に資することを理念とします。

教育研究の目標

上記の理念に基づいて、社会および国際的に開かれた学部・大学院として、以下の教育と研究の目標を置いています。

▼教育の目標

<学部>

学部においては、以下の能力を涵養し、技術者、将来の研究者として十分な基礎的素養を身につけ、総合的視野と高い能力を備えた人材を養成します。

1. 優れた人格の形成
 - ・豊かな人間性
 - ・社会に対する貢献と責任意識
 - ・高い倫理観
2. 進展する科学技術と社会の変化に対応しうる能力、未来創造能力
 - ・普遍的基礎学力
 - ・課題設定・探求能力
 - ・学際・業際領域を開く創造的能力
 - ・自己啓発能力
 - ・チャレンジ精神・起業家精神（ベンチャー精神）
3. 基礎学力に裏付けされた専門性
 - ・専門的能力
 - ・実践的能力
 - ・経営・企画等能力（マネジメント能力）
4. 国際性
 - ・自国文化・異文化理解力
 - ・外国語能力と個性豊かな表現力
5. 情報処理能力

<大学院>

大学院においては、学部で設定された教育目標をさらに深めるとともに、以下の能力を涵養し、研究の目標に掲げる諸分野の教育と学術研究の推進によって、高度専門職業人、研究者を養成します。また、広く社会人および海外からの留学生を積極的に受け入れ、専門的教育研究およびリフレッシュ教育を行います。

1. 深い体系的な基礎力
2. 実践的技術力・研究開発能力
3. 高度の専門的知識・能力
4. 広い視野と総合的判断力

▼研究の目標

本学が長年蓄積してきた繊維および関連科学技術はもとより、21世紀においてますます重要となる資源、エネルギー、環境とリサイクル、安全で豊かな文化生活、情報・通信、医療・健康・福祉等に関わる学際的先端領域を開拓するために、以下の目標を設定しています。

1. 国際的、学際的工学系新領域の開拓
2. 新ライフスタイルを生み出す文化創造科学技術の創成
3. フロンティア繊維総合技術科学の国際的中核研究拠点(COE)の形成
4. 産官学連携協力による新産業の創出
5. 地域産業の振興への貢献

目次



上田キャンパス学年暦

繊維学部学事日程

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）・・・・・・・・・・ 2
教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

履修の手引き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

- 履修登録，成績確認
- 卒業，4年次への進級
- 定期試験心得
- 学科横断教育プログラムの履修
- 台風・大雪等における授業及び試験の取り扱い

2019年度 開設科目一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

- 専門科目16F～18F学生対象
（新カリ：学科・コース別）
- 高年次共通教育科目（上田キャンパス開講分）
- 教職関係科目

2019年度 授業時間割表・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

進級・卒業所要単位・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

キャンパス情報システム操作手引・・・・・・・・・・ 43

キャンパスライフ・・・・・・・・・・・・・・・・ 57

- キャンパスライフサポート一覧
- 保健室のご案内
- 図書館のご案内
- 施設・建物のご案内
- 施設等使用規則
- 繊維学部学生登録団体について
- 災害発生時の避難・行動マニュアル



上田キャンパスマップ・・・・・・・・・・・・・・・・ 79



学位授与の方針(ディプロマポリシー)

教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)

○学位授与の方針(ディプロマポリシー)

学位授与の方針(ディプロマポリシー)とは、学位授与に関する基本的な考え方について各大学がその独自性や特色を踏まえてまとめたもので、この方針において卒業(修了)生に修得を期待する能力などを示したものです。

繊維学部では、全学の学士課程のディプロマ・ポリシーに基づき、学部のディプロマ・ポリシーを以下の通り定めています。

○教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)

教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)とは、教育目標やディプロマポリシー等を達成するために必要な教育課程の編成や授業科目の内容および教育方法について基本的な考え方を示したものです。

繊維学部では、全学の学士課程のカリキュラムポリシーに基づき、学部及び各課程のカリキュラムポリシーを以下の通り定めています。



信州大学学位授与の方針(ディプロマポリシー)

信州大学は、豊かな自然環境と、伝統ある歴史と文化に恵まれた信州に立地する大学です。本学では、かけがえのない自然や文化を愛する気持ちをもって、人類文化・思想の多様性を受け入れ、豊かなコミュニケーション能力を持つ教養人であるとともに、高度な専門知識と能力を備えて自ら課題を発見し、その解決にむけて挑戦する心をもった個性的な人材を育てることを理念・目標に掲げています。本学は、この理念・目標を踏まえて、以下に示す資質、知識や能力を、共通教育(教養教育、基礎教育)、専門教育及び課外活動を含む大学内外での幅広い教育活動を通じて培うこととし、ここに本学の学士課程に共通する学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を定めます。

豊かな人間性

- みずから他者や社会との関わりをなかで捉え、自己啓発に努めることができる【自己認識・自己啓発マインド】
- 理想や倫理観をもって社会の平和的・持続的発展のために行動できる【社会的行動マインド】

人類知の継承

- 人類の知を継承し、それらの成果の上で未来について創造的に考えられる【人類知の継承と未来創造マインド】
- 世界の多様な文化、思想、歴史、芸術に関する幅広い素養がある【多様な文化受容マインド】
- 科学諸分野の歴史やその成果に関して幅広く理解できる【科学リテラシー】

社会人としての基礎力

- 日本語および外国語を用い、的確に読み、書き、聞き、他者に伝えることができる【言語能力】
- 対話を通じて他者と協力し、目標実現のために方向性を示すことができる【コミュニケーション能力、チームワーク力、リーダーシップ】
- 多様な情報を適切に取捨選択し、分析・活用できる【情報活用力】
- みずから問題を見出し、すじみちを立てて解決できる【問題発見・解決能力】

科学的・学問的思考

- 自然や社会の現象を普遍的な尺度や数量的指標を用いて理解できる【普遍的・数量的理解力】
- 専門学問分野における知識・技能を備え、それらに応用できる【専門知識と応用力】
- 専門以外の他分野に関する体系的な知識や素養がある【専門外の知識】

環境マインド

- 信州の自然・文化的環境への興味と関心をみずから深めることができる【地域環境に関する理解】
- 自然および人類社会が直面している環境問題を理解することができる【環境基礎力】
- 地球環境と人類文化との調和・共生のため、積極的に行動することができる【環境実践力】



信州大学教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)

学士課程における教育課程編成の方針

1. 信州大学は、学部及び学科又は課程の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設し、体系的に教育課程を編成します。
2. 信州大学は、教育課程の編成に当たっては、学部の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮します。

学士課程における教育課程実施の方針

1. 信州大学「学位授与の方針」に定めた、卒業時までに修得すべき知識・能力等が、カリキュラム体系のなかでどのように養成されるのかを示すため、シラバスで「学位授与の方針」で定められた知識・能力等との対応と、それら諸能力等を修得する方法が理解しやすいように配慮します。
2. 信州大学は、学生個人の主体的で活発な勉学意欲を促進する立場から、予習・復習等、授業時間外のさまざまな機会を通じ、諸課題に積極的に挑戦させます。
3. 信州大学は、成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、各科目に掲げられた授業の狙い・目標に向けた到達度をめやすとして採点し、評価の客観性を担保するため、複次的・複層的な積み上げによる成績評価を行います。



繊維学部学位授与の方針(ディプロマポリシー)

繊維学部は、衣・食・住の要である「繊維」に根ざした伝統的な科学技術を背景として、学際的前沿科学技術のさらなる展開を図り、21世紀における文化創造科学技術を開拓します。また、優れた人格と国際性を有し、未来を創造しうる、広い視野と高い能力を持つ技術者、高度専門職業人、研究者を養成します。この理念に基づいて、全学共通の学士学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のうち、科学的・学問的思考【専門知識と応用力】に関する学部・課程のディプロマ・ポリシーを以下の通り定めます。

普遍的基礎学力

- 繊維科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力が身に付いている。

創造的能力

- 繊維科学に関連する学際・業際領域を切り拓く創造的能力が身に付いている。

マネジメント能力

- 専門分野において企画・管理等を行えるマネジメント能力が身に付いている。

【先進繊維・感性工学科】

先進繊維・感性工学科では、以下の能力や知識を身につけた学生に「学士（工学）」の学位を授与します。

- (1) モノづくりの基本である「工学的アプローチ」能力および自然科学、人文科学、社会科学を横断的に取り込める普遍的基礎学力。
- (2) 豊かな感性と発想を基に、モノ作りや産業・社会システムの創出に取り組む構想力と創造的能力。
- (3) 繊維関連製品群に関するマーケティング情報の収集能力や情報分析能力。
- (4) 繊維関連製品の生産方法、品質管理、設計、計測・評価に関する知識と能力。

【機械・ロボット学科】

機械・ロボット学科では、以下の能力や知識を身につけた学生に「学士（工学）」の学位を授与します。

- (1) 材料、エネルギー、電子、情報、制御を含む幅広い工学分野に生物学を加えた融合領域に関する基礎知識を有する。
- (2) ヒトと環境にやさしい機械を創造するための専門的知識と課題解決能力を有する。
- (3) コミュニケーションおよび情報収集・発信能力を有する。
- (4) 課題解決に向けて自主的・継続的に学習・計画・実行できるデザイン力と実行力を有する。

【化学・材料学科】

化学・材料学科では、以下の能力や知識を身につけた学生に「学士（工学）」の学位を授与します。

- (1) 自然や社会を多面的に捉え、それに技術がおよぼす影響を理解する能力。
- (2) 自立した研究者・技術者として行動する能力。
- (3) 化学・材料に関する工学的問題を解決する能力。
- (4) 現代の社会問題を見出し、工学的に解決する能力。

【応用生物科学科】

応用生物科学科では、以下の能力や知識を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

- (1) 生物の詳細な構造・構成成分・機能についての基礎学力。
- (2) 実験事実に基づいて客観的・論理的に考える能力。
- (3) 生物科学の応用に際して直面する課題を理解し、自立して問題解決の方法を探る能力。
- (4) 自分の考えを伝え、チームとして行動できるコミュニケーション能力



繊維学部教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

【学部共通】

- (1) 共通教育においては、人文・社会科学、自然科学など、幅広い分野の「教養科目」を履修し、豊かな人間性、高い倫理観、社会に対する貢献と責任意識を養う。専門教育の導入科目としての「基礎科目」を履修し、進展する科学技術と社会の変化に対応しうる普遍的基礎学力を養う。また、国際的なコミュニケーション能力（外国語能力と個性豊かな表現力）や、自国文化・異文化理解力を高めるために、外国語科目を履修する。
- (2) 専門基礎教育では、応用物理、応用化学、応用生物学などの分野についてバランスよく学び、自然科学の幅広い知識を身につけるとともに、課題設定、探求能力などを養うために、基礎的な実験、実習を履修する。
- (3) 専門教育では、総合科学としての繊維科学をより深く学ぶための感性工学、材料化学、機械・ロボット学、繊維化学、繊維生物学などの専門的な知識を習得する。技術者倫理、ビジネスマネジメント、情報処理演習などの学部共通科目を履修することにより、経営・企画に関わるマネジメント能力、情報解析力、情報処理能力などの実践的能力を養う。また、学際的視野を広げるために、卒業論文作成や卒業研究ゼミナールなどを通して、先端的な繊維研究ならびに境界領域の研究に触れ、研究の方法を学ぶとともに、自由な発想と柔軟な創造的能力を身につける。

【先進繊維工学コース】

日本で唯一のテキスタイル工学、スポーツ工学、材料科学、計測工学を基礎とした学術体系のもとに新しい機能性や快適性を有する繊維製品、繊維材料、スポーツウェア素材、インテリアに関する研究を推進し、独自の価値を創造できる技術者・研究者を育成する。

1年次では、広い視野、英語力、コミュニケーション能力を養う。また、専門系の科目として、工学系の学問を学ぶ上で欠くことのできない数学と物理学の基礎学力を養う基礎科学科目ならびに専門分野の全体像を紹介する導入的な専門科目を学ぶ。

2年次は、工学分野の基礎的な科目を学び、特定の分野に偏らない幅広い工学の基礎知識と実験の基礎技術を修得することにより目まぐるしく進化する科学技術に柔軟に対応していけるバックグラウンドを養う。専門科目では先進繊維工学の基礎となる科目群を学修する。

3年次では、2年次まで培った幅広い工学の基礎知識と専門科目の知識の上に、より高度な専門的知識と実験技術を積み上げ、プロフェッショナルとして活躍するための基礎を形成する。なお、2年次と3年次の2年間で、繊維工学・感性工学的観点から繊維・ファイバー工学へアプローチする繊維学部特有な繊維材料に関する科目群、繊維製品の設計製造に関する科目群、繊維製品の計測評価に関する科目群を系統的に学ぶことができ、テキスタイルエンジニアリングに関する技術と知識を身につけることができるカリキュラムとしている。

4年次では、それまでの学修成果を、現実の、解答未知の問題の解決に応用し、実力の発揮を試される卒業研究を行う。ここでは、問題を見出す力、問題を分析する力、研究報告書をまとめ発表する力を養い、独自の価値を創造して人々の暮らしを豊かにする製品づくりに活かせる総合能力を身につけさせる。

【感性工学コース】

感性価値の観点から、人間の感性を活かしたモノ・コトづくりを実現するために、今までの工学系では取入れられることが少なかったデザイン学や心理・生理学などの分野を積極的に導入し、従来の材料科学、情報科学、身体科学・スポーツ科学などと融合した学際的研究展開から、明日に向けた感性価値の創造を追求し、開発できる技術者・研究者を育成する。

1年次では、広い視野、英語力、コミュニケーション能力を養う。また、専門系の科目として、工学系の学問を学ぶ上で欠くことのできない数学と物理学の基礎学力を養う基礎科学科目ならびに専門分野の全体像を紹介する導入的な専門科目を学ぶ。

2年次では、感性工学の基礎となる専門科目を学修する。また、感性工学の修得に重要な実験実習も行う。

3年次では、感性工学の活動分野を意識した科目を多く学修する。内容も専門性が進む、応用的な学問に触れる。なお、2年次と3年次の2年間で、繊維工学・感性工学的観点から繊維・ファイバー工学へアプローチする繊維学部特有な感性生理心理を知る領域、感性情報を活かす領域、感性で創造する領域を系統的に学ぶことができ、感性工学に関する技術と知識を身につけることができるカリキュラムとしている。

4年次では、それまでの学修成果を、現実の、解答未知の問題の解決に応用し、実力の発揮を試される卒業研究を行う。ここでは、問題を見出す力、問題を分析する力、研究報告書をまとめ、発表する力を養い、独自の価値を創造して人々の暮らしを豊かにする製品づくりに活かせる総合能力を身につけさせる。

【機能機械学コース】

限りなく人に近い機能と人を超越する性能を持つ機械の創造を目指して、環境に調和しながら生活の質の向上と暮らしを豊かにする技術の創出に貢献し、ものづくりに必要な学問と技術を修得し、総合的なものづくりができる感性と創造力の豊かな技術者・研究者を育成する。

1年次では、教養科目と工学の基礎となる基礎科学科目を履修する。

2年次では、工学の基礎知識と実験技術とともに、機能機械学の基礎となる専門科目を学ぶ。

3年次では、高度な専門的知識と実験技術を積み上げ、技術者・研究者として活躍するための基盤を形成する。なお、2年次と3年次の2年間で、機械工学・ロボット学的観点から繊維・ファイバー工学へアプローチする繊維学部特有な材料科目群、エネルギー・流体科目群、メカトロニクス科目群、ロボティクス科目群を系統的に学ぶことができ、機能機械学に関する技術と知識を身につけることができるカリキュラムとしている。

4年次では、卒業研究に取り組み中で、これまでの学修成果である共通教育科目、専門科目の知識を実際問題に適用することにより、ヒトと環境にやさしい機械の創造力やデザイン力、課題解決力、コミュニケーション力を養う。

【バイオエンジニアリングコース】

生物と工学の専門基礎とバイオエンジニアリングに関する専門分野を体系的かつ総合的に学び、地球的視点から多面的に物事を考えることができ、また、ヒトと環境に優しいものづくりのための生物から発想を得た新たなシステムと創造的なバイオデザインのできる技術者・研究者を育成する。

1年次では、教養科目と工学の基礎となる基礎科学科目を履修する。
2年次では、工学の基礎知識と実験技術とともに、バイオエンジニアリングの基礎となる専門科目を学ぶ。
3年次では、高度な専門的知識と実験技術を積み上げ、技術者・研究者として活躍するための基盤を形成する。なお、2年次と3年次の2年間で、機械工学・ロボット学的観点から繊維・ファイバー工学へアプローチする繊維学部特有な材料科目群、エネルギー・流体科目群、メカトロニクス科目群、生体医工学科目群を系統的に学ぶことができ、バイオエンジニアリングに関する技術と知識を身につけることができるカリキュラムとしている。
4年次では、卒業研究に取り組み中で、これまでの学修成果である共通教育科目、専門科目の知識を実際問題に適用することにより、ヒトと環境にやさしい機械の創造力やデザイン力、課題解決力、コミュニケーション力を養う。

【ファイバー材料工学コース】

化学・材料と化学工学を融合した先進ファイバー工学に立脚し、ファイバー・機能性材料の化学や物性、プロセス・システムに関する教育・研究を行い、材料・デバイス分野や化学プロセス・システム分野で活躍する技術者・研究者を育成する。

1年次では、一般教養科目と専門基礎科目の学修を通して、社会人として不可欠な教養や高年次の専門分野に進む上で必要となる基礎を身につける。さらに、学部共通科目の「繊維科学の基礎」や共通教育科目の「新入生ゼミナール科目」の学修により、化学・材料系の専門分野への関心を深めるとともにコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を身につける。

2年次では、「無機化学Ⅰ・Ⅱ」、「熱力学Ⅰ・Ⅱ」、「有機化学Ⅰ・Ⅱ」、「量子力学」などの化学・材料系の専門分野の学修に必要な基礎化学を学修する。また化学工学の基礎として、「移動現象論」、「物理化学数学」を学修する。科学者・技術者としての倫理的指針を教示し、環境・安全に関する幅広い知識を修得するために、「技術者基礎概論」、「コミュニケーション法」を学修する。また、講義の内容を実験的な知識として修得するために「基礎化学実験Ⅰ・Ⅱ」を履修する。

3年次では、より専門性の高い知識と実験技術を修得する。さらに、「ファイバー材料工学実験Ⅰ・Ⅱ」の履修により卒業研究・大学院での研究に必要な実験的な知識・技術を身につける。なお、2年次と3年次の2年間で、化学・材料科学的観点から繊維・ファイバー工学へアプローチする繊維学部特有なファイバー化学科目群、化学工学科目群、材料化学科目群、デザイン・マネジメント科目群を系統的に学ぶことができ、ファイバー材料工学に関する技術と知識を身につけることができるカリキュラムとしている。

4年次では、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」、「材料化学工学特別演習Ⅰ・Ⅱ」の履修により、化学・材料と化学工学を融合した先進ファイバー工学の専門知識をさらに深めるとともに、先端的な研究を遂行するためのより高度な知識・技術、そしてそれを応用する力を培い、材料に関する工学的問題を解決し、工学システムやプロセスを設計する能力を身につける。

【機能高分子学コース】

高分子化学、材料化学、生物化学を基盤として、構造制御や集合状態制御による高機能・高性能高分子・繊維材料の創成、生命機能の分子レベルでの解明と模倣による自然や人間に優しい材料・技術の開発に関する先端的な研究を行うとともに、高分子・繊維分野で活躍する技術者・研究者を育成する。

1年次では、一般教養科目と専門基礎科目の学修を通して、社会人として不可欠な教養や高年次の専門分野に進む上で必要となる基礎を身につける。さらに、学部共通科目の「繊維科学の基礎」や共通教育科目の「新入生ゼミナール科目」の学修により、化学・材料系の専門分野への関心を深めるとともにコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を身につける。

2年次では、化学・材料系の専門分野の学修に必要な基礎化学、科学者・技術者としての倫理的指針を教示し、環境・安全に関する幅広い知識を修得する。また、講義の内容を実験的な知識として修得するために「基礎化学実験Ⅰ・Ⅱ」を履修する。さらに、コース専門科目の修得のための基礎として、「高分子物性」、「高分子合成化学Ⅰ」、「生化学Ⅰ」、「有機化学Ⅲ」などを学修する。

3年次では、より専門性の高い知識と実験技術を修得する。さらに、「機能高分子学実験Ⅰ・Ⅱ」の履修により卒業研究・大学院での研究に必要な実験的な知識・技術を身につける。なお、2年次と3年次の2年間で、化学・材料科学的観点から繊維・ファイバー工学へアプローチする繊維学部特有なバイオポリマー科目群、機能分子化学科目群、高分子・ファイバー化学科目群を系統的に学ぶことができ、機能高分子学に関する技術と知識を身につけることができるカリキュラムとしている。

4年次では、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」、「機能高分子学特別演習Ⅰ・Ⅱ」の履修により高分子・繊維分野の専門知識をさらに深めるとともに、先端的な研究を遂行するためのより高度な知識・技術、そしてそれを応用する力を培い、新時代の高分子化学・高分子工業を拓く創造力を身につける。

【応用分子化学コース】

繊維化学に関する教育研究の伝統を受け継ぎ、有機・無機・物理化学を基盤として、分子を自在に操ることにより、色素・染料、有機機能性分子、繊維素材、炭素素材等の新しい化学物質の創成ならびに機能の開拓に関する先端的な研究を行うとともに、現代社会の化学分野で活躍する技術者・研究者を育成する。

1年次では、一般教養科目と専門基礎科目の学修を通して、社会人として不可欠な教養や高年次の専門分野に進む上で必要となる基礎を身につける。さらに、学部共通科目の「繊維科学の基礎」や共通教育科目の「新入生ゼミナール科目」の学修により、化学・材料系の専門分野への関心を深めるとともにコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を身につける。

2年次では、化学・材料系の専門分野の学修に必要な化学の基礎とともに、科学者・技術者としての倫理的指針を教示し、環境・安全を含めた幅広い知識を修得する。また、講義の内容を実験的な知識として修得するために「基礎化学実験Ⅰ・Ⅱ」を履修する。さらに、コース専門科目の修得のための基礎として、「応用分子化学Ⅰ」、「工業化学」、「高分子化学Ⅰ・Ⅱ」などを学修する。

3年次では、より専門性の高い知識と実験技術を修得する。さらに、「応用分子化学実験」、「応用物理化学実験」および「機器分析化学」の履修により卒業研究・大学院での研究に必要な実験的な知識・技術を身につける。なお、2年次と3年次の2年間で、化学・材料科学的観点から繊維・ファイバー工学へアプローチする繊維学部特有な応用分子化学科目群、高分子・ファイバー化学科目群を系統的に学ぶことができ、応用分子化学に関する技術と知識を身につけることができるカリキュラムとしている。

4年次では、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」、「応用分子化学特別演習Ⅰ・Ⅱ」の履修により応用化学・繊維分野の専門知識をさらに深めるとともに、先端的な研究を遂行するためのより高度な知識・技術、そしてそれを応用する力を培い、化学及び化学関連分野の専門技術を活かし、関連する諸問題を解決する能力を身につける。

【応用生物科学科】

応用生物科学科は、生物科学・農学的観点から、生物学の基礎知識に加えて、生物由来繊維の応用と作製や生物由来物質の繊維加工への応用を志向したカリキュラムにより専門科目を履修する。生物の構造と機能に関して多様な視点からの知識を修得し、工学との連携によるバイオファイバー・バイオ素材の利活用をはじめとする多面的な課題への対応能力を身につけた人材を養成することにより、生物資源の持続的な利活用が可能な社会の実現に貢献することを理念とする。

1年次では、教養科目と基礎科学科目の学修を通して、社会人として不可欠な教養や高年次の専門分野に進む上で必要となる基礎を身につける。さらに、学部共通科目の「繊維科学の基礎」や共通教育科目の「新入生ゼミナール科目」の学修により、応用生物科学の専門分野への関心を深める。

2年次では、専門分野の学修に必要な有機化学、環境化学、遺伝学など幅広い知識を修得する。また、講義の内容を実験的な知識として修得するために「生物科学基礎実験Ⅰ・Ⅱ」を履修する。さらに、生物学・生物工学に関する基礎知識の修得のため、「動物生理学」「植物生理学」「生化学Ⅰ・Ⅱ」「分子生物学」「生物繊維資源学」などを学修する。

3年次では、より専門性の高い知識と実験技術を修得し、卒業研究・大学院での研究に必要な実験的な知識・技術を身につける。なお、2年次と3年次の2年間で、生物科学・農学的観点から繊維・ファイバー工学へアプローチする繊維学部特有なバイオファイバー科目群を系統的に学ぶことができ、応用生物科学に関する技術と知識を身につけることができるカリキュラムとしている。

4年次では、「卒業研究」「論文講読・プレゼンテーション演習」の履修により応用生物科学の各分野の専門知識をさらに深めるとともに、先端的な研究を遂行するためのより高度な知識・技術、そしてそれを応用する力を培い、生物の構造・機能について実験事実に基づく客観的・論理的な思考力を身につける。併せて直面する課題に対し、自立して問題解決の方法を探る能力及びコミュニケーション能力を身につける。

2019年度



履修の手引き

- 履修登録，成績確認（Web）
- 卒業，4年次への進級
- 定期試験心得
- 学科横断教育プログラムの履修
- 台風・大雪等における授業及び試験の取り扱い

履修の手引き

◆カリキュラムについて【学部】

繊維学部では、平成24年度入学生から『系』の組み替えを、平成28年度入学生から新たに『学科』の設置をそれぞれ行い、これに伴いカリキュラムも改正されました。

ただし、学生には入学した年度のカリキュラムが卒業まで適用されます。

新カリ＝平成28年度以降に入学した学生【16F～19F】に適用されるカリキュラム
旧カリ＝平成24～27年度に入学した学生【12F～15F】に適用されるカリキュラム
旧旧カリ＝平成23年度以前に入学した学生【～11F】に適用されるカリキュラム

履修計画をたてる際は、入学時に配布された『学修便覧』で履修すべき科目と単位、進級関門・卒業所要単位等を各自で十分に確認してください。

また、この『履修案内』で説明する制度についても、入学年度によって取り扱いが異なる場合があります。

★「自由科目」（専門科目）について

下記のとおり卒業要件上の扱いが異なりますので、注意してください。

新カリ：履修できるが卒業要件に算入しない科目です（科目区分は「開設科目一覧表」参照）。

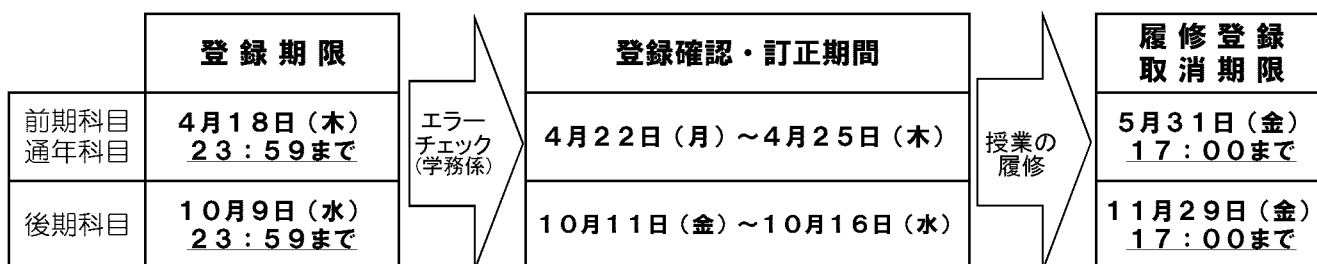
旧カリ、旧旧カリ：他系専門科目、他課程専門科目を指します。修得した単位は、各課程が定める範囲内で選択科目として卒業要件に算入されます（化学・材料系は除く）。

◆履修登録（Web）

履修登録等は、すべてWeb上で行います。下記のとおり登録期限、登録確認・訂正期間、履修登録取消期限を確認の上、「Webによる履修登録・成績確認」操作手引書（後頁）を参照して登録してください。

1 登録期限 ⇒ 登録確認・訂正期間 ⇒ 履修登録取消期限

※学部生のみ対象



※履修登録の取消は期限日の17時までに学務係窓口へ届出のあったもののみ有効です。

★★注意事項★★

- ◆通年の授業科目は、4月に一度だけ登録します。（後期時での登録は不要）
- ◆「前期後半」、「後期後半」指定の科目も、各学期の登録期限までに登録してください。その際、前半の科目を当該曜日・時限に、後半の科目を「その他」の欄に登録してください。
- ◆「集中講義」科目については、掲示等により登録時期・方法を別途連絡します。
- ◆専門科目の履修登録コードは、16～18F学生は8ケタ、15F以前の学生は5ケタです。
開設科目一覧表と授業時間割表（後頁）の履修登録コードをよく確認してください。
- ◆登録期限間際は混み合いますので、できるだけ早めの登録を心がけましょう。
- ◆登録期限後にエラーチェック処理（学務係）によりエラーのある科目がはじき出されます。
エラーチェック後の登録確認を怠り、訂正等しないまま履修しても、成績はつきません。
（エラーのある科目は、画面上に「科目コード不正」等のエラーメッセージが表示されます）
- ◆登録期限までに登録し忘れた場合は、確認・訂正期間にWeb登録してください。

2 Web登録できない科目の処理

◆次の科目は、「特別履修登録届」の提出により登録してください。

ただし、15F以降の学生が、この手続きをすることにより履修登録上限単位（後述）を超える場合は、担当教員の許可があっても登録できません。

①再試等を認められた科目のうち、時間割が正規授業と重複する科目 ②10月入学や留年生で、開設学期をずらして履修登録を認められた科目 ③その他特殊事情のある科目（学務係で事前相談）	「特別履修登録届」（学務係で配布）に記入の上、確認・訂正期限までに学務係へ提出
---	---

※特別履修登録届による科目（学務係がシステム登録）の登録確認は、確認・訂正期間後にWeb等で確認してください。

◆過去に履修し合格（可以上）している科目は、登録できません（エラーチェックで強制的に削除されます）。

3 再履修（未修得）科目の履修【12F～15F】

◆旧カリ【12F～15F】の学生が再履修（未修得）の科目を履修する場合は、新旧のカリキュラム間で科目を讀替えた上で新カリ学生が履修する科目を履修することになります。別途「新旧カリキュラム讀替表」（学務係で配布）で科目ごとの讀替関係を確認してから履修してください。履修について不明な点がある場合は、各コース、課程の教務委員に相談してください。

◆履修登録の際は、旧カリの履修登録コード（5ケタ）で登録してください。

◆11F以前の学生は、学務係窓口で履修登録の手続きをしてください。

4 履修登録取消制度 【学部授業科目のみ】

◆次の理由により履修登録を取消す場合は、「履修登録取消願」により期限内に手続きしてください。

①授業内容が本人の見込違いにより、そのまま履修を続けても成績の見込みが立たない場合 ②事故や病気等、やむを得ない理由により受講ができなくなった場合 ③クラスの登録間違いによる場合（Aクラスを受講していたところ、誤ってBクラスのコードを登録した場合など）	「履修登録取消願」（学務係で配布）に記入し、担当教員の許可を得た上で、履修登録取消期限までに学務係へ提出
--	--

※履修登録取消願による科目（学務係がシステム取消）の取消確認は、届出後にWeb等で確認してください。

◆履修を取消した授業科目はGPAに算入されません。（対象は平成26年度入学生【14F】以降）

◆取消期限日までに履修登録取消を行わない場合はGPAに算入されます。（対象は平成26年度入学生【14F】以降）

◆取消手続きをせず受講もしなかった科目の成績は、「不可」（GP：0）となります。また、誤って登録した科目を取消手続きをしないまま放置した場合も同様に「不可」となります。

◆取消手続きには授業担当教員の許可が必要です。取消期限後に取消することはできませんので、余裕をもって手続きしてください。

◆取消した科目は後述する履修登録上限単位数に含まれます。（平成27年度入学生【15F】以降）

【「不受講」廃止】

平成27年度に、「不受講」という評価は廃止されました。上記のとおり、履修取消手続きを行わない限り、登録しただけで受講しなかった科目も「不可」となります。ただし、平成26年度以前についた「不受講」は変更されません。

5 履修登録上限単位（キャップ制度）【学部のみ】（対象は平成27年度入学生【15F】以降）

◆平成27年度【15F】以降に入学した学生に対しては、1学期に履修登録できる単位数に上限が設けられています。上限を超えて履修することはできません。

◆各学期の上限単位数は、24単位です。

◆教職関係科目（卒業要件に含まれないものに限る）や認定科目（既修得単位等）は履修登録上限単位数に含まれません。

◆直前の学期において「GPA3.33以上で12単位以上を取得」した学生に対しては、次学期において履修登録単位数の上限が28単位まで緩和されます（対象者は別途掲示します）。

6 履修登録コード体系（*は数字）

履修登録コード体系は、入学した年度に適用されるカリキュラムにより3つに分かれています。

科目名が同じでも適用されるカリキュラムにより履修登録コードが異なります。

履修登録の際は、画面に表示された履修登録コードが自身のカリキュラムのコードかよく確認してください。

★ 新カリ（16F～18F学生用）

登録コード「8ケタ」

共通教育科目	*****
学部共通科目	F300****
学部教職科目	F900**9*

*は数字

	先進繊維・感性工学科	機械・ロボット学科	化学・材料学科	応用生物科学科
学科共通科目	F3A5****	F3B5****	F3C5****	F3D5****
コース科目	先進繊維工学コース F3A6****	機能機械学コース F3B6****	ファイバ-材料工学コース F3C6****	/
	感性工学コース F3A7****	ハイブリッドアプリケーションコース F3B7****	機能高分子学コース F3C7****	
	/	/	応用分子化学コース F3C8****	
	/	/	/	
	/	/	/	

★ 旧カリ（12F～15F学生用）

登録コード「5ケタ」 ※共通教育科目の登録コードは8ケタ

学部共通科目	FZ***
--------	-------

学部教職科目	FQ***
--------	-------






	繊維・感性工学系	機械・ロボット学系	化学・材料系	応用生物科学系
系共通科目	FA5**	FB5**	FC5**	FD5**
課程別科目	先進繊維工学課程 FA6**	機能機械学課程 FB6**	応用化学課程 FC6**	生物機能科学課程 FD6**
	感性工学課程 FA7**	ハイブリッドアプリケーション課程 FB7**	材料化学工学課程 FC7**	生物資源・環境科学課程 FD7**
	/	/	機能高分子学課程 FC8**	/

～～ 旧カリ（11F以前の学生用） ～～

登録コードなし

Webから履修登録することはできません。学務係窓口で登録手続きをしてください。

7 履修登録の流れ

時期	手順	内容
4月初旬	ガイダンス等	履修登録に必要な資料を受け取る。 (履修案内冊子等) 
	履修計画の作成 ※シラバス参照	学修便覧, 履修案内, シラバスで履修方法・履修条件等を確認し, 自分自身が履修する授業科目の時間割表を作成し履修計画を立てる。 ※履修登録上限単位(CAP制)に注意  
	開設学部・履修コードを確認	履修案内で確認する。 ※旧カリの学生は, 「新旧カリキュラム読替表」も確認。 希望者は学務係にて配布。
履修登録期限 前期:4月18日 後期:10月9日	履修登録 ACSUにログイン →キャンパス情報システム →履修・成績 はやめの登録を!	ACSUにログイン後, キャンパス情報システムから「開設科目一覧」の登録コードを入力する。 ※同じ時間帯に複数授業の履修登録はできない。 ※共通教育科目と専門科目(学部)を同時に登録できる。 ※Web登録できない科目は, 「特別履修登録届」を学務係へ提出し, 履修登録すること。用紙は学務係まで取りに来ること。 
	確認・訂正期間 前期: 4月22日~25日 後期: 10月11日~16日	登録内容の確認 ①キャンパス情報システム または ②証明書発行機で 「履修登録確認表」を印刷 誤登録 誤入力 登録忘れ 訂正/ 追加 入力
	履修登録の確認・訂正	履修計画どおりに登録できなかった, エラー科目がある, 登録する科目を間違えた場合は, この期間中に履修登録の訂正を行うこと。 ※登録期限までに登録し忘れた場合は, この期間に登録すること。 
履修登録完了		
履修取消期限 前期: 5月31日 後期: 11月29日	履修科目の取消 《窓口申請のみ》	履修登録完了後に取りやめたい科目が出た場合は, この期間内にキャンセル手続きを行う。 履修科目取消は, 学務係で配付する申請用紙の提出により受け付ける。システム上ではできない。 ※履修取消を行わず, 授業に出席しない場合, 成績は「不可」となりGPA値が下がる。 ※履修取消した科目は, 履修登録上限単位数に含み, 成績通知書に「取消」と記載される。

◆成績確認（Web）

成績確認は、Web上で行います（後頁「Webによる履修登録・成績確認」操作手引書を参照）。また、証明書自動発行機では「成績通知書」が出力できます。

★ 前期科目成績公開日：9月上旬

★ 後期・通年科目成績公開日：2月下旬【成績証明書も同時期に更新】

成績に疑義がある場合

疑義の内容を、根拠（シラバスの記載と違う評価である等）を持って、成績開示した日から1週間以内（土日・祝日含む）に授業担当教員に申し出てください。

◆LAN設備のある場所（学内で情報コンセント等によりパソコンの使用できる場所）

PC持参	講義室全室（有線・無線LAN）、生協2階ラウンジ、図書館（無線）
PC備付	図書館（PC数台）

- ・平日のみ各建物の閉館時間まで使用できます（土日、祝日は使用不可）。
- ・授業等で教室を使用している場合には使用できません。
- ・ウィルス対策をしたパソコンを用い、ネットワークの使用に当ってはルールを守って使用の上、セキュリティには十分注意してください。
- ・ネットワーク接続等で不明な点は、各学科・コースの情報システム支援室員へお問い合わせください。

◆公欠について

授業期間中のいわゆる「公欠・公休」制度はありません。

- 急病等でやむを得ず休む（休んだ）場合は、必要に応じ各授業担当教員へ申し出てください。
- インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症にかかった場合は、感染状況把握のため、直ちに保健室（直通TEL：0268-21-5312）へ連絡してください。診断書や治癒証明書は不要です。
- 定期試験期間中に、病気等やむを得ない理由のため受験できなかった場合に限り、追試験が認められる場合があります（ただし、非常勤講師の科目は除きます）。

◆卒業判定、4年次への進級判定の結果通知 【学部】

判定結果通知時期：3月上旬～中旬（9月卒業・10月進級の場合は9月上旬～中旬）

※公用掲示板等により通知します。

◆9月卒業、10月進級の申請 【学部】

○9月卒業……前期履修科目の単位修得により、卒業要件を満たし、9月卒業を希望する者

○10月進級……前期履修科目の単位修得により、4年次への進級条件を満たし、10月進級を希望する者

申請期限：7月25日（木）まで， 申請場所：学務係

※所定の申出書（学務係で配布）に記入の上、各学科・コース担当教員（教務委員等）の確認印受領後に提出してください。

※上記の要件を満たしていても、申請をしない場合は卒業、進級はできません。

※詳細は別途掲示します。

◆授業に関する情報について

- ・授業に関する情報は、講義棟対面の掲示板に掲示します。また、休講情報・教室変更・時間割変更は、キャンパス情報システムにも掲載します。**掲示板は、毎日2回、登校・下校時に見て確認する**習慣をつけてください。
- ・授業に関する情報は、学務係や授業担当教員からメールで通知される場合があります。メールアドレスはよく使うアドレスを登録し、メールを受信した場合は必ず確認してください。住所、電話番号、メールアドレス等の連絡先を変更した場合は、キャンパス情報システムで登録変更を行ってください。

◆学生による授業アンケート 【学部】

繊維学部では各学期ごとに「学生による授業アンケート」を実施しています。これは学生の皆さんに自分自身の学びを振り返ってもらい、授業で得られた知識やスキル、またそれ以外の幅広い学びの成果を回答してもらうものです。

後日、授業担当教員からはアンケート結果に対するコメントを寄せてもらうことになっておりますが、よりよい授業の実践に繋げていくため、学生の皆さんの積極的な回答をお願いします。

<2019年度 繊維学部「学生による授業アンケート」実施日程>

	前期	後期
実施時期	7月～8月頃	1月～2月頃
実施方法	キャンパス情報システム（Web） ⇒ 「授業アンケート」	



◆放送大学（単位互換制度） 【学部】

放送大学との単位互換制度に基づく特別聴講学生の出願を希望する場合は、学務係で手続きをしてください。詳細は12月と6月に掲示します。

◆県内大学（単位互換制度） 【学部】

信州大学は、長野県内の他大学と単位互換協定を結んでいます。信州大学の学生は、この協定により長野県内他大学が開講する授業を受講することができ、その受講により取得した単位は信州大学の単位として認定することができます。詳細は学務係に問い合わせてください。

◆信州大学市民開放授業 【学部】

信州大学が行う大学開放の一環として上田キャンパスで開講している正規の授業の一部を一般市民の方に開放し、本学の学生・教職員と一緒にキャンパスライフを体験していただいています。これは生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、地域社会と大学との連携をますます深めることを目的として実施しています。

皆さんが受講する授業を一般市民の方も受講する場合がありますが、お互いに刺激になることを期待しています。

◆信州大学授業公開 【学部】

信州大学では大学進学を目指す高校生等を対象に、授業を公開しています。本学部の学生と一緒に受講することで繊維学部への興味を深めたり、知的刺激を受けたり、進路選択に役立ててもらうことを目的としています。下記の期間中は講義中に参加者の入退出がありますので、ご協力をお願いします。

実施予定期間：後期【10月7日（月）～10月11日（金）】

◆定期試験心得

1 試験期間

単位認定のための試験は学期末の試験期間に行うもののほか、中間または臨時に行われる試験があります。学期末の試験期間に実施される試験については、別途「試験時間割表」が掲示されます。見落とさないよう注意してください。中間または臨時に行われる試験については授業担当教員の指示に従ってください。

2 受験資格

☆履修登録をしなかった者には受験資格はありません。

☆授業時間数の3分の2以上出席しなければ試験を受けることができません。この場合の「授業時間数」とは、15回（試験を除く）を示します。

☆合格（可以上）の成績を受けた科目は、その成績評価を更新するために同一授業科目を再度受験することはできません。

3 受験の心得

☆受験時は、学生証を携帯すること。

☆試験当日に学生証を忘れてきた者は、試験開始前に学務係窓口に出して、【学生情報票】の貸与を受けること。

☆【学生情報票】は当日の試験が終了したら、その日のうちに本人が学務係窓口に戻却すること。

☆受験態度は厳正でなければならない。

☆不正行為はもちろん、監督者に不正行為と疑われるような紛らわしい行為はしないこと。

☆試験中は必ず監督教員の指示に従うこと。（従わない場合は、不正行為とみなします。）

☆万一、不正行為が発覚した場合は、信州大学学則65条により以下のとおり懲戒処分（退学、停学、訓告）の対象となるので留意すること。

▽▽▽試験時の不正行為等に関する懲戒処分▽▽▽

○試験時の不正行為についての懲戒処分は、原則として無期停学とする。ただし、特に悪質な場合は退学処分を行うことがある。

○無期停学処分に処せられた場合で、それに付随して在学期間が所定の期間に満たない場合は、進級・卒業が最大1年遅延する。

○単位認定に係る試験（レポート含む）時に不正行為を行った学生については、当該科目の単位を認定しないほか、その学期の履修科目のうち、試験により単位認定する科目の単位全てを認定しないことがある。

○通常の授業においても、替え玉出席等の不正行為を行った学生（依頼者・実行者双方）について、当該科目の単位を認定しないことがあるほか、特に悪質な場合は当該行為のあった学期の全履修科目の単位を認定しない。

学生の懲戒

学生としての本分に反する試験時や授業時における不正行為をはじめ学内秩序を乱す行為、犯罪行為、交通事故・違反は、信州大学学則65条等により懲戒処分（退学、停学、訓告）の対象となる。

『試験等における不正行為の事例』を以下に示す。

本学が実施する試験等における不正行為の事例		単位認定の可否	
		当該科目	不正行為を行った学期の科目
単位認定に係る試験時の行為	替え玉受験をすること及び替え玉受験を依頼すること。	認定しない	認定しない
	許可されていないノート又は参考書等を使用すること。		
	答案を交換すること。		
	他の受験者の答案を見ること又は他の受験者に答案を見せること。		
	試験監督者の注意又は指示に従わない場合で特に悪質と認められるもの。		
その他不正な行為と認められること。			
単位認定に係るレポート（卒業論文等含む）の行為	他人の著作物を盗用すること	認定しない	認定しないことができる
	実験や調査結果のデータを捏造又は偽造すること。		
	他人が書いたレポート並びに著作物を自分のものとして提出すること。		
他の学生に成り代わり授業に出席又は代返等の行為を行った者並びに同行為を依頼した者。	認定しないことができる	特に悪質な場合認定しないことができる	
授業の実施に係るその他不正な行為と認められること。			

◆学科横断教育プログラムの履修

- ・学科横断教育プログラムの履修を許可された学生（プログラム履修生）は、卒業までに各プログラムが指定する科目（履修要件表参照）を履修し、卒業要件単位に加えて各プログラムの修了要件単位を取得ください。
- ・プログラム必修科目は、プログラム履修生以外の学生も履修することができます。ただし、受講希望者が受講可能人数を超えたときはプログラム履修生を優先し、一般学生の受講を制限します。

プログラム科目の取り扱い

(1) GPA及び履修登録上限単位について

プログラム履修のために履修登録した科目は、各プログラムの必修科目、選択科目ともGPAに算入されます。また、履修履修登録上限単位（キャップ制）の上限単位数にも含まれます。

ただし、必修科目のうち集中講義で開講する科目は、キャップ制の対象外となります。対象外となる科目については、掲示でお知らせします。

(2) 必修科目

各プログラムの必修科目は、すべて卒業要件に算入しない「自由科目」です。

注)「ファッション工学概論」と「ファッション工学実験実習」は先進繊維・感性工学科の学科共通科目ですが、他学科の学生が履修した場合も「他学科科目」ではなく「自由科目」として扱いますので、注意してください。

(3) 選択科目

①プログラム履修のために修得した科目は、所属する学科・コースの科目区分に従い卒業要件単位に算入することができます。

②2年生までに修得した科目をプログラムの選択科目として利用することができます。

各プログラムの履修要件

【国際連携プログラム】

	科目名	単位数		修了要件 単位数
		必修	選択	
必修	アドバンス英語Ⅰ	2		6
	アドバンス英語Ⅱ	2		
	海外留学	2		

【ファッション工学プログラム】

	科目名	単位数		修了要件 単位数	
		必修	選択		
必修	ファッション工学概論	2		4	合計 10
	ファッション工学実験実習	2			
選択	テキスタイルデザインⅠ		2	6	
	テキスタイルデザインⅡ		2		
	品質管理工学		2		
	染色機能加工学(感性)		2		
	感覚生理学Ⅱ		2		

【先進複合材料工学プログラム】

	科目名	単位数		修了要件 単位数	
		必修	選択		
必修	先進複合材料工学概論	2		4	合計 10
	先進複合材料工学演習実験	2			
選択	先進繊維・感性工学概論(松本開講)		2	6	
	繊維材料学		2		
	テキスタイルデザインⅠ		2		
	材料力学Ⅰ(機口)		2		
	固体力学		2		
	材料強度学		2		
	繊維強化複合材料学		2		
	コロイド・界面化学の基礎と応用		2		
ファイバー機能工学		2			

台風・大雪等における授業及び試験の取り扱いについて

平成 21 年 12 月 16 日 教育研究評議会決定

台風・大雪等により、授業及び試験（以下「授業」という。）の実施が困難又は困難が予測される場合は、気象警報及び公共交通機関の運行状況等により、教学担当の理事若しくは部局長が休講及び授業の再開を決定する。

1. 対象となる気象警報

キャンパス所在地域の「大雨・暴風」又は「大雪・暴風雪」

2. 公共交通機関の状況

鉄道（JR・私鉄）及び路線バスの運休

3. 休講の判断基準

翌日の授業：前日夕方時点で、警報の発令が予想され、公共交通機関の運休が決定している。

午前の授業：午前 7 時時点で、警報が発令されており、公共交通機関が運休している。

午後の授業：午前 11 時時点で、警報が発令されており、公共交通機関が運休している。

夜間の授業：午後 3 時時点で、警報が発令されており、公共交通機関が運休している。

4. 授業再開の判断基準

午前の授業：午前 7 時時点で、警報が解除されており、公共交通機関が運行している。

午後の授業：午前 11 時時点で、警報が解除されており、公共交通機関が運行している。

夜間の授業：午後 3 時時点で、警報が解除されており、公共交通機関が運行している。

※ 大雪・暴風雪の場合は、警報解除後の積雪・除雪の状況も考慮する。

5. 各キャンパス等における決定者

松本キャンパス及び全学に係る場合 教学担当の理事

長野（教育）キャンパス 教育学部長

長野（工学）キャンパス 工学部長（経済・社会政策科学研究科は研究科長）

南箕輪キャンパス 農学部長

上田キャンパス 繊維学部長

6. 学生への周知方法

- ・ 公用掲示板への掲示
- ・ 信州大学ホームページ及び各学部ホームページのお知らせへの掲示
- ・ キャンパス情報システムのお知らせへの掲示
- ・ 対象学生へのメール送信
- ・ 授業中の場合は、校内放送又は授業担当教員を通じて周知

7. 補講

休講措置を講じた場合は後日補講を行うものとし、補講日は各部局で決定する。

2019年度



開設科目一覧表



●専門科目 16F～18F 学生対象

(新カリ：学科・コース別)

●高年次共通教育科目(上田キャンパス開講分)

●教職関係科目

※開設科目等変更情報は、キャンパス情報システム等で確認

(凡例)

○履修しなければいけない科目は、入学時配布の「学修便覧」で確認してください。

○各項目の注意事項

- 履修登録コード…学期始めの履修登録時に使用するコード
- 科目名……………一度単位修得した科目は再度履修登録することはできません。
- 担当教員……………非常勤講師(非)は、授業日(時)にしか来学しません。
- 開設学期等……………「時間数」又は「集中」が記載されている学期に開設します。

前後期にまたがって記載があるものは「通年」授業。

「前半」、「後半」は各学期の開始、終了時刻が変則的になりますので
掲示や担当教員に確認するなどして開講時期に注意してください。

- 備考……………本年度休講：本年度開設しない科目、隔年：隔年開講の科目
- 教免区分……………後頁「教職関係科目」を参照してください。

※1年次で開設する専門科目は、松本キャンパスで受講

※「SUNS」：ネットワークによる遠隔授業

先進繊維・感性工学科（16F～18F学生用）

区分	履修登録コード	科目名	単位数				授業形態	GPA対象	担当教員	対象学年・開設学期別の週時間数						備考	教職	
			必修	選択	自由	備考				2年次		3年次		4年次			教免区分	
										前期	後期	前期	後期	前期	後期			
学部 共通 科目	F3000220	安全教育（先感）	1				講義	○	田中稔久/吉田宏昭	集中								
	F3000332	技術者倫理〔B〕	1				講義	○	上野 巧(非)			2 (後半)				日程は別途掲示		
	F3000430	インターンシップ（織感）		1			実習	○	森川英明/松村嘉之			集中						
	F3000520	放射線の基礎知識		1			講義	○	林田信明	集中		集中		集中				
	F3000620	実践的英語ライティング・スピーキング演習A		2			演習	○	マイケル ハニウッド	2		2		2				
	F3000720	実践的英語ライティング・スピーキング演習B		2			演習	○	マイケル ハニウッド		2		2		2			
	F3000820	環境内部監査実習			1		演習	○	金 翼水 他	不定期		不定期		不定期				
	F3000920	環境マネジメント			1		演習	○	堀江智明/小笠原寛	不定期		不定期		不定期				
	F3001030	ものづくり経営Ⅰ		2			講義	○	森川英明 他			2						
	F3001130	ものづくり経営Ⅱ		2			講義	○	森川英明 他				2					
	F3001230	ビジネスアドミニストレーション		1			講義	○	鈴木智弘			集中						
	F3001330	アドバンスト英語Ⅰ			2		演習	○	マイケル ハニウッド			2						
	F3001440	アドバンスト英語Ⅱ			2		演習	○	マイケル ハニウッド					2				
	F3001530	海外留学			2		実習	○	平田雄一 他			不定期						
F3001630	先進複合材料工学概論			2		講義	○	鮎 力民 他			集中							
F3001730	先進複合材料工学演習実験			2		実験	○	梶 慶清 他				集中						
専 門 基 礎 科 目	F3A50120	電磁気学	2	2		先進：必修 感性：選択	講義	○	石澤広明	2						●	物	
	F3A50230	多変量解析		2			講義	○	森川英明			2				▲	工	
	F3A50320	応用統計学	2				講義	○	吉田宏昭	2							工	
	F3A50420	応用数学	2				講義	○	堀場洋輔	2								
	F3A50520	材料力学	2				講義	○	佐古井智紀	2							物	
	F3A50620	信号処理論		2			講義	○	乾 滋		2						工	
	F3A50720	電子工学		2			講義	○	上條正義		2						物	
	F3A50820	人間工学		2			講義	○	吉田宏昭	2						▲	工	
	F3A51030	ファッション工学概論			2		講義	○	乾 滋 他			集中						
	F3A51130	ファッション工学実験実習			2		実習	○	乾 滋 他			集中						
F3A51230	職業指導			2		講義	×	宮島範雄(非)			集中				▲	職		

GPA対象：○=GPAの計算式に算入される。

×=GPAの計算式に算入されない。

必修科目：当該学科等の教育目的を達成するため、卒業要件として修得を必要としている科目。

選択科目：学生の履修目的に応じて選択し、修得単位を卒業要件に算入する科目。（選択必修科目・他学科科目を含む。）

自由科目：履修できるが卒業要件に算入しない科目。

備考：所属するコースにより卒業要件の扱いが異なる科目。

教職：卒業要件と教職課程上の扱いが異なる科目。（●=教職（理科）履修者は必修。 ▲=教職（工業）履修者は必修。）

：教職課程上の科目区分。

物：物理学 化：化学 生：生物学 物実：物理学実験 化実：化学実験 生実：生物学実験

工：工業に関する科目 職：職業指導

66情：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

※旧カリ（12F～15F）学生は、上表に掲載されているの同一名称科目を直接履修することはできません。
学務係窓口で配布する「新旧カリキュラム読替表」を参照の上、履修計画をたててください。
不明な点がある場合は、コース教務委員へ相談してください。

<先進繊維・感性工学科> **先進繊維工学コース（16F～18F学生用）**

区分	履修登録コード	科目名	単位数			授業形態	GPA対象	担当教員	対象学年・開設学期別の週時間数						備考	教職	
			必修	選択	自由				2年次		3年次		4年次			教免区分	
									前期	後期	前期	後期	前期	後期			
先進繊維工学コース科目群	F3A60120	電子計算機実習	2			実習	○	森川英明 他	4								66情
	F3A60220	先進繊維工学実験ⅠA	1			実験	○	森川英明 他	4								▲ 工
	F3A60320	先進繊維工学実験ⅠB	1			実験	○	森川英明 他		4							▲ 工
	F3A60420	先進繊維工学実習Ⅰ	1			実習	○	森川英明 他	4								▲ 工
	F3A60530	CAD実習Ⅰ	2			実習	○	坂口明男			4						▲ 工
	F3A60630	CAD実習Ⅱ	2			実習	○	坂口明男				4					▲ 工
	F3A60730	先進繊維工学実験ⅡA	1			実験	○	森川英明 他			4						▲ 工
	F3A60830	先進繊維工学実験ⅡB	1			実験	○	森川英明 他				4					▲ 工
	F3A60930	先進繊維工学実習Ⅱ	1			実習	○	森川英明 他				4					▲ 工
	F3A61040	卒業研究ゼミⅠ	2			演習	○	森川英明 他					4				
	F3A61140	卒業研究ゼミⅡ	2			演習	○	森川英明 他						4			
	F3A61240	卒業研究Ⅰ	5			実験	○	森川英明 他					20				
	F3A61340	卒業研究Ⅱ	5			実験	○	森川英明 他						20			
	F3A61430	基礎リサーチプロジェクト	1			実習	○	森川英明 他				集中					工
	F3A61540	応用リサーチプロジェクト	2			演習	○	森川英明 他					集中				工
	F3A61630	繊維材料学	2			講義	○	大越 豊			2						▲ 工
	F3A61720	ヤーンテクノロジー	2			講義	○	松本陽一(非)		2							工
	F3A61820	テキスタイルデザインⅠ	2			講義	○	森川英明 他	2								工
	F3A61920	テキスタイルデザインⅡ	2			講義	○	朱 春紅	2								工
	F3A62030	染色機能加工学	2			講義	○	平田雄一			2						
	F3A62130	ファイバー創成工学	2			講義	○	金 慶孝			2						工
	F3A62230	繊維材料分析学	2			講義	○	金 慶孝				2					工
	F3A62320	設計工学	2			講義	○	坂口明男	2								▲ 工
	F3A62430	デザイン工学	2			講義	○	和田 功			2						工
	F3A62530	実験計画法	2			講義	○	森川英明			2						▲ 工
	F3A62630	インテリア工学	2			講義	○	木村裕和			2						▲ 工
	F3A62730	産業用繊維設計製造工学	2			講義	○	木村裕和				2					工
	F3A62830	スポーツウェア設計工学	2			講義	○	金井博幸				2					工
	F3A62920	熱工学	2			講義	○	佐古井智紀	2								▲ 工
	F3A63020	計測工学	2			講義	○	児山祥平	2								▲ 工
F3A63130	感覚計測工学	2			講義	○	金井博幸			2							
F3A63240	生体機能計測法	2			講義	○	上條正義					2					
F3A63320	品質管理工学	2			講義	○	森川英明	2								▲ 工	
F3A63430	繊維製品快適性評価法	2			講義	○	西松豊典(非)				4					工	
F3A63530	スポーツ工学	2			講義	○	吉武康栄				2					工	

＜先進繊維・感性工学科＞ **感性工学コース（16F～18F学生用）**

区分	履修登録コード	科目名	単位数			授業形態	GPA対象	担当教員	対象学年・開学期別の週時間数						備考	教職	
			必修	選択	自由				2年次		3年次		4年次			教免区分	
									前期	後期	前期	後期	前期	後期			
感性工学コース科目	F3A70130	感性工学実験実習ⅡA	2			実習	○	松村嘉之 他			4						
	F3A70230	感性工学実験実習ⅡB	2			実習	○	松村嘉之 他				4				●	物実
	F3A70340	卒業研究ゼミⅠ	1			演習	○	和田 功 他					2				
	F3A70440	卒業研究ゼミⅡ	1			演習	○	和田 功 他						2			
	F3A70540	卒業研究Ⅰ	3			実験	○	和田 功 他						9			
	F3A70640	卒業研究Ⅱ	3			実験	○	和田 功 他						9			
	F3A70720	基礎化学実験Ⅰ		2		実験	○	松村嘉之 他	8							●	化実
	F3A70830	生物科学基礎実験Ⅰ		1		実験	○	松村嘉之 他			6					●	生実
	F3A70920	感性化学	2			講義	○	田中稔久	2							●	化
	F3A71030	感覚化学		2		講義	○	高橋正人			2						生
	F3A71130	感性物理化学		2		講義	○	田中稔久			2				16F-17Fは中免のみ必修 18Fは中高とも必修	●	化
	F3A71220	感性生理学Ⅰ	2			講義	○	吉武康栄		2						●	生
	F3A71320	感性生理学Ⅱ		2		講義	○	佐古井智紀		2							生
	F3A71430	感性心理学		2		講義	○	堀場洋輔 他			2						
	F3A71520	感覚生理学Ⅰ		2		講義	○	上條正義 他	2							●	生
	F3A71630	感覚生理学Ⅱ		2		講義	○	上條正義				2					生
	F3A71730	快適性評価法		2		講義	○	西松豊典(非)				4					
	F3A71820	感性工学実験実習Ⅰ	2			実習	○	堀場洋輔 他		4							物実
	F3A71920	情報処理・システム基礎	2			講義	○	松村嘉之	2								
	F3A72040	感性情報処理		2		講義	○	松村嘉之					2				
	F3A72130	感性コミュニケーション		2		講義	○	マイケル ハニウツド			2						
	F3A72230	感性計測		2		講義	○	上條正義			2						物
	F3A72320	マーケティング	2			講義	○	高寺政行		2							
	F3A72440	形の科学		2		講義	○	高寺政行						2			
	F3A72540	力の科学		2		講義	○	高寺政行 他						2		●	物
	F3A72620	感性材料力学		2		講義	○	高寺政行		2						●	物
	F3A72720	感性材料サイエンス		2		講義	○	高橋正人		2							化
	F3A72830	CAD実習	2			実習	○	吉田宏昭			4						
	F3A72920	計算機実習Ⅰ	2			実習	○	堀場洋輔 他	4								66情
	F3A73020	計算機実習Ⅱ	2			実習	○	吉田宏昭		4							
	F3A73120	感性造形	2			講義	○	和田 功		2							
	F3A73220	感性デザイン論		2		講義	○	和田 功	2								
	F3A73330	感性デザイン工学		2		講義	○	和田 功				2					
F3A73430	色彩工学		2		講義	○	和田 功 他				集中						
F3A73530	コンピュータアート		2		講義	○	乾 滋				2						
F3A73630	染色機能加工学		2		講義	○	平田雄一				2						
F3A73730	ファッションデザイン		2		講義	○	金 貝屋				2						
F3A73830	感性スポーツ工学		2		講義	○	吉武康栄				2						
F3A73930	造形実習	2			実習	○	田中稔久 他			4							

機械・ロボット学科 (16F~18F学生用)

区分	履修登録コード	科目名	単位数				授業形態	GPA対象	担当教員	対象学年・開設学期別の週時間数						備考	教職	
			必修	選択	自由	備考				2年次		3年次		4年次			教免区分	職
										前期	後期	前期	後期	前期	後期			
学部 共通 科目	F3000222	安全教育(機口)	1				講義	○	鮎 力民 他	集中								
	F3000330 F3000332	技術者倫理	1				講義	○	上野 巧(非)			2				機械:F3000330(前半) バ付:F3000332(後半) 日程は別途掲示		
	F3000432	インターンシップ(機口)	1				実習	○	倪 慶清 他			集中						
	F3000520	放射線の基礎知識	1				講義	○	林田信明		集中		集中		集中			
	F3000620	実践的英語7トレーニング・スピーキング演習A	2				演習	○	マイケル ハニウッド	2		2		2				
	F3000720	実践的英語7トレーニング・スピーキング演習B	2				演習	○	マイケル ハニウッド		2		2		2			
	F3000820	環境内部監査実習		1			演習	○	金 翼水 他	不定期		不定期		不定期				
	F3000920	環境マネジメント		1			演習	○	堀江智明/小笠原寛	不定期		不定期		不定期				
	F3001030	ものづくり経営Ⅰ	2				講義	○	森川英明 他			2						
	F3001130	ものづくり経営Ⅱ	2				講義	○	森川英明 他				2					
	F3001230	ビジネスアドミニストレーション	1				講義	○	鈴木智弘			集中						
	F3001330	アドバンスト英語Ⅰ		2			演習	○	マイケル ハニウッド				2					
	F3001440	アドバンスト英語Ⅱ		2			演習	○	マイケル ハニウッド					2				
	F3001530	海外留学		2			実習	○	平田雄一 他			不定期						
	F3001630	先進複合材料工学概論		2			講義	○	鮎 力民 他			集中						
F3001730	先進複合材料工学演習実験		2			実験	○	倪 慶清 他				集中						
学部 共通 科目 群	F3B50220	応用解析学Ⅰ	2				講義	○	若月 薫	2								工
	F3B50320	応用解析学Ⅱ	2				講義	○	鈴木 智		2							工
	F3B50420	ベクトル解析	2				講義	○	夏木俊明		2							工
	F3B50520	応用統計学	2	2		機械:選択 バ付:必修	講義	○	田村義保(非)	集中								
	F3B50620	力学Ⅲ	2	2		機械:選択 バ付:必修	講義	○	松居和寛(非)	集中								● 物
	F3B50720	人体生物学Ⅰ	2	2		機械:選択 バ付:必修	講義	○	秋山佳丈		2							● 生
	F3B50830	人体生物学Ⅱ	2	2		機械:選択 バ付:必修	講義	○	秋山佳丈			2						● 生
	F3B50920	電気理論	2				講義	○	小西 哉(非)	2								物
	F3B51030	電磁気学	2				講義	○	小西 哉(非)			2						● 物
	F3B51130	計測工学	2				講義	○	中橋浩康			2						工
	F3B51230	設計工学	2				講義	○	山口昌樹			2						
	F3B51320	プログラミングⅠ	2				講義	○	河村 隆	2								工
	F3B51420	プログラミングⅡ		2			講義	○	河村 隆		2							工
	F3B51530	科学英語		2			講義	○	小林俊一/中橋浩康			2						
	F3B51620	プログラミング演習	2				演習	○	河村 隆	4								
	F3B51720	機械設計製図Ⅰ	2				演習	○	小関道彦	4								工
	F3B51830 F3B51835	機械設計製図Ⅱ	2				演習	○	鮎 力民			4				機械:F3B51830 バ付:F3B51835		工
	F3B51920 F3B51925	生物科学基礎実験	1	1		機械:選択 バ付:必修	実験	○	白井孝治 他	6					Aクラス:F3B51920 Bクラス:F3B51925		● 生実	
	F3B52020 F3B52025	化学基礎実験		1			実験	○	野村隆臣 他	6					Aクラス:F3B52020 Bクラス:F3B52025		● 化実	
	F3B52140	情報機器の操作(教職)		2			演習	○	塚原 淳 他				集中					●▲ 66情
F3B52230	職業指導		2			講義	×	宮島範雄(非)			集中						▲ 職	

GPA対象:○=GPAの計算式に算入される。

×=GPAの計算式に算入されない。

必修科目:当該学科等の教育目的を達成するため、卒業要件として修得を必要としている科目。

選択科目:学生の履修目的に応じて選択し、修得単位を卒業要件に算入する科目。(選択必修科目・他学科科目を含む。)

自由科目:履修できるが卒業要件に算入しない科目。

備考:所属するコースにより卒業要件の扱いが異なる科目。

教職:卒業要件と教職課程上の扱いが異なる科目。(●=教職(理科)履修者は必修。▲=教職(工業)履修者は必修。)

:教職課程上の科目区分。

物:物理学 化:化学 生:生物学 物実:物理学実験 化実:化学実験 生実:生物学実験

工:工業に関する科目 職:職業指導

66情:教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

※旧カリ(12F~15F)学生は、上表に掲載されているの同一名称科目を直接履修することはできません。
学務係窓口で配布する「新旧カリキュラム読替表」を参照の上、履修計画をたててください。
不明な点がある場合は、コース教務委員へ相談してください。

機械・ロボット学科 (16F~18F学生用)

区分	履修登録コード	科目名	単位数				授業形態	GPA対象	担当教員	対象学年・開設学期別の週時間数						備考	教職		
			必修	選択	自由	備考				2年次		3年次		4年次			教免	区分	
										前期	後期	前期	後期	前期	後期				
学 科 共 通 科 目	材料科目群	F3B52320	材料力学Ⅰ	2			講義	○	小関道彦	2								工	
		F3B52420	材料力学Ⅱ		2		講義	○	鮎力民		2							工	
		F3B52530	固体力学		2		講義	○	鮎力民			4						工	
		F3B52620	物性工学	2	2		機械：必修 バ付：選択	講義	○	梶慶清	2							●	物
		F3B52730	材料強度学		2			講義	○	梶慶清			2						工
		F3B52820	工業材料学	2	2		機械：必修 バ付：選択	講義	○	金翼水	2							▲	工
		F3B52920	材料加工学		2			講義	○	金翼水		2						▲	工
		F3B53030	繊維強化複合材料学		2			講義	○	梶慶清			2						工
	エネルギー・流体科目群	F3B53120	流体力学Ⅰ	2			講義	○	小林俊一		2								物
		F3B53230	流体力学Ⅱ		2		講義	○	小林俊一			2							物
		F3B53320	熱力学Ⅰ	2			講義	○	姫野修廣(非)	2									工
		F3B53420	熱力学Ⅱ		2		講義	○	姫野修廣(非)		2								工
		F3B53530	熱流体工学		2		講義	○	姫野修廣(非)			2							工
		F3B53630	エネルギー変換工学		2		講義	○	若月 薫			2						●	物
	メカトロニクス科目群	F3B53720	機械力学Ⅰ	2			講義	○	夏木俊明		2								工
		F3B53830	機械力学Ⅱ		2		講義	○	夏木俊明			2							工
		F3B53920	機構学	2	2		機械：必修 バ付：選択	講義	○	三木一隆(非)		2						▲	工
		F3B54030	メカトロニクス	2	2		機械：必修 バ付：選択	講義	○	河村 隆			2					▲	工
		F3B54130	制御工学Ⅰ	2			講義	○	鈴木 智			2							工
		F3B54230	制御工学Ⅱ		2		講義	○	鈴木 智			2							工
		F3B54320	電子回路	2	2		機械：必修 バ付：選択	講義	○	小西 哉(非)		2						▲	工
		F3B54430	論理回路		2		講義	○	小西 哉(非)			2							工
		F3B54530	電子工学		2		講義	○	小西 哉(非)			2							物
	生体医工学科目群(バイオエンジニアリングコース)	F3B54630	ロボット工学	2	2		機械：必修 バ付：選択	講義	○	河村 隆			2					▲	工
		F3B54720	生体運動学		2		講義	○	中樞浩康	2									工
		F3B54830	バイオメカニクス・ミメティクス		2		講義	○	山口昌樹			2							工
		F3B54930	知能ロボット学		2		講義	○	岩本憲泰			2							工
F3B55030		ファイバーウェアラブルロボット学		2		講義	○	塚原 淳			2							工	

<機械・ロボット学科> **機能機械学コース（16F～18F学生用）**

区分	履修登録コード	科目名	単位数			授業形態	GPA対象	担当教員	対象学年・開設学期別の週時間数						備考	教職	
			必修	選択	自由				2年次		3年次		4年次			教免区分	
									前期	後期	前期	後期	前期	後期			
機能機械学実験・実習・演習科目群	F3B60120	機能機械学実験・実習Ⅰ	1			実習	○	倪慶清 他	4								
	F3B60220	機能機械学実験・実習Ⅱ	1			実習	○	倪慶清 他		4							
	F3B60330	機能機械学実験・実習Ⅲ	1			実習	○	倪慶清 他			4						
	F3B60430	機能機械学実験・実習Ⅳ	1			実習	○	倪慶清 他				4					
	F3B60520	機能機械学演習Ⅰ	1			演習	○	倪慶清 他	2								
	F3B60620	機能機械学演習Ⅱ	1			演習	○	倪慶清 他		4							
	F3B60730	機能機械学演習Ⅲ	1			演習	○	倪慶清 他			4						
	F3B60830	機能機械学演習Ⅳ	1			演習	○	倪慶清 他				4					
	F3B60940	卒業研究	6			実験	○	倪慶清 他					9				
	F3B61040	輪講	2			演習	○	倪慶清 他						1			

<機械・ロボット学科> **バイオエンジニアリングコース（16F～18F学生用）**

区分	履修登録コード	科目名	単位数			授業形態	GPA対象	担当教員	対象学年・開設学期別の週時間数						備考	教職	
			必修	選択	自由				2年次		3年次		4年次			教免区分	
									前期	後期	前期	後期	前期	後期			
バイオエンジニアリング科目群	F3B70130	細胞生物学		2		講義	○	秋山佳丈				2				●	生
	F3B70230	バイオメディカルロボット学	2			講義	○	森山 徹				2					工
	F3B70330	生体医工学	2			講義	○	小林俊一			2						工
	F3B70420	動物行動学		2		講義	○	森山 徹		2							生
	F3B70530	認知科学		2		講義	○	森山 徹				2					
	F3B70620	分析化学		2		講義	○	森脇 洋	2							●	化
	F3B70720	物理学基礎実験	1			実験	○	山口昌樹 他		4						●	物実
	F3B70830	バイオエンジニアリング実験Ⅰ	1			実験	○	山口昌樹 他			4						
	F3B70930	バイオエンジニアリング実験Ⅱ	1			実験	○	山口昌樹 他				4					
	F3B71020	バイオエンジニアリング演習Ⅰ	1			演習	○	山口昌樹 他	2								
F3B71120	バイオエンジニアリング演習Ⅱ	1			演習	○	山口昌樹 他		4								
F3B71230	バイオエンジニアリング演習Ⅲ	1			演習	○	山口昌樹 他			4							
F3B71330	バイオエンジニアリング演習Ⅳ	1			演習	○	山口昌樹 他				4						
F3B71440	卒業研究	6			実験	○	山口昌樹 他					9					
F3B71540	輪講	2			演習	○	山口昌樹 他						2				

化学・材料学科（16F～18F学生用）

区分	履修登録コード	科目名	単位数				授業形態	GPA対象	担当教員	対象学年・開設学期別の週時間数						備考	教職 教免区分
			必修	選択	自由	備考				2年次		3年次		4年次			
										前期	後期	前期	後期	前期	後期		
学部 共通 科目	F3000224	安全教育（化材）	1				講義	○	沖野不二雄 他	集中							
	F3000330	技術者倫理〔A〕	1				講義	○	上野 巧(非)			2 (前半)				日程は別途掲示	
	F3000434	インターンシップ（化材）		1	1	フイム：自由 機高：選択 応分：選択	実習	○	村上泰/市川結/ 渡辺真志			集中					
	F3000520	放射線の基礎知識		1	1	フイム：自由 機高：選択 応分：選択	講義	○	林田信明	集中		集中		集中			
	F3000620	実践的英語ライティング・スピーキング演習A		2	2	フイム：自由 機高：選択 応分：選択	演習	○	マイケル ハニ ウッド	2		2		2			
	F3000720	実践的英語ライティング・スピーキング演習B		2	2	フイム：自由 機高：選択 応分：選択	演習	○	マイケル ハニ ウッド		2		2		2		
	F3000820	環境内部監査実習			1		演習	○	金 翼水 他	不定期		不定期		不定期			
	F3000920	環境マネジメント			1		演習	○	堀江智明/小笠原寛	不定期		不定期		不定期			
	F3001030	ものづくり経営Ⅰ		2	2	フイム：自由 機高：選択 応分：選択	講義	○	森川英明 他			2					
	F3001130	ものづくり経営Ⅱ		2	2	フイム：自由 機高：選択 応分：選択	講義	○	森川英明 他				2				
	F3001230	ビジネスアドミニストレーション		1	1	フイム：自由 機高：選択 応分：選択	講義	○	鈴木智弘			集中					
	F3001330	アドバンスト英語Ⅰ			2		演習	○	マイケル ハニ ウッド			2					
	F3001440	アドバンスト英語Ⅱ			2		演習	○	マイケル ハニ ウッド					2			
	F3001530	海外留学			2		実習	○	平田雄一 他			不定期					
	F3001630	先進複合材料工学概論			2		講義	○	鮎 力民 他			集中					
	F3001730	先進複合材料工学演習実験			2		実験	○	俣 慶清 他				集中				
学専 科門 共通 基礎 科目	F3C50220	電磁気学	2				講義	○	市川 結	2							物
	F3C50320	熱力学Ⅰ	2				講義	○	佐藤高彰/浅尾直樹	2							化
	F3C50420	熱力学Ⅱ	2				講義	○	長田光正/小山俊樹		2						化
	F3C50520	分析化学	2				講義	○	寺本 彰	2							化
	F3C50620	有機化学Ⅰ	2				講義	○	鈴木正浩	2							化
	F3C50720	有機化学Ⅱ	2				講義	○	荒木 潤		2						化
	F3C50820	無機化学Ⅰ	2				講義	○	服部義之	2							化
	F3C50920	無機化学Ⅱ	2	2		フイム：必修 機高：選択 応分：必修	講義	○	木村 睦		2						● 化
	F3C51020	量子力学	2				講義	○	森 正悟		2						物
	F3C51120	化学演習Ⅰ	1				演習	○	渡辺真志 他	2							
	F3C51220	化学演習Ⅱ	1				演習	○	後藤康夫 他		2						
	F3C51320 F3C51325	基礎化学実験Ⅰ	2				実験	○	吉田裕安材 他	8					Aクラス：F3C51320 Bクラス：F3C51325	化実	
	F3C51420 F3C51425	基礎化学実験Ⅱ	2				実験	○	小駒善郎 他		8				Aクラス：F3C51420 Bクラス：F3C51425		
	F3C51530	環境プロセス工学（環境教育）	2				講義	○	福長博/高橋伸英			2					
F3C51630	化学英語基礎	2				講義	○	大川浩作 他			2						
F3C51730	反応速度論	2				講義	○	鈴木大介			2						

GPA対象：○＝GPAの計算式に算入される。

×＝GPAの計算式に算入されない。

必修科目：当該学科等の教育目的を達成するため、卒業要件として修得を必要としている科目。

選択科目：学生の履修目的に応じて選択し、修得単位を卒業要件に算入する科目。（選択必修科目を含む。）

自由科目：履修できるが卒業要件に算入しない科目。

備考：所属するコースにより卒業要件の扱いが異なる科目。

教職：卒業要件と教職課程上の扱いが異なる科目。（●＝教職（理科）履修者は必修。 ▲＝教職（工業）履修者は必修。）

：教職課程上の科目区分。

物：物理学 化：化学 生：生物学 物実：物理学実験 化実：化学実験 生実：生物学実験

66情：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

※旧カリ（12F～15F）学生は、上表に掲載されているの同一名称科目を直接履修することはできません。
学務係窓口で配布する「新旧カリキュラム読替表」を参照の上、履修計画をたててください。
不明な点がある場合は、コース教務委員へ相談してください。

<化学・材料学科> **ファイバー材料工学コース（16F～18F学生用）**

区分	履修登録コード	科目名	単位数			形態	GPA対象	担当教員	対象学年・開設学期別の週時間数						備考	教職	
			必修	選択	自由				2年次		3年次		4年次			教免区分	
									前期	後期	前期	後期	前期	後期			
ファイバー材料工学コース 目	F3C60120	2年ゼミナールⅠ	1			演習	○	福長 博 他	2								
	F3C60220	2年ゼミナールⅡ	1			演習	○	福長 博 他		2							
	F3C60320	コミュニケーション法	2			講義	○	村上 泰		2							
	F3C60420	技術者基礎概論	2			講義	○	村上 泰	2								
	F3C60530	3年ゼミナールⅠ	1			演習	○	福長 博 他			2						
	F3C60630	3年ゼミナールⅡ	1			演習	○	福長 博 他				2					
	F3C60730	無機材料化学	2			講義	○	杉本 渉				2					化
	F3C60830	電気化学		2		講義	○	杉本 渉				2					
	F3C60930	量子化学		2		講義	○	野村泰志				2			Aクラス：F3C60930 Bクラス：F3C60935		
	F3C60935																
	F3C61030	分光学		2		講義	○	野村泰志				2					
	F3C61130	統計熱力学		2		講義	○	谷上哲也				2					物
	F3C61230	材料物性		2		講義	○	森 正悟					2				
	F3C61330	ファイバー機能工学		2		講義	○	小山俊樹					2				
	F3C61430	機器分析		2		講義	○	佐藤高彰					2				
	F3C61520	コンピュータプログラミング	2			講義	○	瀧澤辰洋		2							
	F3C61620	物理化学数学	2			講義	○	佐藤高彰	2								
	F3C61720	移動現象論	2			講義	○	嶋田五百里		2							
	F3C61830	反応工学	2			講義	○	福長 博				2					
	F3C61930	分離工学	2			講義	○	長田光正				2					
	F3C62030	プロセス・システム工学	2			講義	○	高橋伸英					2				
	F3C62130	工学演習Ⅰ	2			演習	○	長田光正				2					
	F3C62230	工学演習Ⅱ	1			演習	○	高橋伸英					2				
	F3C62330	ファイバー工業化学	2			講義	○	村上 泰				2					
	F3C62430	ファイバー物性	2			講義	○	宇佐美久尚				2					
	F3C62530	ファイバー化学	2			講義	○	吉田裕安材				2					化
	F3C62630	ファイバー材料工学実験Ⅰ	2			実験	○	福長 博				8					
F3C62730	ファイバー材料工学実験Ⅱ	2			実験	○	宇佐美久尚					8					
F3C62830	創成実験	1			実験	○	宇佐美久尚					4					
F3C62940	卒業研究Ⅰ	5			実験	○	木村 睦 他						20				
F3C63040	卒業研究Ⅱ	5			実験	○	木村 睦 他							20			
F3C63140	材料化学工学特別演習Ⅰ	1			演習	○	木村 睦 他						2				
F3C63240	材料化学工学特別演習Ⅱ	1			演習	○	木村 睦 他							2			

<化学・材料学科> **機能高分子学コース（16F～18F学生用）**

区分	履修登録コード	科目名	単位数			授業形態	GPA対象	担当教員	対象学年・開設学期別の週時間数						備考	教職	
			必修	選択	自由				2年次		3年次		4年次			教免区分	
									前期	後期	前期	後期	前期	後期			
機能高分子学コース科目群	F3C70120	生化学Ⅰ	2			講義	○	小駒喜郎	2								
	F3C70230	生化学Ⅱ	2			講義	○	村井一喜			2						
	F3C70330	細胞生物学		2		講義	○	寺本 彰			2						
	F3C70420	分子生物学		2		講義	○	小駒喜郎	2								
	F3C70530	生物有機化学		2		講義	○	荒木 潤			2						
	F3C70630	医用高分子機能学		2		講義	○	寺本 彰			2						
	F3C70720	有機化学Ⅲ	2			講義	○	高坂泰弘	2								
	F3C70830	量子化学	2			講義	○	野村泰志			2				Aクラス：F3C70830 Bクラス：F3C70835		
	F3C70835																
	F3C70930	分子分光化学		2		講義	○	野村泰志			2						物
	F3C71030	光・電子機能化学		2		講義	○	市川 結			2						
	F3C71130	電気化学		2		講義	○	杉本 渉			2						
	F3C71220	物理化学数学		2		講義	○	佐藤高彰	2								
	F3C71320	移動現象論		2		講義	○	嶋田五百里	2								
	F3C71430	統計熱力学		2		講義	○	谷上哲也			2						
	F3C71520	高分子物性	2			講義	○	後藤康夫	2								
	F3C71620	高分子合成化学Ⅰ	2			講義	○	鈴木正浩	2								
	F3C71730	高分子合成化学Ⅱ	2			講義	○	伊藤恵啓			2						
	F3C71830	高分子機器分析	2			講義	○	荒木 潤 他			2						
	F3C71930	高分子・繊維材料	2			講義	○	撓上将規(非)			2						
	F3C72030	ファイバー機能工学	2			講義	○	小山俊樹			2						
	F3C72130	高分子コロイド化学	2			講義	○	鈴木大介			2						
	F3C72230	膜機能化学	2			講義	○	平田雄一			2						
	F3C72330	機能高分子学実験Ⅰ	2			実験	○	鈴木正浩 他			8						
	F3C72430	機能高分子学実験Ⅱ	2			実験	○	寺本 彰 他			8						
	F3C72530	機能高分子学特別講義	2			講義	○	鈴木正浩 他			集中						
	F3C72640	卒業研究Ⅰ	5			実験	○	鈴木正浩 他					15				
	F3C72740	卒業研究Ⅱ	5			実験	○	鈴木正浩 他						15			
	F3C72840	高分子化学英語Ⅰ	1			演習	○	鈴木正浩 他					2				
	F3C72940	高分子化学英語Ⅱ	1			演習	○	鈴木正浩 他						2			
	F3C73040	機能高分子学特別演習Ⅰ	1			演習	○	鈴木正浩 他						2			
	F3C73140	機能高分子学特別演習Ⅱ	1			演習	○	鈴木正浩 他							2		

<化学・材料学科> **応用分子化学コース（16F～18F学生用）**

区分	履修登録コード	科目名	単位数			形態	GPA対象	担当教員	対象学年・開設学期別の週時間数						備考	教職	
			必修	選択	自由				2年次		3年次		4年次			教免区分	
									前期	後期	前期	後期	前期	後期			
応用分子化学科目群	F3C80120	コンピュータ科学		2		演習	○ 服部義之		2								
	F3C80220	工業化学		2		講義	○ 服部義之		2								
	F3C80330	応用分子化学実験	2			実験	○ 藤本哲也			8							
	F3C80430	応用物理化学実験	2			実験	○ 谷上哲也			8						●	物実
	F3C80530	有機化学Ⅲ	2			講義	○ 浅尾直樹			2							化
	F3C80630	有機化学Ⅳ		2		講義	○ 西井良典			2							
	F3C80730	有機合成化学		2		講義	○ 藤本哲也			2							
	F3C80830 F3C80835	量子化学	2			講義	○ 野村泰志			2				Aクラス：F3C80830 Bクラス：F3C80835			
	F3C80930	機器分析化学	2			講義	○ 西井良典			2							化
	F3C81030	分子分光化学		2		講義	○ 野村泰志			2							物
	F3C81130	統計熱力学		2		講義	○ 谷上哲也			2							
	F3C81230	固体化学		2		講義	○ 沖野不二雄			2							
	F3C81320	コロイド・界面化学の基礎と応用		2		講義	○ マクナミー キャンシー		2								
	F3C81420	応用分子化学Ⅰ	2			講義	○ 平田雄一		2								
	F3C81530	応用分子化学Ⅱ	2			講義	○ 藤本哲也			2							
	F3C81620	物理化学数学		2		講義	○ 佐藤高彰		2								
	F3C81720	移動現象論		2		講義	○ 嶋田五百里		2								
	F3C81830	電気化学		2		講義	○ 杉本 渉			2							化
	F3C81940	卒業研究Ⅰ	5			実験	○ 浅尾直樹 他					9					
	F3C82040	卒業研究Ⅱ	5			実験	○ 浅尾直樹 他						9				
F3C82140	応用分子化学英語Ⅰ	1			演習	○ 浅尾直樹 他						2					
F3C82240	応用分子化学英語Ⅱ	1			演習	○ 浅尾直樹 他							2				
F3C82340	応用分子化学特別演習Ⅰ	1			演習	○ 浅尾直樹 他							2				
F3C82440	応用分子化学特別演習Ⅱ	1			演習	○ 浅尾直樹 他								2			
高分子・ファイバー化学科目群	F3C82520	高分子化学Ⅰ	2			講義	○ 渡辺真志		2								化
	F3C82620	高分子化学Ⅱ		2		講義	○ 平田雄一		2								化
	F3C82730	色染化学		2		講義	○ 平田雄一			2							
	F3C82830	高分子コロイド化学		2		講義	○ 鈴木大介			2							
	F3C82930	膜機能化学		2		講義	○ 平田雄一			2							
	F3C83030	光・電子機能化学		2		講義	○ 市川 結			2							
	F3C83130	ファイバー機能工学		2		講義	○ 小山俊樹			2							
	F3C83230	高分子・繊維材料		2		講義	○ 撓上将規(非)			2							

応用生物科学科（16F～18F学生用）

区分	履修登録コード	科目名	単位数			授業形態	GPA対象	担当教員	対象学年・開設学期別の週時間数						備考	教職	
			必修	選択	自由				2年次		3年次		4年次			教免区分	
									前期	後期	前期	後期	前期	後期			
学部共通科目	F3000226	安全教育（応生）	1			講義	○	保地眞一 他	集中								
	F3000332	技術者倫理〔B〕	1			講義	○	上野 巧(非)				2 (後半)			日程は別途掲示		
	F3000436	インターンシップ（応生）			1	実習	○	梶浦善太/野村隆臣			集中		集中				
	F3000520	放射線の基礎知識		1		講義	○	林田信明		集中		集中		集中			
	F3000620	実践的英語ライティング・スピーキング演習A		2		演習	○	マイケル ハニウッド	2		2		2				
	F3000720	実践的英語ライティング・スピーキング演習B		2		演習	○	マイケル ハニウッド		2		2		2			
	F3000820	環境内部監査実習		1		演習	○	金 翼水 他	不定期		不定期		不定期				
	F3000920	環境マネジメント			1	演習	○	堀江智明/小笠原寛	不定期		不定期		不定期				
	F3001030	ものづくり経営Ⅰ		2		講義	○	森川英明 他			2						
	F3001130	ものづくり経営Ⅱ		2		講義	○	森川英明 他				2					
	F3001230	ビジネスアドミニストレーション		1		講義	○	鈴木智弘			集中						
	F3001330	アドバンスト英語Ⅰ			2	演習	○	マイケル ハニウッド			2						
	F3001440	アドバンスト英語Ⅱ			2	演習	○	マイケル ハニウッド					2				
	F3001530	海外留学			2	実習	○	平田雄一 他			不定期						
	F3001630	先進複合材料工学概論			2	講義	○	鮑 力民 他			集中						
F3001730	先進複合材料工学演習実験			2	実験	○	倪 慶清 他				集中						
専門基礎科目群	F3D50220	基礎物理学		2		講義	○	堀瀬友貴(非)	2							●	物
	F3D50320	動物生理学		2		講義	○	保地眞一		2							生
	F3D50420	植物生理学		2		講義	○	堀江智明		2							生
	F3D50520	微生物学		2		講義	○	山本博規		2							生
	F3D50620	分子生物学		2		講義	○	林田信明		2							生
	F3D50720	細胞生物学		2		講義	○	根岸 淳	2								生
	F3D50820	生態学		2		講義	○	平林公男	2								生
	F3D50920	生化学Ⅰ		2		講義	○	野川優洋	2								化
	F3D51020	生化学Ⅱ		2		講義	○	新井亮一		2							化
	F3D51120	有機化学Ⅰ		2		講義	○	志田敏夫	2								化
	F3D51220	有機化学Ⅱ			2	講義	○	田口悟朗		2							化
	F3D51320	分析化学		2		講義	○	森脇 洋	2								化
	F3D51420	物理化学			2	講義	○	野村隆臣		2							化
F3D51520	遺伝学		2		講義	○	梶浦善太	2								生	

GPA対象：○＝GPAの計算式に算入される。

×＝GPAの計算式に算入されない。

必修科目：当該学科等の教育目的を達成するため、卒業要件として修得を必要としている科目。

選択科目：学生の履修目的に応じて選択し、修得単位を卒業要件に算入する科目。（選択必修科目・他学科科目を含む。）

自由科目：履修できるが卒業要件に算入しない科目。

備考：所属するコースにより卒業要件の扱いが異なる科目。

教職：卒業要件と教職課程上の扱いが異なる科目。（●＝教職（理科）履修者は必修。）

：教職課程上の科目区分。

物：物理学 化：化学 生：生物学 物実：物理学実験 化実：化学実験 生実：生物学実験

66情：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

※旧カリ（12F～15F）学生は、上表に掲載されているの同一名称科目を直接履修することはできません。
学務係窓口で配布する「新旧カリキュラム読替表」を参照の上、履修計画をたててください。
不明な点がある場合は、コース教務委員へ相談してください。

応用生物科学科（16F～18F学生用）

区分	履修登録コード	科目名	単位数			授業形態	GPA対象	担当教員	対象学年・開設学期別の週時間数						備考	教職		
			必修	選択	自由				2年次		3年次		4年次			教免区分	生	
									前期	後期	前期	後期	前期	後期				
学科 科目 群 共通 科目	F3D51630	遺伝子工学		2		講義	○	野川優洋/下坂誠				2						生
	F3D51730	細胞工学		2		講義	○	保地眞一				2						生
	F3D51830	細胞生理学		2		講義	○	白井孝治				2						
	F3D51930	天然物化学		2		講義	○	田口悟朗				2						
	F3D52030	食品工学		2		講義	○	下坂 誠				2						
	F3D52130	環境微生物学		2		講義	○	山本博規				2						
	F3D52230	発生生物学		2		講義	○	高島誠司				2						生
	F3D52330	保全生態学		2		講義	○	平林公男					2					
	F3D52430	保全遺伝学		2		講義	○	梶浦善太					2					
	F3D52530	進化生物学		2		講義	○	塩見邦博					2					
	F3D52630	環境化学		2		講義	○	森脇 洋					2					
	F3D52730	ゲノム生物学		2		講義	○	松村英生					2					
	F3D52830	遺伝子解析技術論		2		講義	○	松村英生 他					2					
	F3D52930	バイオインフォマティクス		1		講義	○	小笠原寛/松村英生						2				
	F3D53020 F3D53025	生物科学基礎実験Ⅰ	1			実験	○	白井孝治 他	6						Aクラス：F3D53020 Bクラス：F3D53025		生実	
	F3D53120 F3D53125	生物科学基礎実験Ⅱ	1			実験	○	堀江智明 他		6					Aクラス：F3D53120 Bクラス：F3D53125			
	F3D53220 F3D53225	化学基礎実験Ⅰ	1			実験	○	野村隆臣 他	6						Aクラス：F3D53220 Bクラス：F3D53225		化実	
	F3D53320 F3D53325	化学基礎実験Ⅱ	1			実験	○	森脇 洋 他		6					Aクラス：F3D53320 Bクラス：F3D53325			
	F3D53430	応用生物科学実験Ⅰ	1			実験	○	玉田 靖 他				8						
	F3D53530	応用生物科学実験Ⅲ	1			実験	○	志田敏夫 他					8					
	F3D53620	物理学基礎実験		1		実験	○	山口昌樹 他			4							● 物実
	F3D53720	情報科学・統計学演習	2			演習	○	玉田 靖 他			2							66情
	F3D53830	応用生物特別講義		1		講義	○	福田裕穂(非)				集中						
	F3D53930 F3D53935	科学英語演習	2			演習	○	保地眞一 他				2			Aクラス：F3D53930 Bクラス：F3D53935			
	F3D54040	卒業研究	6			実験	○	志田敏夫					9					
	F3D54140	論文講読・プレゼンテーション演習	4			演習	○	志田敏夫					2					
	バイオ フア イバ ー科 目群	F3D54220	生物繊維資源学		2		講義	○	海老沼宏安		2							
		F3D54330	バイオマス資源論		2		講義	○	海老沼宏安			2						
F3D54430		繊維高分子化学		2		講義	○	玉田靖/矢澤健二郎			2							
F3D54530		タンパク質工学		2		講義	○	志田敏夫/矢澤健二郎			2							
F3D54630		分子育種学		2		講義	○	堀江智明				2						
F3D54730		応用昆虫科学		2		講義	○	白井孝治				2					生	
F3D54830		応用微生物学		2		講義	○	下坂誠/野川優洋				2						
F3D54930		作物生理学		2		講義	○	林田信明/堀江智明				2						
F3D55030		蚕糸・昆虫バイオテクノロジー		2		講義	○	塩見邦博				2					生	
F3D55130		応用生物科学実験Ⅱ		1		実験	○	梶浦善太/堀江智明				4						

高年次 共通教育科目 (繊維学部で受講できる授業)

履修登録 コード	区分	科目名 等	題目名	単位数			形態	担当教員 (先頭が主担当)	対象学年・開設学期別の週時間数								対象学生 (クラス番号)
				必修	選択	自由			1年次		2年次		3年次		4年次		
									前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
21013262	外国語	英語	A・E I (中級)	2			演習	マイケル ハニウッド			2						織・感《1》
21013263		英語	A・E I (初級)	2			演習	マイケル ハニウッド			2						織・感《2》
21014261		英語	A・E II (中級)	2			演習	マイケル ハニウッド				2					織・感【1】
21014262		英語	A・E II (初級)	2			演習	マイケル ハニウッド				2					織・感【2】
21013264		英語	A・E I (中級)	2			演習	コルナ デイビッド(非)			2						機・ロ《1》
21013265		英語	A・E I (初級)	2			演習	コルナ デイビッド(非)			2						機・ロ《2》
21014263		英語	A・E II (中級)	2			演習	コルナ デイビッド(非)				2					機・ロ【1】
21014264		英語	A・E II (初級)	2			演習	コルナ デイビッド(非)				2					機・ロ【2】
21013266		英語	A・E I (中級)	2			演習	ピーター ヴァンデンベルグ(非)			2						化・材《1》
21013267		英語	A・E I (中級)	2			演習	ピーター ヴァンデンベルグ(非)			2						化・材《2》
21013268		英語	A・E I (初級)	2			演習	スコット パーマー(非)			2						化・材《3》
21013269		英語	A・E I (初級)	2			演習	スコット パーマー(非)			2						化・材《4》
21014265		英語	A・E II (中級)	2			演習	コルナ デイビッド(非)				2					化・材【1】
21014266		英語	A・E II (中級)	2			演習	コルナ デイビッド(非)				2					化・材【2】
21014267		英語	A・E II (初級)	2			演習	スコット パーマー(非)				2					化・材【3】
21014268		英語	A・E II (初級)	2			演習	スコット パーマー(非)				2					化・材【4】
21013270		英語	A・E I (中級)	2			演習	コルナ デイビッド(非)			2						生物《1》
21013271		英語	A・E I (初級)	2			演習	コルナ デイビッド(非)			2						生物《2》
21014269		英語	A・E II (中級)	2			演習	コルナ デイビッド(非)				2					生物【1】
21014270		英語	A・E II (初級)	2			演習	コルナ デイビッド(非)				2					生物【2】
51001119	基礎 科学 科目	数学	微分積分学Ⅰ	2			講義	未定			2					★開講未定	
51002117		数学	微分積分学Ⅱ	学科により異なる			講義	小西 哉(非)				2				★開講未定	
51003115		数学	線形代数学Ⅰ	学科により異なる			講義	高橋正人				2				★開講未定	
51004108		数学	線形代数学Ⅱ	学科により異なる			講義	高橋正人				2				★開講未定	
52002103		物理学	力学Ⅰ	学科により異なる			講義	高橋正人				2				★開講未定	
52003103		物理学	力学Ⅱ	学科により異なる			講義	高橋正人					2			★開講未定	
53001109		化学	一般化学Ⅰ	学科により異なる			講義	小山俊樹				2				★開講未定	
53002105		化学	一般化学Ⅱ	学科により異なる			講義	宇佐美久尚/藤本哲也				2				★開講未定	

★：高年次未修得者向けの科目で、教務委員会において希望人数等を勘案し、開講の有無を学期初めに決定します。
詳細は、開講が決まり次第掲示します。

※上記以外の共通教育科目については、「共通教育履修案内」を参照してください。

◆英語科目の履修について

- ・題目名「A・E I」は「アカデミック・イングリッシュⅠ」、「A・E II」は「アカデミック・イングリッシュⅡ」の略。
- ・「アカデミック・イングリッシュⅠ」および「アカデミック・イングリッシュⅡ」の単位を修得するには、6月と12月に実施するTOEIC-IPテストの受験が必須となります。日程等の詳細は掲示するので、必ず受験してください。
- ・授業時間中に、ALC NetAcademy2 を利用した小テストを行い、この結果も成績に反映されます。

(参考)ALC NetAcademy2
<https://nacademy.shinshu-u.ac.jp/ANET2/>

教職関係科目

要注意



入学年度によって科目名、単位数、必修・選択の別、等適用されるカリキュラムが異なります。そのため科目間の読替や旧履修登録コードを使うなど、注意すべきルールがいくつかあります。詳細は学務係まで問い合わせてください。

取得可能な教員免許の種類(教科名)	学 科 名 (16F以降入学生)
中学校教諭一種免許状(理科)	先進繊維・感性工学科 機械・ロボット学科
高等学校教諭一種免許状(理科)	化学・材料学科 応用生物科学科
高等学校教諭一種免許状(工業)	先進繊維・感性工学科 機械・ロボット学科

※コースによっては、カリキュラムの性格上、授業時間割等の制約により希望する時期に希望する授業科目を履修できない場合がある。

対象カリキュラムに注意

※4年次での教職に関する科目の履修は、原則として教育実習に関連する科目とし、特に必修科目は3年次までにまでに必ず履修しておく。ただし、4年次での履修も事情を考慮し認める。

履修登録コード	16・17・18F入学生適用				19F以降入学生適用				形態	担当教員 (先頭が主担当)	対象学年・開設学期別の週時間数								備考
	区分	2016~2018年度 教職科目名	単位数		区分	2019年度 開設科目名	単位数				1年次		2年次		3年次		4年次		
			必修	選択			必修	選択			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
※		教職論	2			教職論	2		講義	河野	2		集中		集中		集中	※高年次集中：隔年開講	
※		教育学概論	2			教育学概論	2		講義	荒井 河野	2							※高年次集中：隔年開講	
※		教育の思想と歴史		2		教育の思想と歴史		2	講義	河野	集中		集中		集中		集中	※松本キャンパス	
※		学校教育の歴史と現状		1					講義									※2019年度以降廃止	
※		教育法学概論	2			教育の制度と経営	2		講義	荒井	2		集中		集中		集中	※高年次集中：隔年開講	
		教育行政学概論	2						講義									※2019年度以降廃止	
		教育経営学概論	2						講義									※2019年度以降廃止	
		教育社会学概論	2						講義									※2019年度以降廃止	
※		発達と教育	2			発達と教育	2		講義	栢	2		集中		集中		集中	※松本キャンパス	
※		教育課程の編成法	1			教育課程の編成法	1		講義	小山	集中		集中		集中		集中	※松本キャンパス	
※						特別支援教育の理論と実践I	1		講義	庄司		2						※18F以前の学生は履修不可	
※						特別支援教育の理論と実践II		1	講義	庄司								※18F以前の学生は履修不可	
※		発達心理学概論	2			発達心理学概論		2	講義	栢								※2019年度不開講	
		障害の理解と支援	2						講義									※2019年度以降廃止	
※		ノーマライゼーションとバリアフリー	2			障害と共生社会	2		講義	庄司	2		集中		集中		集中	※松本キャンパス	
Q4400905	教職に関する科目	教育方法論	1			教育方法論	1		講義	小山 田村		2		2					
Q4300904		特別活動の理論と実践	1			特別活動の理論と実践	1		講義	小山 田村		2		2					
Q4200903		道徳教育の理論と実践	2			道徳教育の理論と実践	2		講義	河野 小山			2		2			※中免のみ必修 (水5)	
※							総合的な学習の時間の指導法	1		講義	小山								※18F以前の学生は履修不可
Q4500904		生徒指導・進路指導の理論と実践	2			生徒指導の理論と実践	2		講義	田村			2		2				※「生徒指導の理論と実践」は2020年度開講
※			キャリア教育の理論と実践		2		進路指導・キャリア教育の理論と実践	1		講義	田村	集中 集中	集中 集中	集中 集中	集中 集中	集中 集中	集中 集中	集中 集中	※松本キャンパス
※			教育相談の理論と実践	2			教育相談の理論と実践	2		講義	栢		2	集中		集中		集中	※高年次集中：隔年開講
※			教育相談特論		2		教育相談特論	2		講義	栢			不定期		不定期		不定期	
※			学校教育と情報		2		学校教育と情報	2		講義	小山	集中		集中		集中		集中	※松本キャンパス
Q4402904			教育方法特論		1		教育方法特論		1	講義	小山 田村			不定期		不定期		不定期	
F9000790			教育実習事前・事後指導	1			教育実習事前・事後指導	1		講義	教務委員長							集中	※注1
F9000890			中等基礎教育実習	4			中等基礎教育実習	4		実習	教務委員長							集中	※中学又は高校3週間以上
F9000990			高等学校教育実習	2			高等学校教育実習	2		実習	教務委員長							集中	※高校2週間以上
F9001090			教職実践演習(中・高)	2			教職実践演習(中・高)	2		演習	教務委員長							2	※木5 (注2)
F9001190			介護等体験の意義と実際		1		介護等体験の意義と実際		1	講義	庄司		2		集中	集中			※中免のみ必修 (注3)
※			教育社会学概論		2		現代社会と教育問題		2	講義	荒井		2						※松本キャンパス
			現代社会と子どもの学習		2					講義									※2019年度以降廃止
※			コミュニケーションの障害と学習		2		コミュニケーションの障害と学習		2	講義	庄司	2							※松本キャンパス
※							教育臨床基礎演習		1	演習	小山	不定期		不定期		不定期		不定期	※18F以前の学生は履修不可
※							教育臨床応用演習		1	演習	小山								※18F以前の学生は履修不可
※						教育臨床総合演習		1	演習	小山								※18F以前の学生は履修不可	

教職関係科目

履修登録コード	16・17・18F入学生適用				19F以降入学生適用				形態	担当教員 (先頭が主担当)	対象学年・開設学期別の週時間数								備考
	区分	平成30年度教職科目名	単位数		区分	2019年度教職科目名	単位数				1年次		2年次		3年次		4年次		
			必修	選択必修 選択			必修	選択必修 選択			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
F9000180	教職に関する科目	理科指導法基礎Ⅰ	2		第2種(各教科の指導法)	理科指導法基礎Ⅰ	2		講義	小松				2					※中免のみ必修 (火5)
F9000290		理科指導法基礎Ⅱ	2			理科指導法基礎Ⅱ	2		講義	小松				2					※中免のみ必修 (水5)
F9000390		理科指導法Ⅲ	2			理科指導法Ⅲ	2		講義	桜井				2					金5
F9000490		理科指導法Ⅳ	2			理科指導法Ⅳ	2		講義	田中					2				金5
		工業化指導法(Ⅰ・Ⅱ)		4		工業化指導法(Ⅰ・Ⅱ)		4	講義										※不開講 (注4)
備考参照	教科	職業指導	2		教科	職業指導	2		講義										※高免工業のみ必修 先進：F3A51230 機械：F3B52230

履修登録コード【※】……別途掲示等により通知します。

■松本キャンパス開講の詳細は、「共通教育履修案内」等で確認して下さい。

■松本キャンパス開講の科目は、来年度開講されない場合があります。

■集中講義の日程は、別途掲示等により通知します。

注1：教育実習事前・事後指導について

3年の後期および4年の教育実習前に事前指導を、教育実習終了後に事後指導をそれぞれ集中で実施します。日程等は掲示を確認してください。履修登録は、4年前期に行ってください。3年の後期開講の事前指導時には履修登録の必要はありませんが、当日出欠をとります。

注2：教職実践演習について

教職に関する科目を全て履修済みであることが前提の科目です。遅くとも4年次初めまでには、ポートフォリオに履修状況を入力しておくことが必要です。教職実践演習の概要は、①公開授業の参観(事前事後指導を含む)、②学校の現場教員による授業、③学生による発表会 などです。

注3：介護等体験の意義と実際について

中学校免許取得のため介護等体験は必須です。中学校免許取得希望者は必ず受講してください。日程等は掲示を確認してください。履修登録は、3年前期に行ってください。2年後期のガイダンス時には履修登録の必要はありませんが、当日出欠をとります。

注4：高等学校一種免許状「工業」に関する特例

教育職員免許法第5条別表第1・附則第11項の定めるところにより、教職に関する科目の単位数の全部又は一部の数の単位は教科に関する科目の単位で、これを替えることができます。したがって、各学科・コースにおいて卒業に必要な単位を修得し、教育職員免許法施行規則第66条の6に定められた科目8単位及び教科に関する科目60単位を満たすことにより、「工業」の免許状を取得することができます。ただし、教科に関する科目として、「職業指導」(2単位)は必修科目です。詳細は教職ガイダンス配布時の資料及び学修便覧を参照して下さい。

▼開設科目一覧表「教免区分」欄の略記号

<教科に関する科目>

工業

記号	免許科目
工	工業の関係科目

<66条の6規定科目>

全免許種共通

記号	免許科目
66種	情報機器の操作

理科

記号	免許科目
物	物理学
化	化学
生	生物学
地	地学
物実	物理学実験(コンピュータ活用を含む)
化実	化学実験(コンピュータ活用を含む)
生実	生物学実験(コンピュータ活用を含む)

▼▼▼ 注意 ▼▼▼

★教職に関する科目の単位は、卒業所要単位には含みません。

★開設科目一覧表に記載の教免区分は、参考です。(入学年度により異なる場合あり)

詳細については、「学修便覧」及び「2年進級時教職ガイダンス資料」等に基づき履修して下さい。カリキュラム(入学年度別)により、対象科目が異なる場合があります!

2019年度

授業時間割表

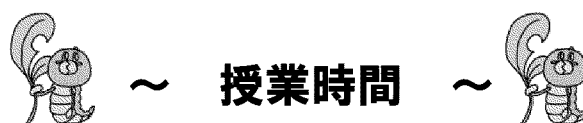
- 高年次共通教育科目（上田キャンパス開講分）
- 専門科目
- 教職関係科目（上田キャンパス開講分）

※時間割変更情報は、キャンパス情報システム等で確認

※共通教育科目（松本キャンパス開講）は、

「共通教育授業時間割表」及び掲示板を参照

※短期集中講義の日程等は、掲示板を参照



時限	時 間
1	9:00 ~ 10:30
2	10:40 ~ 12:10
昼 休 み	
3	13:00 ~ 14:30
4	14:40 ~ 16:10
5	16:20 ~ 17:50

		月					火						
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2
先進繊維・感性工学科	2年	先進繊維工学コース			F3A61820 テキストイルデザインⅠ 森川 他 29		F3A50820 人間工学	F3A50420 応用数学	F3A60220 先進繊維工学実験ⅠA 森川 他			21013263 アカデミック・イングリッシュⅠ(初級)	21013262 アカデミック・イングリッシュⅠ(中級)
		感性工学コース	F3A71520 感覚生理学Ⅰ 上條/吉田宏 27	F3A70920 感性化学 田中		F3A73220 感性デザイン論 和田 11	吉田宏 10	堀場 10	F3A71920 情報処理・システム基礎 松村嘉 27		Q4400905 前半 ★教育方法論 小山茂/田村...13 Q4300904 後半 ★特別活動の理論と実践 小山茂/田村 13	ハニウッド 24	ハニウッド 24
	3年	先進繊維工学コース		F3A63130 感覚計測工学 金井/上條 11	F3A60930 【先進繊維工学実習Ⅱ】 森川 他	F3001030 ものづくり経営Ⅰ 森川 他 総研棟7階MR1			F3A62630 インテリア工学 木村裕 21			F3A71430 感性心理学 堀場/上條 28	F3A62130 ファイバー創成工学 金慶孝 25
		感性工学コース		F3A72330 感性計測 上條/金井 11	F3A72830 CAD実習 吉田宏		F3A73730 ファッションデザイン 金貝屋 28, CAD室		F3A70130 感性工学実験実習ⅡA 松村嘉 他				
4年		卒業研究ほか ※卒業研究等のコード等詳細は、コース別開設科目一覧表を参照すること。(以下同様)		F3A72540 感性力の科学 高寺 他 26	卒業研究ほか		卒業研究ほか		F3A72040 感性情報処理 松村嘉 26				
機械・ロボット学科	2年	機能機械工学コース	F3B52320 材料力学Ⅰ 小関 32	F3B52820 工業材料学 金翠水 10	F3B60520 機能機械学演習Ⅰ 倪 他 28	F3B54720 生体運動学 中橋 28	F3B50920 電気理論 小西 32	F3B53320 熱力学Ⅰ 姫野 11	F3B51720 機械設計製図Ⅰ 小関 10	Q4400905 前半 ★教育方法論 小山茂/田村...13 Q4300904 後半 ★特別活動の理論と実践 小山茂/田村 13	21013265 アカデミック・イングリッシュⅠ(初級)	21013264 アカデミック・イングリッシュⅠ(中級)	
		バイオエンジニアリングコース		F3B71020 バイオエンジニアリング演習Ⅰ 山口 他 28							コルナ 22	コルナ 22	
	3年	機能機械工学コース	F3B51030 電磁気学 小西 33	F3B50830 人体生物学Ⅱ 秋山 29	F3B60330 機能機械学実験・実習Ⅲ 倪 他 20,21	F3001030 ものづくり経営Ⅰ 森川 他 総研棟7階MR1	F3B53830 機械力学Ⅱ 野木 28	F3B52730 材料強度学 倪 24	F3B53030 繊維強化複合材料学 倪 11	F3B53230 流体力学Ⅱ 小林 34		F3B54130 制御工学Ⅰ 鈴木智 11	F3B53530 熱流体工学 姫野 11
		バイオエンジニアリングコース		F3B51835 機械設計製図Ⅱ(バイオ) 龍 31									
4年		卒業研究ほか ※卒業研究等のコード等詳細は、コース別開設科目一覧表を参照すること。(以下同様)		卒業研究ほか		卒業研究ほか		卒業研究ほか					
化学・材料学科	2年	ファイバー材料工学コース		F3C60420 技術者基礎概論 村上 26	F3C51320		21013267 アカデミック・イングリッシュⅠ(中級)2 クワンテンベルグ 20	21013266 アカデミック・イングリッシュⅠ(中級)1 クワンテンベルグ 20	F3C51320 基礎化学実験Ⅰ[A] 吉田(裕) 他	Q4400905 前半 ★教育方法論 小山茂/田村...13 Q4300904 後半 ★特別活動の理論と実践 小山茂/田村 13	F3C50320 熱力学Ⅰ	F3C50820 無機化学Ⅰ	
		機能高分子学コース	F3C71520 高分子物性 後藤 13	F3C70120 生化学Ⅰ 小駒 13			21013269 アカデミック・イングリッシュⅠ(初級)4 パーマー 22	21013268 アカデミック・イングリッシュⅠ(初級)3 パーマー 22	基礎化学実験Ⅰ[B] ※Bクラスは自主学習		佐藤/浅尾 34	服部 34	
		応用分子化学コース		F3C81420 応用分子化学Ⅰ 平田 他 24		実験室				実験室			
	3年	ファイバー材料工学コース	F3C51730	F3C62330 ファイバー化学 吉田裕 34		F3001030 ものづくり経営Ⅰ 森川 他 総研棟7階MR1	F3C61130 統計熱力学 谷上 34	F3C60830 電気化学 杉本 34	F3C61930 分離工学 長田 31	F3C62130 工学演習Ⅰ 長田 他 27		F3C51630 化学英語基礎	F3C51530 環境プロセス工学(環境教育)
	機能高分子学コース		F3C70530 生物有機化学 荒木 27	F3C72330 機能高分子学実験Ⅰ 鈴木正/高坂/小山/村井		F3C71430 統計熱力学 谷上 34	F3C71130 電気化学 杉本 34	F3C72330 機能高分子学実験Ⅰ 鈴木正/高坂/小山/村井		大川 他 総研棟7階MR1	福長/高橋 他 総研棟7階MR1		
	応用分子化学コース		F3C80330 応用分子化学実験 藤本/西井			F3C81130 統計熱力学 谷上 34	F3C81830 電気化学 杉本 34	F3C80330 応用分子化学実験 藤本/西井					
4年		卒業研究ほか ※卒業研究等のコード等詳細は、コース別開設科目一覧表を参照すること。(以下同様)		卒業研究ほか		卒業研究ほか		卒業研究ほか					
応用生物科学科	2年		21013271 アカデミック・イングリッシュⅠ(初級) コルナ 20	21013270 アカデミック・イングリッシュⅠ(中級) コルナ 20	F3D50820 生態学 平林 34		F3D51120 有機化学Ⅰ 志田 11	F3D50220 基礎物理学 堀瀬 13		Q4400905 前半 ★教育方法論 小山茂/田村...13 Q4300904 後半 ★特別活動の理論と実践 小山茂/田村 13		F3D51520 遺伝学 梶浦 28	
	3年		F3D52030 食品工学 下坂 31	F3D51630 遺伝子工学 野川/下坂 31	F3D54930 作物生理学 林田/堀江 22	F3001030 ものづくり経営Ⅰ 森川 他 総研棟7階MR1 F3D53935 科学英語演習[B] 保地/志田/平林 29	F3D52130 環境微生物学 山本 29	F3D51830 細胞生理学 白井 29	F3D53430 応用生物科学実験Ⅰ 玉田 他 29		F3D54530 タンパク質工学 志田/矢澤 26	F3D54330 バイオマス資源論 海老沼 32	
	4年		卒業研究ほか ※卒業研究等のコード等詳細は、コース別開設科目一覧表を参照すること。(以下同様)		卒業研究ほか		卒業研究ほか		卒業研究ほか				
SUNS講義、高年次共通科目及び学科横断科目等						F3001440 【アドバンス英語Ⅱ】 ハニウッド 共ゼミ1		13129101 キャリア形成論Ⅰ 中西 他 32					

<備考> 旧カリ対象の読替科目は、履修登録コード・科目名が違うものがあるので、新旧カリキュラム読替表により対応を確認すること。
 【 】：通年科目（通年科目の登録は前期に一度のみ行う）
 ★：教職に関する専門教育科目

期

水			木					金					
3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
F3A60120 電子計算機実習 森川/堀場 28			F3A50520 材料力学 佐古井 34	F3A50320 応用統計学 吉田宏 28	F3A70720 基礎化学実験 I 松村嘉 他 25		F3000620 実践的英語W-S演習A ハニウッド 25		F3A50120 電磁気学 石澤 10	F3A60420 【先進繊維工学実習 I】 森川 他 F3A70720 基礎化学実験 I 松村嘉 他 実験室			
F3A72920 計算機実習 I 堀場/森川 28				F3A62530 実験計画法 森川 32	F3A61630 繊維材料科学 大越 27			F3A50230 多変量解析 森川 28		F3A60530 CAD実習 I 坂口 28			
F3A60730 先進繊維工学実験 II A 森川 他					F3A70830 生物科学基礎実験 I 松村嘉 他 実験室					F3A73930 造形実習 田中 他 11		F9000390 ★理科指導法 III 桜井 13	
F3A71030 感覚化学 高橋正 33	F3A72130 感性コミュニケーション ハニウッド 33	F9000290 ★理科指導法 基礎 II 小松 12			F3A70340 感性卒業研究ゼミ I 和田 他 21								
卒業研究ほか			卒業研究ほか			卒業研究ほか				卒業研究ほか			
F3B51620 プログラミング演習 河村 10			F3B50220 応用解析学 I 若月 34	F3B51920 生物科学基礎実験 [A] 白井 他 F3B52025 化学基礎実験 [B] 野村(隆) 他 F3B70620 分析化学 森脇 32			F3B51920 生物科学基礎実験 [A] 白井 他 F3B52025 化学基礎実験 [B] 野村(隆) 他	F3B51320 プログラミング I 河村 10	F3B52620 物性工学 俣 28	F3B60120 機能機械学実験・実習 I 俣 他 12, 13 F3B52020 化学基礎実験 [A] 野村(隆) 他 F3B51925 生物科学基礎実験 [B] 白井 他			
F3B60730 機能機械学演習 III 俣 他 11	F9000290 ★理科指導法 基礎 II 小松 12		F3B51230 設計工学 山口 28	F3B51530 科学英語 小林/中楯 11			F3000620 実践的英語W-S演習A ハニウッド 25	F3B54530 電子工学 小西 33		F3B51830 機械設計製図 II (機械) 鮎 31 F3B70330 生体医工学 小林 他 30		F9000390 ★理科指導法 III 桜井 13	
卒業研究ほか			卒業研究ほか			卒業研究ほか		卒業研究ほか		卒業研究ほか			
F3C51120 化学演習 I 渡辺 他 34	F3C60120 2年ゼミナール I 福長/森 他 21 F3C82520 高分子化学 I 渡辺 31		F3C50620 有機化学 I 鈴木正 総研棟7階MR1	F3C50220 電磁気学 市川 総研棟7階MR1	F3C51325 基礎化学実験 I [B] 吉田(裕) 他 実験室 ※Aクラスは自主学習			F3C61620 物理化学数学 佐藤 34 F3C71220 物理化学数学 佐藤 34 F3C81620 物理化学数学 佐藤 34	F3C50520 分析化学 幸本 34	F3C51325 基礎化学実験 I [B] 吉田(裕) 他 実験室 ※Aクラスは自主学習			
F3C60530 3年ゼミナール I 福長/森 他 21	F3C61030 分光学 野村(泰) 34 F3C71730 高分子合成化学 II 伊藤 13 F3C81030 分子分光学 野村(泰) 34	F9000290 ★理科指導法 基礎 II 小松 12	77 F3C60930 高 F3C70830 応 F3C80830 量子化学 [A] 野村(泰) 10 77 F3C60935 高 F3C70835 応 F3C80835 量子化学 [B] 野村(泰) 10		F3C62630 ファイバー材料工学実験 I 福長 他 F3C70330 細胞生物学 寺本 28			F3C72230 膜機能化学 平田 11 F3C82930 膜機能化学 平田 11		F3C62630 ファイバー材料工学実験 I 福長 他 F9000390 F3C72130 高分子コロイド化学 鈴木大 10 F3C82830 高分子コロイド化学 鈴木大 10 F3C80530 有機化学 III 浅尾 10		F9000390 ★理科指導法 III 桜井 13	
卒業研究ほか			卒業研究ほか		卒業研究ほか		卒業研究ほか	卒業研究ほか		卒業研究ほか			
			F3D51320 分析化学 森脇 32	F3D50920 生化学 I 野川 31	F3D53225 化学基礎実験 I [B] 野村隆 他 F3D53020 生物科学基礎実験 I [A] 白井 他 生物実験室			F3D50720 細胞生物学 根岸 32		F3D53220 化学基礎実験 I [A] 野村隆 他 F3D53025 生物科学基礎実験 I [B] 白井 他 生物実験室			
F3D53430 応用生物科学実験 I 玉田 他 12	F9000290 ★理科指導法 基礎 II 小松 12		F3D51730 細胞工学 保地 26	F3D54430 繊維高分子化学 玉田/矢澤 30	F3D55130 応用生物科学実験 II 梶浦 他 25	F3000620 実践的英語W-S演習A ハニウッド 25	F3D52230 発生生物学 高島 31	F3D52830 遺伝子解析技術論 松村英/小笠原/野村隆 31	F3D51930 天然物化学 田口 34			F9000390 ★理科指導法 III 桜井 13	
卒業研究ほか			卒業研究ほか		卒業研究ほか		卒業研究ほか	卒業研究ほか		卒業研究ほか			
						F3001330 【アドバンスト英語 I】 ハニウッド 22					13129102 キャリア形成論 I 中西 他 32		

		月					火							
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	
先進繊維・感性工学科	2年	F3A62320 設計工学 坂口 24	F3A61920 テキスタイルデザインⅡ 朱 27				F3A63320 品質管理工学 森川 11		F3A63020 計測工学 児山 11				F3A50620 信号処理論 10	
		F3A71220 感性生理学Ⅰ 吉武 21	F3A72620 感性材料力学 高寺 21	F3A73020 計算機実習Ⅱ 吉田宏 28		Q4500904 ★生徒指導・進路指導の理論と実践 田村 他 13	F3A71320 感性生理学Ⅱ 佐古井 27	F3A72320 マーケティング 高寺/高橋正 11		F9000190 ★理科指導法基礎Ⅰ 小松 25	F3A73120 感性造形 和田 21		乾 10	
	3年		F3A62830 スポーツウェア設計工学 金井 32	F3A60930 【先進繊維工学実習Ⅱ】 森川 他			F3A63530 スポーツ工学 吉武 32	F3A62730 産業用繊維設計製造工学 木村裕 21	F3A60830 先進繊維工学実験ⅡB 森川 他			F3000332 後半 技術者倫理(B) 上野 総研棟7階MR1 ※日曜は別途掲示	F3A62230 繊維材料分析学 金慶孝 22	F3A71630 感覚生理学Ⅱ 上條 11
	4年	F3A72440 感性形の科学 高寺 27		卒業研究ほか					F3A70230 感性工学実験実習ⅡB 松村嘉 他			卒業研究ほか		F3A63240 先進生体機能計測法 上條 11
機械・ロボット学科	2年	F3B54320 電子回路 小西 34	F3B53120 流体力学Ⅰ 小林 34	F3B53420 熱力学Ⅱ 姫野 10	F3B52920 材料加工学 金置水 21	Q4500904 ★生徒指導・進路指導の理論と実践 田村 他 13	F3B50720 人体生物学Ⅰ 秋山 26	F3B52420 材料力学Ⅱ 駒 24	F3B53920 機構学 三木 32		F9000190 ★理科指導法基礎Ⅰ 小松 25	F3B51420 プログラミングⅡ 河村 10	F3B50420 ベクトル解析 専木 34	
	3年		F3B54430 論理回路 小西 33	F3B60430 機能機械学実験・実習Ⅳ 俣 他 12, 13			F3B54630 ロボット工学 河村 10	F3B54930 知能ロボット学 岩本 10	F3B53630 エネルギー変換工学 若月 34	F3B54030 メカトロニクス 河村 28		F3000332 後半 技術者倫理(B) 上野 総研棟7階MR1	F3B51130 計測工学 中橋 31	
	4年		卒業研究ほか				卒業研究ほか							
	2年	F3C61520 ファイバー材料工学コース 藤澤 31	F3C60320 コミュニケーション法 村上 24	F3C51420 基礎化学実験Ⅱ[A] 小駒 他 13		Q4500904 ★生徒指導・進路指導の理論と実践 田村 他 13	21014268 アカデミック・イングリッシュⅡ(中級)2 コルナ 20	21014265 アカデミック・イングリッシュⅡ(中級)1 コルナ 20	F3C51420 基礎化学実験Ⅱ[A] 小駒 他 25	F9000190 ★理科指導法基礎Ⅰ 小松 25	F3C50720 有機化学Ⅱ 荒木 34	F3C50920 無機化学Ⅱ 木村時 28		
3年	F3C70420 分子生物学 小駒 13	F3C70720 有機化学Ⅲ 高坂 13				21014268 アカデミック・イングリッシュⅡ(初級)4 パーマー 22	21014267 アカデミック・イングリッシュⅡ(初級)3 パーマー 22	実験室 ※Bクラスは自主学習						
4年		卒業研究ほか				卒業研究ほか								
化学・材料学科	2年	F3C61330 ファイバー機能工学 小山俊 11	F3C62430 ファイバー物性 宇佐美 26	F3C60730 無機材料化学 杉本 26		F3C62230 工学演習Ⅱ 高橋伸 他 28	F3C61430 機器分析 佐藤 他 32	F3C62830 創成実験 宇佐美 他 24		F3C71630 光・電子機能化学 市川 11	F3C61230 材料物性 森 29			
	3年	F3C72030 ファイバー機能工学 小山俊 11	F3C72430 機能高分子学実験Ⅱ 寺本/市川/荒木			F3C71930 高分子・繊維材料 攪上 27	F3C72430 機能高分子学実験Ⅱ 寺本/市川/荒木			F3C83030 光・電子機能化学 市川 11	F3C81230 固体化学 沖野 27			
	4年		卒業研究ほか				卒業研究ほか							
	2年	21014270 アカデミック・イングリッシュⅡ(初級) コルナ 20	21014269 アカデミック・イングリッシュⅡ(中級) コルナ 20			Q4500904 ★生徒指導・進路指導の理論と実践 田村 他 13	F3D50320 動物生理学 保地 31	F3D51220 有機化学Ⅱ 田口 34	F3D53720 情報科学・統計学演習 玉田 他 28	F9000190 ★理科指導法基礎Ⅰ 小松 25	F3D54220 生物繊維資源学 海老沼 27	F3D51420 物理化学 野村隆 32		
3年	F3D54830 応用微生物学 下坂/野川 26	F3D52330 保全生態学 平林 26	F3D53530 応用生物学実験Ⅲ 志田 他			F3D52630 環境化学 森藤 21	F3D54730 応用昆虫科学 白井 31	F3D53530 応用生物学実験Ⅲ 志田 他		F3000332 後半 技術者倫理(B) 上野 総研棟7階MR1 ※日曜は別途掲示	F3D52530 進化生物学 塩見 26			
4年		卒業研究ほか				卒業研究ほか								
SUNS講義、高年次共通科目及び学科横断科目等								13130101 キャリア形成論Ⅱ 勝亦 他 32		F3001440 【アドバンス英語Ⅱ】 ハニウッド 30				

<備考> 旧カリ対象の読替科目は、履修登録コード・科目名が違うものがあるので、新旧カリキュラム読替表により対応を確認すること。
 【 】：通年科目（通年科目の登録は前期に一度のみ行う）
 ★：教職に関する専門教育科目

水			木					金				
3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
F3A60320 先進繊維工学実験ⅠB 森川 他			F3A50720 電子工学 上條 28	F3A62920 熱工学 佐古井 27	F3A61720 ヤーンテクノロジ 松本 31		F3000720 実践的英語W-S演習B ハニウッド 25	21014262 アカデミック・イングリッシュⅡ(初級) ハニウッド 21	21014261 アカデミック・イングリッシュⅡ(中級) ハニウッド 21	F3A60420 【先進繊維工学実習Ⅰ】 森川 他		
F3A71820 感性工学実験実習Ⅰ 堀場/松村/佐古井		G4200903 ★道徳教育の理論と実践 河野 他 12		F3A72720 感性材料サイエンス 高橋正 29								
		F3001130 ものづくり経営Ⅱ 森川 他 総研棟7階MR1		F3A62430 デザイン工学 和田 総研棟7階MR1		F3A62030 染色機能加工学 平田 10		F3A63430 繊維製品快適性評価法 西松 26		F3A60630 CAD実習Ⅱ 坂口 28		
				F3A73330 感性デザイン工学 和田 総研棟7階MR1		F3A73630 染色機能加工学 平田 10		F3A71730 快適性評価法 西松 26				F9000490 ★理科指導法Ⅳ 田中 他 13
卒業研究ほか			卒業研究ほか			F3A70440 感性卒業研究ゼミⅡ 和田 他 10	F9001090 ★教職実践演習 小山茂 11	卒業研究ほか				
			F3B50320 応用解析学Ⅱ 鈴木智 34	F3B53720 機械力学Ⅰ 塚木 28	F3B60620 機能機械学演習Ⅱ 梶 他 28			21014264 アカデミック・イングリッシュⅡ(初級) コルナ 22	21014263 アカデミック・イングリッシュⅡ(中級) コルナ 22	F3B60220 機能機械学実験・実習Ⅱ 梶 他 25		
F3B70720 物理学基礎実験 山口 他				F3B71120 バイオエンジニアリング演習Ⅱ 山口 他 28						F3B70420 動物行動学 森山 25		
F3B55030 ファイバーウェア 総研棟7階MR1 F3B70130 細胞生物学 秋山 24	F3000330 前半 技術者倫理(A) 上野 総研棟7階MR1 32	G4200903 ★道徳教育の理論と実践 河野 他 12 F3001130 ものづくり経営Ⅱ 森川 他 総研棟7階MR1 24	F3B52530 固体力学 鮎 24	F3B54230 制御工学Ⅱ 鈴木智 11		F3000720 実践的英語W-S演習B ハニウッド 25	F3B60830 機能機械学演習Ⅳ 梶 他 11	F3B54830 バイオメカニクス・シメティクス 山口 27	F3B70230 バイオメディカルロボット学 森山 他 29	F9000490 ★理科指導法Ⅳ 田中 他 F3B70530 認知科学 森山 29		
卒業研究ほか			卒業研究ほか			F9001090 ★教職実践演習 小山茂 11	卒業研究ほか					
F3C51220 化学演習Ⅱ 後藤 他 34	F3C60220 2年ゼミナールⅡ 福長/森 他 10	G4200903 ★道徳教育の理論と実践 河野 他 12	F3C50420 熱力学Ⅱ 長田/小山俊 34	F3C51425 基礎化学実験Ⅱ[B] 小駒 他 34			F3C61720 移動現象論 嶋田 32	F3C51020 量子力学 森 34	F3C51425 基礎化学実験Ⅱ[B] 小駒 他 34			
	F3C81320 コロイド・界面化学の基礎と応用 マクナミー 13		F3C82620 高分子化学Ⅱ 平田 10	実験室 ※Aクラスは自主学習			F3C81720 移動現象論 嶋田 32			実験室 ※Aクラスは自主学習		
F3C60830 3年ゼミナールⅡ 福長/森 他 10	F3000330 前半 技術者倫理(A) 上野 総研棟7階MR1 ※日曜別進授業	F3001130 ものづくり経営Ⅱ 森川 他 総研棟7階MR1	F3C62030 プロセス・システム工学 高橋伸 31	F3C62730 ファイバー材料工学実験Ⅱ 宇佐美 他 26			F3C61830 反応工学 福長 31	F3C62730 ファイバー材料工学実験Ⅱ 宇佐美 他 31		F9000490 ★理科指導法Ⅳ 田中 他 13		
			F3C71830 高分子機器分析 荒木 他 26	F3C80930 機器分析化学 西井/藤本 13	F3C82730 色染化学 平田 10		F3C70230 生化学Ⅱ 村井 27	F3C70630 医用高分子機能学 寺本 27				
			F3C80730 有機合成化学 藤本 21					F3C81530 応用分子化学Ⅱ 藤本 他 11				
卒業研究ほか			卒業研究ほか			F3000720 実践的英語W-S演習B ハニウッド 25 F9001090 ★教職実践演習 小山茂 11	卒業研究ほか					
F3D53620 物理学基礎実験 山口 他			F3D50620 分子生物学 林田 11	F3D51020 生化学Ⅱ 新井 11	F3D53320 化学基礎実験Ⅱ[A] 森脇 他 化学実験室 F3D53125 生物科学基礎実験Ⅱ[B] 堀江 他 生物実験室		F3D50520 微生物学 山本 34	F3D50420 植物生理学 堀江 24	F3D53325 化学基礎実験Ⅱ[B] 森脇 他 化学実験室 F3D53120 生物科学基礎実験Ⅱ[A] 堀江 他 生物実験室			
F3D52730 ゲノム生物学 松村英 11		G4200903 ★道徳教育の理論と実践 河野 他 12 F3001130 ものづくり経営Ⅱ 森川 他 総研棟7階MR1	F3D54630 分子育種学 堀江 30	F3D55030 蚕糸・昆虫/バイオテクノロジー 塩見 26		F3000720 実践的英語W-S演習B ハニウッド 25	F3D52930 バイオインフォマティクス 小笠原/松村英 33	F3D52430 保全遺伝学 堀浦 13		F9000490 ★理科指導法Ⅳ 田中 他 13		
卒業研究ほか			卒業研究ほか			F9001090 ★教職実践演習 小山茂 11	卒業研究ほか					
						F3001330 【アドバンスト英語Ⅰ】 ハニウッド 22	13301101 新聞と私たちの社会 分藤 他 32		13130102 キャリア形成論Ⅱ 勝亦 他 32			



進級・卒業所要単位



【注意】指定科目等の詳細は、入学時配布の「学修便覧」を必ず参照してください。

平成28年度入学生(16F)

★各区分指定科目等詳細については、学修便覧の各学科(コース)履修要件・科目一覧を参照

先進繊維・感性工学科

		共通教育科目					専門科目							合計
		教養科目	基礎科目				必修			選択				
			外国語	健康	新ゼミ	基礎科学	学部共通	学科共通	コース	学部共通	学科共通	コース	他学科	
2コース共通	1→2年進級関門	14	4	1	2	12	2	2	—	—	—	—	—	*37
先進繊維工学コース	3→4年進級関門	14	8	1	2	12	4	10	12	41(他学科科目:8単位まで)				104
	卒業所要単位	14	8	1	2	12	4	10	26	47(他学科科目:8単位まで)				124
感性工学コース	3→4年進級関門	14	8	1	2	12	4	8	24	37(他学科科目:8単位まで)				110
	卒業所要単位	14	8	1	2	12	4	8	32	43(他学科科目:8単位まで)				124

*1年次に修得を要する37単位のうち29単位以上修得で進級を認める。

機械・ロボット学科

		共通教育科目					専門科目							合計
		教養科目	基礎科目				必修			選択				
			外国語	健康	新ゼミ	基礎科学	学部共通	学科共通	コース	学部共通	学科共通	コース	他学科	
2コース共通	1→2年進級関門	12	4	1	2	14	2	2	—	—	—	—	—	*37
機能機械学コース	3→4年進級関門	12	8	1	2	14	4	42	8	15(他学科科目:8単位まで)				106
	卒業所要単位	12	8	1	2	14	4	42	16	25(他学科科目:8単位まで)				124
バイオエンジニアリングコース	3→4年進級関門	12	8	1	2	14	4	39	11	15(他学科科目:8単位まで)				106
	卒業所要単位	12	8	1	2	14	4	39	19	25(他学科科目:8単位まで)				124

*1年次に修得を要する37単位のうち31単位以上修得で進級を認める。

化学・材料学科

		共通教育科目					専門科目							合計
		教養科目	基礎科目				必修			選択				
			外国語	健康	新ゼミ	基礎科学	学部共通	学科共通	コース	学部共通	学科共通	コース	他学科	
3コース共通	1→2年進級関門	14	4	1	2	12	2	2	—	—	—	—	—	*37
ファイバー材料工学コース	3→4年進級関門	14	8	1	2	12	4	32	36	—	—	6	—	**115
	卒業所要単位	14	8	1	2	12	4	32	48	—	—	6	—	127
機能高分子学コース	3→4年進級関門	14	8	1	2	12	4	30	22	18			—	***111
	卒業所要単位	14	8	1	2	12	4	30	36	20			—	127
応用分子化学コース	3→4年進級関門	14	8	1	2	12	4	32	16	20			—	****109
	卒業所要単位	14	8	1	2	12	4	32	30	24			—	127

*1年次に修得を要する37単位のうち29単位以上修得で進級を認める。

**1~3年次に修得を要する専門科目のうち1年次専門科目及び実験科目を除く4単位以下の不足は進級を認める。

***1~3年次に修得を要する専門科目のうち実験科目を除く2単位以下の不足は進級を認める。

****1~3年次に修得を要する必修専門科目のうち実験科目を除く2単位以下の不足は進級を認める。

応用生物科学科

		共通教育科目					専門科目							合計
		教養科目	基礎科目				必修			選択				
			外国語	健康	新ゼミ	基礎科学	学部共通	学科共通	コース	学部共通	学科共通	コース	他学科	
応用生物科学科	1→2年進級関門	16	4	1	2	8	2	2	—	—	—	—	—	*35
	3→4年進級関門	16	8	1	2	8	4	34	32(他学科科目:8単位まで) [バイオファイバー科目群8単位含む]				**105	
	卒業所要単位	16	8	1	2	8	4	44	42(他学科科目:8単位まで) [バイオファイバー科目群8単位含む]				125	

*1年次に修得を要する35単位のうち31単位以上修得で進級を認める。

**専門科目70単位以上修得者で、1年次専門科目及び実験科目を除く専門必修科目の1 or 2単位のみ不足の場合は進級を認める。

平成29年度入学生(17F)

★各区分指定科目等詳細については、学修便覧の各学科(コース)履修要件・科目一覧を参照

先進繊維・感性工学科

		共通教育科目					専門科目							合計
		教養科目	基礎科目				必修			選択				
			外国語	健康	新ゼミ	基礎科学	学部共通	学科共通	コース	学部共通	学科共通	コース	他学科	
2コース共通	1→2年進級関門	14	4	1	2	12	2	2	—	—	—	—	—	*37
先進繊維工学コース	3→4年進級関門	14	8	1	2	12	4	10	12	41(他学科科目:8単位まで)				104
	卒業所要単位	14	8	1	2	12	4	10	26	47(他学科科目:8単位まで)				124
感性工学コース	3→4年進級関門	14	8	1	2	12	4	8	24	37(他学科科目:8単位まで)				110
	卒業所要単位	14	8	1	2	12	4	8	32	43(他学科科目:8単位まで)				124

*1年次に修得を要する37単位のうち29単位以上修得で進級を認める。

機械・ロボット学科

		共通教育科目					専門科目							合計
		教養科目	基礎科目				必修			選択				
			外国語	健康	新ゼミ	基礎科学	学部共通	学科共通	コース	学部共通	学科共通	コース	他学科	
2コース共通	1→2年進級関門	12	4	1	2	14	2	2	—	—	—	—	—	*37
機能機械学コース	3→4年進級関門	12	8	1	2	14	4	42	8	15(他学科科目:8単位まで)				106
	卒業所要単位	12	8	1	2	14	4	42	16	25(他学科科目:8単位まで)				124
バイオエンジニアリングコース	3→4年進級関門	12	8	1	2	14	4	39	11	15(他学科科目:8単位まで)				106
	卒業所要単位	12	8	1	2	14	4	39	19	25(他学科科目:8単位まで)				124

*1年次に修得を要する37単位のうち31単位以上修得で進級を認める。

化学・材料学科

		共通教育科目					専門科目							合計
		教養科目	基礎科目				必修			選択				
			外国語	健康	新ゼミ	基礎科学	学部共通	学科共通	コース	学部共通	学科共通	コース	他学科	
3コース共通	1→2年進級関門	14	4	1	2	12	2	2	—	—	—	—	—	*37
ファイバー材料工学コース	3→4年進級関門	14	8	1	2	12	4	32	36	—	—	6	—	**115
	卒業所要単位	14	8	1	2	12	4	32	48	—	—	6	—	127
機能高分子学コース	3→4年進級関門	14	8	1	2	12	4	30	22	18			—	***111
	卒業所要単位	14	8	1	2	12	4	30	36	20			—	127
応用分子化学コース	3→4年進級関門	14	8	1	2	12	4	32	16	20			—	****109
	卒業所要単位	14	8	1	2	12	4	32	30	24			—	127

*1年次に修得を要する37単位のうち29単位以上修得で進級を認める。

**1~3年次に修得を要する専門科目のうち1年次専門科目及び実験科目を除く4単位以下の不足は進級を認める。

***1~3年次に修得を要する専門科目のうち実験科目を除く2単位以下の不足は進級を認める。

****1~3年次に修得を要する必修専門科目のうち実験科目を除く2単位以下の不足は進級を認める。

応用生物科学科

		共通教育科目					専門科目							合計
		教養科目	基礎科目				必修			選択				
			外国語	健康	新ゼミ	基礎科学	学部共通	学科共通	コース	学部共通	学科共通	コース	他学科	
応用生物科学科	1→2年進級関門	16	4	1	2	8	2	2	—	—	—	—	—	*35
	3→4年進級関門	16	8	1	2	8	4	34	32(他学科科目:8単位まで) [バイオファイバー科目群8単位含む]				**105	
	卒業所要単位	16	8	1	2	8	4	44	42(他学科科目:8単位まで) [バイオファイバー科目群8単位含む]				125	

*1年次に修得を要する35単位のうち31単位以上修得で進級を認める。

**専門科目70単位以上修得者で、1年次専門科目及び実験科目を除く専門必修科目の1 or 2単位のみ不足の場合は進級を認める。

平成30年度入学生（18F）

★各区分指定科目等詳細については、学修便覧の各学科(コース)履修要件・科目一覧を参照

先進繊維・感性工学科

		共通教育科目					専門科目							合計
		教養科目	基礎科目				必修			選択				
			外国語	健康	新ゼミ	基礎科学	学部共通	学科共通	コース	学部共通	学科共通	コース	他学科	
2コース共通	1→2年進級関門	14	4	1	2	12	2	2	—	—	—	—	—	*37
先進繊維工学コース	3→4年進級関門	14	8	1	2	12	4	10	12	41(他学科科目:8単位まで)				104
	卒業所要単位	14	8	1	2	12	4	10	26	47(他学科科目:8単位まで)				124
感性工学コース	3→4年進級関門	14	8	1	2	12	4	8	24	37(他学科科目:8単位まで)				110
	卒業所要単位	14	8	1	2	12	4	8	32	43(他学科科目:8単位まで)				124

*1年次に修得を要する37単位のうち29単位以上修得で進級を認める。

機械・ロボット学科

		共通教育科目					専門科目							合計
		教養科目	基礎科目				必修			選択				
			外国語	健康	新ゼミ	基礎科学	学部共通	学科共通	コース	学部共通	学科共通	コース	他学科	
2コース共通	1→2年進級関門	12	4	1	2	14	2	2	—	—	—	—	—	*37
機能機械学コース	3→4年進級関門	12	8	1	2	14	4	42	8	15(他学科科目:8単位まで)				106
	卒業所要単位	12	8	1	2	14	4	42	16	25(他学科科目:8単位まで)				124
バイオエンジニアリングコース	3→4年進級関門	12	8	1	2	14	4	39	11	15(他学科科目:8単位まで)				106
	卒業所要単位	12	8	1	2	14	4	39	19	25(他学科科目:8単位まで)				124

*1年次に修得を要する37単位のうち31単位以上修得で進級を認める。

化学・材料学科

		共通教育科目					専門科目							合計
		教養科目	基礎科目				必修			選択				
			外国語	健康	新ゼミ	基礎科学	学部共通	学科共通	コース	学部共通	学科共通	コース	他学科	
3コース共通	1→2年進級関門	14	4	1	2	12	2	2	—	—	—	—	—	*37
ファイバー材料工学コース	3→4年進級関門	14	8	1	2	12	4	32	36	—	—	6	—	**115
	卒業所要単位	14	8	1	2	12	4	32	48	—	—	6	—	127
機能高分子学コース	3→4年進級関門	14	8	1	2	12	4	30	22	18			—	***111
	卒業所要単位	14	8	1	2	12	4	30	36	20			—	127
応用分子化学コース	3→4年進級関門	14	8	1	2	12	4	32	16	20			—	****109
	卒業所要単位	14	8	1	2	12	4	32	30	24			—	127

*1年次に修得を要する37単位のうち29単位以上修得で進級を認める。

**1～3年次に修得を要する専門科目のうち1年次専門科目及び実験科目を除く4単位以下の不足は進級を認める。

***1～3年次に修得を要する専門科目のうち実験科目を除く2単位以下の不足は進級を認める。

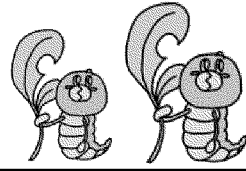
****1～3年次に修得を要する必修専門科目のうち実験科目を除く2単位以下の不足は進級を認める。

応用生物科学科

		共通教育科目					専門科目							合計
		教養科目	基礎科目				必修			選択				
			外国語	健康	新ゼミ	基礎科学	学部共通	学科共通	コース	学部共通	学科共通	コース	他学科	
応用生物科学科	1→2年進級関門	16	4	1	2	8	2	2	—	—	—	—	—	*35
	3→4年進級関門	16	8	1	2	8	4	34	32(他学科科目:8単位まで) [バイオファイバー科目群8単位含む]					**105
	卒業所要単位	16	8	1	2	8	4	44	42(他学科科目:8単位まで) [バイオファイバー科目群8単位含む]					125

*1年次に修得を要する35単位のうち31単位以上修得で進級を認める。

**専門科目70単位以上修得者で、1年次専門科目及び実験科目を除く専門必修科目の1 or 2単位のみ不足の場合は進級を認める。



キャンパス情報 システム操作手引

- キャンパス情報システム操作方法等

キャンパス情報システムについて

「キャンパス情報システム」って何？

「キャンパス情報システム」は、インターネットが利用できる環境であれば、学内・学外を問わずいつでも使用でき（メンテナンス時間帯を除く）、WEB上で履修登録や成績の確認等、授業に関する手続きを行うことができるほか、休講情報や大学からのお知らせ等を閲覧することができます。

（※公用掲示板に掲示される情報が全てキャンパス情報システムに掲載されるわけではありませんので注意してください。）

どこで使えるの？

学内にあるパソコン、自宅等のパソコンに加え、スマートフォンからも利用できます。

学部1年次生は、学内では全学教育機構10番教室（授業時間以外）・図書館のパソコンが利用できます。

何ができるの？

キャンパス情報システムでできること	
講義情報の参照	休講
	補講
	時間割・講義室等変更
	集中講義日程
	授業に関する情報
履修・成績関係	履修登録
	履修確認
	授業時間割表印刷
	成績確認
	成績通知書印刷
	授業アンケート
	シラバス参照
学生生活情報の参照	授業料免除・奨学金申請情報
	授業料免除・奨学金連絡事項
	健康診断結果
お知らせの参照	大学からのお知らせ
	アルバイト情報
	イベント・セミナー情報
就職関連情報の参照	求人情報検索
	会社説明会情報検索
	企業情報検索
	各種就職関連情報
ユーザー情報	メールアドレス登録・変更
	登録情報確認・修正

どうすれば使えるの？

最初に利用する場合はユーザー登録が必要です。詳細については、次ページ以降を参照してください。

※ パスワードは、入学時に配付された「信州大学 学生氏名等確認／アカウント通知書」のパスワードです。

それぞれの機能はどう使うの？

パソコンでログインし、メニューで「操作手引」を選択して操作手引をご覧ください。

キャンパス情報システム ユーザー登録の方法（学部生用）

キャンパス情報システムを利用するためには、まずユーザー登録が必要です。以下の手順でユーザー登録を行わないと、履修登録等が行えませんので、必ず時間に余裕をもってユーザー登録を行ってください。

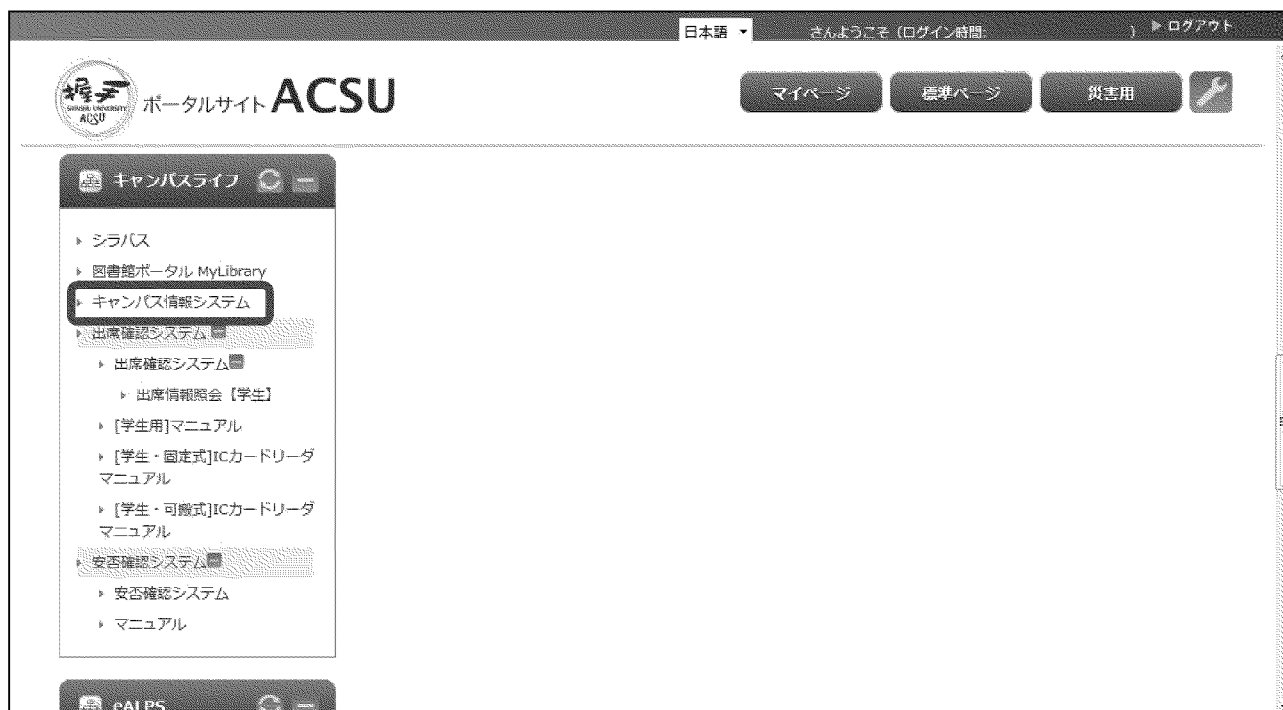
1. キャンパス情報システムへの接続方法

あなたのパソコンやスマートフォン、演習室等のパソコンでネットワークに接続する場合は、ACSU（握手）から信州大学のネットワークに接続します。ACSUのログインIDとパスワードは「信州大学学生氏名等確認/アカウント通知書」で確認してください。ログインした後、メニューからキャンパス情報システムに接続できます。シラバス参照・eALPSもACSUから利用できます。自分のパソコンの「お気に入り」に登録しておきましょう。

◆ACSU ホームページ URL

<https://acsu.shinshu-u.ac.jp/>

→ メニュー：「キャンパスライフ」→「キャンパス情報システム」を選択



2. キャンパス情報システムユーザー登録方法

キャンパス情報システムを利用するには、ユーザー登録が必要となります。ユーザー登録は以下の手順により行うことができます。

(1) キャンパス情報システムに初めてログインすると、右の「キャンパス情報システム利用者登録」画面が開きます。

学部・学科、氏名、学籍番号の記載内容に間違いがないか確認し、ローマ字氏名、E-Mail アドレス(PC用、携帯用)、現住所、電話番号の情報を入力してください。

現住所については、郵便番号欄横の「番号検索」ボタンを押すと、画面が別を開いて郵便番号検索画面が表示されます。該当の地名をクリックすると、その郵便番号と住所を元の画面の「郵便番号」、「都道府県」、「市町村等」の入力欄にコピーできます。

各項目の入力を終了したら、画面下部にある「確認」ボタンを押してください。

キャンパス情報システム利用者登録

キャンパス情報システムを利用するには、初めに、あなたの学籍情報を登録する必要があります。
登録された情報は、プライバシーポリシーに基づいて利用します。
本登録後に内容を変更する必要が生じた場合には、必ず、変更を行ってください。
詳しくは、共通教育履修案内をご参照ください。

【学籍情報】

学部名	人文学部	学科(課程・系)	人文学科
氏名	信州 太郎	学籍番号	16L9999F

【ローマ字氏名】

姓	
名	

・最初の1文字を大文字、2文字目以降は小文字で入力してください。
・外国人はパスポート又は在籍カードの英字氏名を入力してください。
・英字証明書等に使用しますので正確に登録してください。

【E-Mailアドレス】

大学(ACSU)	16l9999f@shinshu-u.ac.jp
PC用	フリガナ (確認用)
携帯用	フリガナ (確認用)

・大学からのメールをACSU以外のアドレスで受信したい場合に登録してください。

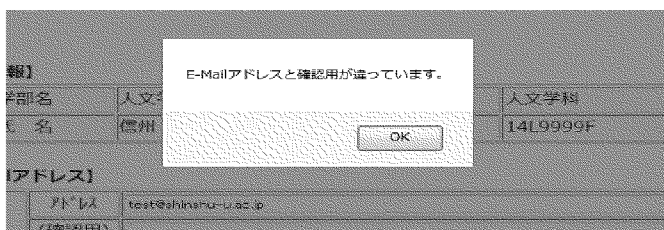
【現住所】

郵便番号	番号検索	
住所	都道府県	長野県
	市町村等	
	番地以降	※新・アパートの建物名と郵便番号を必ず記入
電話番号	携帯	※3桁+4桁-4桁
	固定	

(2) 右のように入力内容確認画面が表示されますので、入力内容の確認を行ってください。(この段階では、まだ入力内容の確定はされておられません。)

入力内容が正しければ、「登録」ボタンを、訂正する場合には、「入力に戻る」ボタンを押してください。

※入力内容に問題があると、以下のようなエラーメッセージが表示されますので、入力内容の訂正、または不足項目の入力をしてください。



キャンパス情報システム利用者登録

まだ登録は完了していません。
内容を確認し、間違いがなければ最下部にある[登録]ボタンを押して下さい。

【学籍情報】

学部名	人文学部	学科(課程・系)	人文学科
氏名	信州 太郎	学籍番号	16L9999F

【ローマ字氏名】

姓	Shinshu
名	Tarou

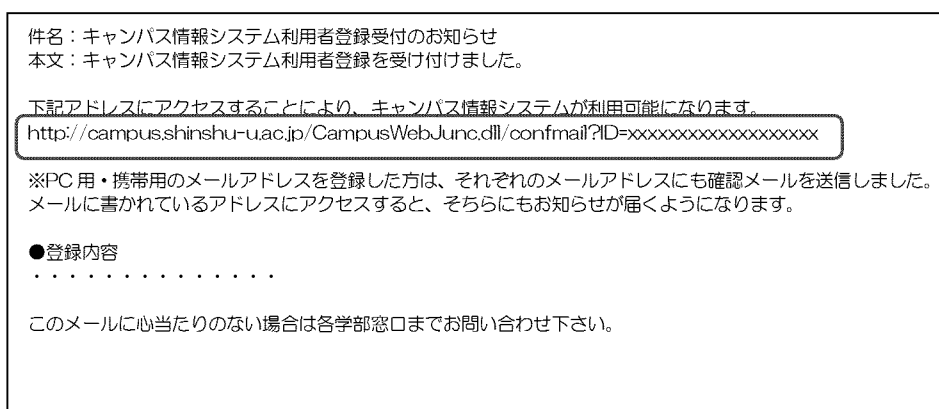
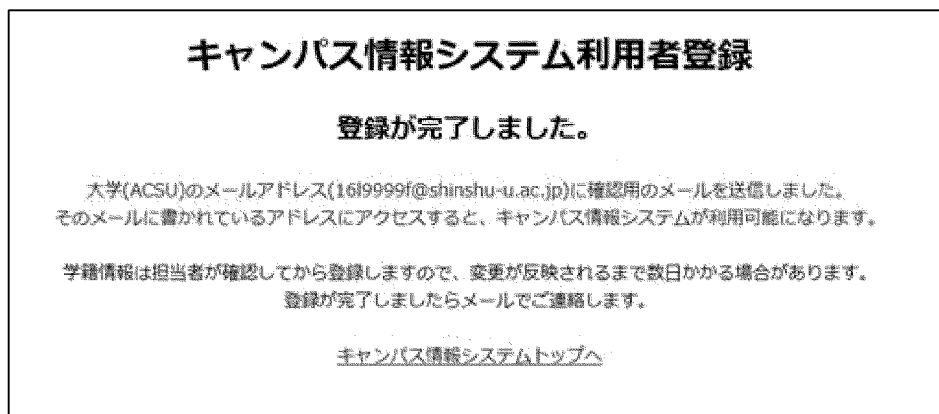
【E-Mailアドレス】

大学(ACSU)	16l9999f@shinshu-u.ac.jp
PC用	
携帯用	

【現住所】

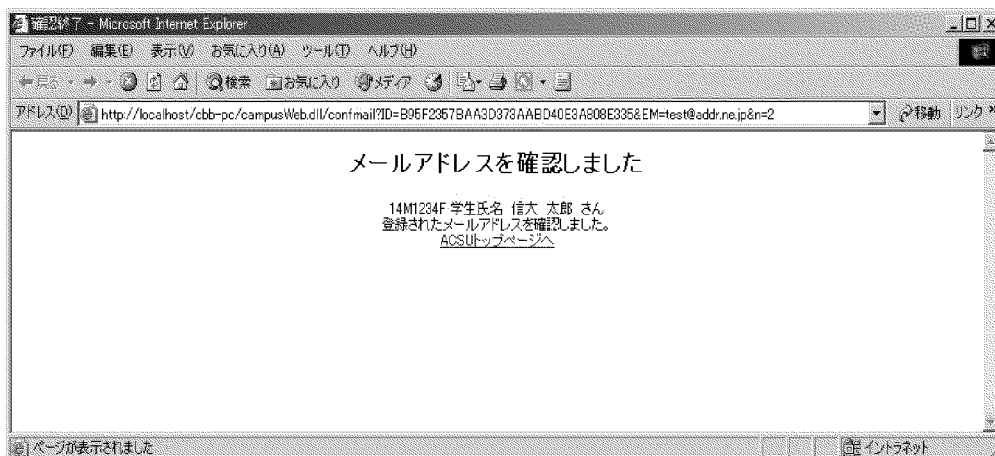
郵便番号	3900861	
住所	都道府県	長野県
	市町村等	松本市幾ヶ崎
	番地以降	6-24-2 こまくさ寮 999号室
電話番号	携帯	090-9999-9999
	固定	0263-36-3690

(3) ユーザー登録が完了すると、下の画面が表示され、大学(ACSU)のメールアドレスあてに以下のような確認用のメールをお送りします。



(4) 確認用のメールに記載された URL にアクセスすると以下の画面が表示され、キャンパス情報システムが利用可能になります。引き続きキャンパス情報システムを利用する場合は、この画面に記載された「ACSU トップページへ」のリンクをクリックして ACSU に再度ログインし、メニューからキャンパス情報システムを選択してください。

PC用・携帯用のアドレスを登録した場合は、それぞれのアドレスにも同じ内容のメールをお送りしますので、メールに記載された URL にアクセスしてください。(迷惑メール等の受信拒否設定で、大学のドメイン「shinshu-u.ac.jp」からのメールは受信できるようにしてください。)



3. その他利用上の注意事項

●メールアドレスを変更したい

⇒ログイン後のメニュー「ユーザー情報」→「メールアドレス登録・変更」から変更してください。

- ・メールアドレスの変更を行った場合は、変更後のメールアドレスに確認のメールが届きます。
- ・届いたメールにある URL をクリック（選択）することによりメールアドレスの変更が完了します。

●自分の登録内容の確認・変更をしたい

⇒ログイン後のトップページ及びメニュー「ユーザー情報」から確認または変更をしてください。

- ・トップページに氏名確認欄があります。その欄でのみ、氏名に使われる特別な漢字も表示されます。
- ・メニューの「ユーザー情報」→「登録情報確認・修正」から、自分の登録情報を確認できます。現住所、帰省先・緊急連絡先（1）、緊急連絡先（2）については登録情報の変更もできます。（保証人（父母等）の情報は確認のみで変更はできません。変更する場合は学務窓口で手続きしてください。）学部新入生の保証人（父母等）、帰省先・緊急連絡先（1）、緊急連絡先（2）に関する情報の確認・修正は5月下旬頃から可能になります。
- ・登録情報の変更を行った場合は、変更受付メールが届きます。
- ・担当者が確認してから登録するため、変更が反映されるまで数日かかる場合があります。
- ・前期と後期に初めてログインする時には、登録情報（メールアドレス、現住所、保証人（父母等）、帰省先・緊急連絡先（1）、緊急連絡先（2））の確認画面が表示されます。変更があった場合は変更項目の入力をしてください。

※ 登録情報に変更があった場合には、“必ず”変更の登録をしてください。

特にメールアドレスについては、変更を怠ると大学からのメールが受信できなくなるだけでなく、宛先不明メールを多く発信することとなるため、大学のメールサーバーが SPAM メールサーバーの疑惑をもたれることとなります。電話番号についても、大学からの至急・重要な連絡が受け取れなくなってしまいます。

保証人（父母等）、帰省先・緊急連絡先（1）、緊急連絡先（2）に関する情報についても、登録情報に変更があった場合には、必ず変更の登録をしてください。

●ACSU のパスワードを変更したい

⇒ACSU のログインパスワードを変更したい場合は、ACSU の「新ポータル管理」→「パスワード変更」→「コミュニティー」→「パスワード変更」からパスワード変更処理を行ってください。

●ACSU のパスワードを忘れた

⇒ACSU のログインパスワードを変更している場合は、変更後のパスワードは本人以外には分かりません。学生証を持参し「共通教育支援室」または「学部学務担当係」窓口でパスワード初期化の依頼をしてください。電話やメールでは受け付けません。パスワードが初期化されると、入学時に配付された初期のパスワードに戻りますので、必ずパスワードを変更してください。

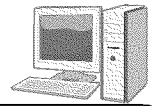
入学時に配付された初期のパスワードを知りたい場合は、学生証を持参し「共通教育支援室」または「学部学務担当係」窓口で確認してください。電話やメールでは受け付けません。

●大学（ACSU）のメールを他のメールアドレスに転送したい

⇒信州大学総合情報センターの HP の「サービス」→「信州大学メール」→「Gmail 転送設定」を参照してください。

●キャンパス情報システムについての不明な点は以下に照会してください。

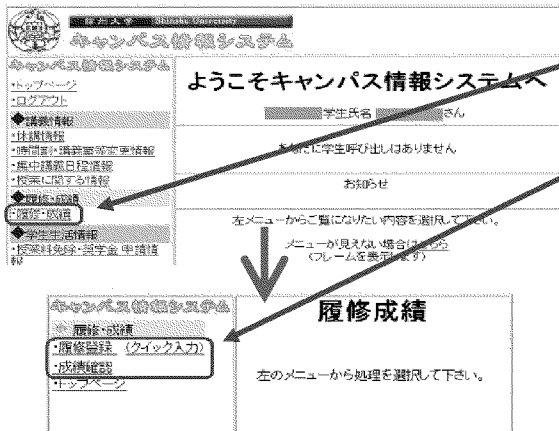
窓口：共通教育支援室（1年生・医学科2年生） または 各学部学務担当係（2年生以上・大学院生）
電話：学務課 （0263）37-2194



「Web による履修登録・成績確認」操作手引書

履修登録を行う前に、キャンパス情報システムにユーザー登録してください。
 締め切り間際はアクセスが集中し、処理時間がかかることが予想されますので、余裕を持って登録してください。履修登録は、学内のパソコン・学外(自宅等)のパソコンの外、スマートフォンからも行えます。(一部の機種を除く。)

パソコンのブラウザ(Google Chrome を推奨)により、ACSUから、キャンパス情報システムに接続してください。(ACSU の URL: <https://acsu.shinshu-u.ac.jp/>)



メニュー「◆履修・成績」から「履修・成績」を選択

履修・成績メニューから「履修登録」を選択。
 ※登録する授業のコードが全てわかっている場合は「(クイック入力)」で登録できます。

履修確認期間ではメニューが「履修確認」になり、履修登録内容の確認・修正ができます。
 確認期間終了後は修正できません。

※成績の確認や「成績通知書」を印刷したい場合は「成績確認」を選択。

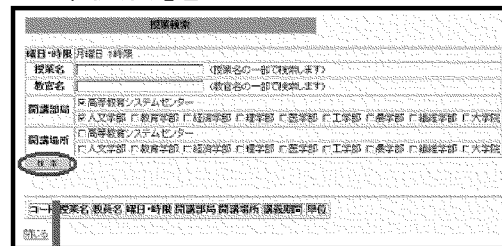
注意 30分間サーバーにアクセスがないと自動的にログオフ(切り離し)されます。入力途中のデータは保存されませんので、注意してください。

▼履修登録・修正



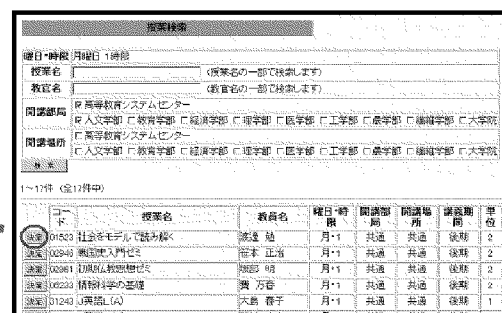
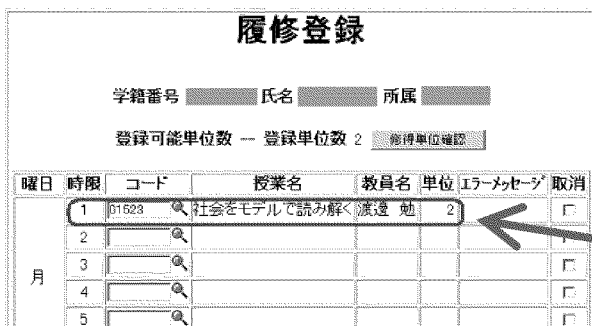
当該曜日・時限のコード欄にコードを入力します

コードがわからない場合は当該曜日・時限欄の「🔍(検索)」をクリック



検索条件を設定し「検索」をクリック

※設定せずにそのまま「検索」をクリックすると、当該曜日・時限の授業全てを表示します。



登録したい授業先頭の「決定」をクリック

※ 前期前半・前期後半等の同一時間帯に行われる授業の登録は、当該曜日時限と「その他」に登録してください。
 週2コマ開設される授業や、前・後期で時限の異なる通年授業は、いずれか1時限分のみを登録してください。
 なお、確認画面の表示は、入力とは別表示になりますのでご注意ください。

履修登録

学籍番号 氏名 所属

登録可能単位数 登録単位数 19

曜日	時間	コード	授業名	教員名	単位	エラメッセージ	取消
1	0123		社会をモデルで読み解く	渡邊 勉	2		<input type="checkbox"/>
2	0124		国際関係論ゼミ	駒村 哲	2		<input type="checkbox"/>
3	0623		社会の情報化と生活	小林 亮	2		<input type="checkbox"/>
4							<input type="checkbox"/>
5							<input type="checkbox"/>
6							<input type="checkbox"/>
7							<input type="checkbox"/>
8							<input type="checkbox"/>
9							<input type="checkbox"/>
10							<input type="checkbox"/>
その他							<input type="checkbox"/>

決定 取消

全て入力し終わったら「確認」をクリック

履修登録確認

学籍番号 氏名 所属

登録可能単位数 登録単位数 19

曜日	時間	コード	授業名	教員名	単位	エラメッセージ
1	0123		社会をモデルで読み解く	渡邊 勉	2	
2	0124		国際関係論ゼミ	駒村 哲	2	
3	0623		社会の情報化と生活	小林 亮	2	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
その他						

決定 戻る

内容を確認し「登録」をクリック

履修登録

登録しました。

履修・成績メニューに戻る

この画面を必ず
確認すること
※以下同じ

入力された授業が
登録されます

▼登録した授業を取り消す

履修登録

学籍番号 氏名 所属

登録可能単位数 登録単位数 19

曜日	時間	コード	授業名	教員名	単位	エラメッセージ	取消
1	0123		社会をモデルで読み解く	渡邊 勉	2		<input checked="" type="checkbox"/>
2	0124		国際関係論ゼミ	駒村 哲	2		<input type="checkbox"/>
3	0623		社会の情報化と生活	小林 亮	2		<input type="checkbox"/>
4							<input type="checkbox"/>
5							<input type="checkbox"/>
6							<input type="checkbox"/>
7							<input type="checkbox"/>
8							<input type="checkbox"/>
9							<input type="checkbox"/>
10							<input type="checkbox"/>
その他							<input type="checkbox"/>

決定 取消

取り消す授業の「コード」を消去するか
もしくは、「取消」にチェック
「確認」をクリック

履修登録確認

学籍番号 氏名 所属

登録可能単位数 登録単位数 17

曜日	時間	コード	授業名	教員名	単位	エラメッセージ
1						
2	0124		国際関係論ゼミ	駒村 哲	2	
3	0623		社会の情報化と生活	小林 亮	2	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
その他						

決定 戻る

取り消した授業の空欄を確認し、
「登録」をクリック

履修登録

登録しました。

履修・成績メニューに戻る

登録した授業が
取り消されます

▼登録コードがすべてわかっている場合

メニューで「(クイック入力)」を選択

履修登録 (クイック入力)

学籍番号 99X0995X 氏名 信州 太郎 所属 人文学部

ここでは追加授業のみが行えます。修正・削除を行う場合は講義の画面で行ってください。
入力欄にコードを入力して「確認」ボタンを押してください。

※キャンパス情報システムを利用した履修調整の対象となっていない授業については登録できません。

内容欄に間違いないことを確認して「確認」ボタンを押してください。

決定 戻る

授業時間割表でコードを確認しながら、
登録したい授業の「コード」をすべて
入力し「確認」をクリック

履修登録確認

学籍番号 氏名 所属

登録可能単位数 登録単位数 19

曜日	時間	コード	授業名	教員名	単位	エラメッセージ
1	0228		初級仏教思想ゼミ	坂部 明	2	
2	0124		国際関係論ゼミ	駒村 哲	2	
3	0623		社会の情報化と生活	小林 亮	2	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
その他						

決定 戻る

内容を確認し「登録」をクリック

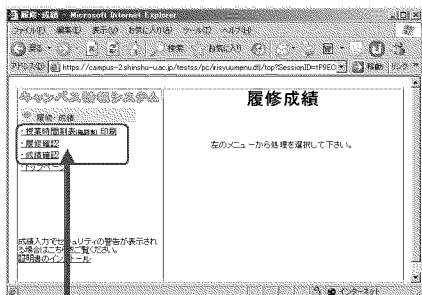
履修登録

登録しました。

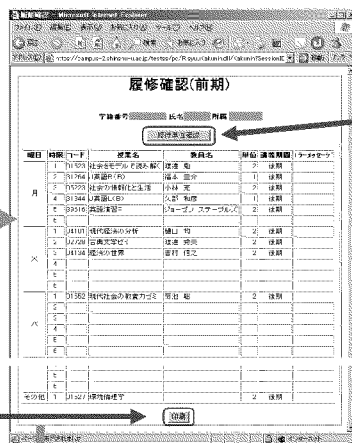
履修・成績メニューに戻る

入力された授業が
登録されます

▼履修の確認



メニューから「履修確認」を選択



「取得単位数」をクリック

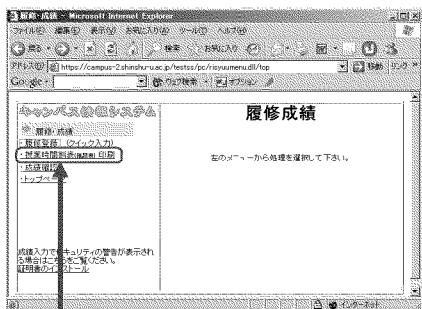


登録・取得単位数が画面で確認できます

「印刷」をクリック(操作は以下の印刷処理と同じ)

登録されている授業が画面で確認できます

▼授業時間割表の印刷

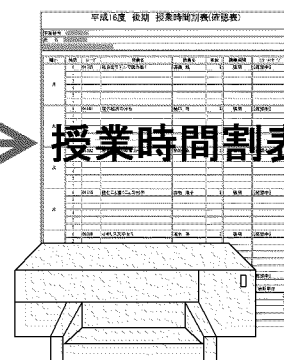


メニューから「授業時間割表(確認票)印刷」を選択



「印刷」をクリック

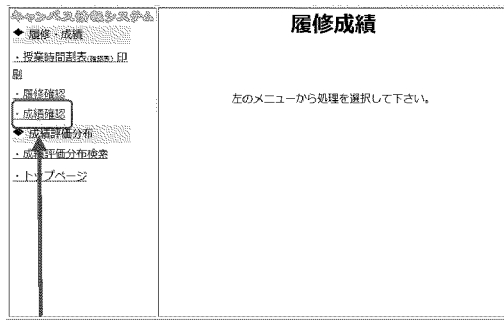
※「キャンセル」で印刷を中止



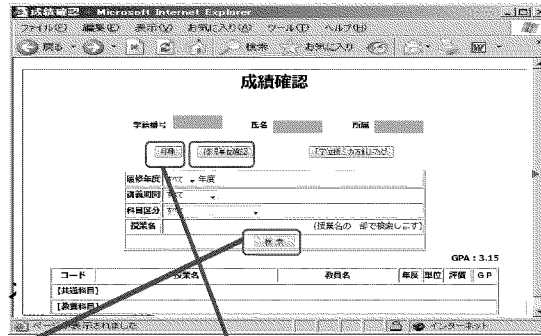
授業時間割表

※登録期間中に出力すると【確認中】と表示されます。

▼成績の確認



メニューから「成績確認」を選択

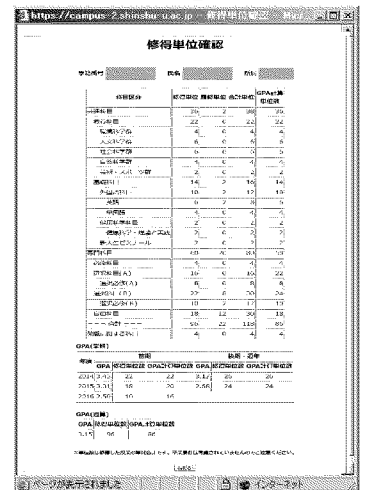


「印刷」をクリック

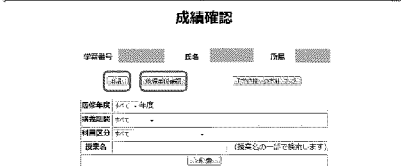
検索条件を設定し「検索」をクリック



「修得単位確認」をクリック



「印刷」をクリック ※「キャンセル」で中止



コード	授業名	教員名	年次	学期	単位数	GP
【共通科目】						
00002	前期共通教育	入教 兼	2014	2	2	
00006	前期共通教育(海外進出者対象)	入教 兼	2014	2	2	3.33
00103	1年次基礎教育	松岡 功	2014	2	2	3.33
【専修科目】						
01100	中国語入門	松岡 功	2014	2	2	
01122	現代女性学入門	松本 紀一	2014	2	2	3.33
01216	学びで楽しむ日 認知/学習の歴史	松本 紀一	2014	2	2	3.33
【履修科目】						
02000	看護学概論(大規模) / ロボット工学 / セミナー(看護学)	松本 紀一	2014	2	2	3.33
02100	1年次共通教育	松岡 功	2014	2	2	
02214	日中文化事情	松本 紀一	2014	2	2	3.33
02440	大卒4年次専門科目	松本 紀一	2014	2	2	

成績が画面で確認できます。

※「履修中」と表示される科目はまだ成績処理が終了していない科目です。

※ 成績処理が終了しないと成績を確認することができません。成績開示日は共通教育及び学部ごとに異なりますので、便覧・掲示等により確認してください。成績通知書は証明書発行機からも出力できます。

履修登録・成績確認についての質問及び問い合わせ先（なるべく直接窓口においでください）

- | | | |
|--------------------|-------------|--------------------------------|
| ○学部1年次生・医学科2年次生 | 共通教育窓口 | TEL:0263-37-2976, 0263-37-2867 |
| ○高年次生・大学院生 | 各学部(研究科)学務係 | |
| ○キャンパス情報システム全般に関して | 学務課 | TEL:0263-37-2194 |

Webによる「卒業証書・学位記」作成用氏名確認 操作手引

最終学年になった学生がキャンパス情報システムにログインすると下記画面のように氏名確認のメッセージと確認ボタンが表示されます。卒業証書・学位記は大学に届け出ている学籍データにより作成されますので、必ず確認を行ってください。卒業証書・学位記の再発行は行いませんので、留意してください。

▼PC

信州大学 Shinshu University
キャンパス情報システム

キャンパス情報システム

- ・トップページ
- ・ログアウト
- ◆講義情報
 - ・休講情報
 - ・補講情報
 - ・時間割・講義室等変更情報
 - ・集中講義日程情報
 - ・授業に関する情報
- ◆履修・成績
 - ・シラバス
 - ・履修・成績
 - ・授業改善アンケート
 - ・ポートフォリオ
 - ・授業抽選登録
- ◆学生生活情報
 - ・授業料免除・奨学金 申請情報

11X9999X 学生氏名 信州 太郎 さん

【氏名等確認用】

信州 太郎
ｼﾝｼｭ ﾀﾛｳ
Shinshu Taro
生年月日 平成4年1月1日

卒業証書・学位記の作成のため、氏名等を確認してください。
間違いがなければ、下のボタンを押してください。
訂正がある場合は、ボタンは押さずに各学部窓口までご連絡下さい。

あなたに学生呼び出しはありません

お知らせ

AM2:00-5:00は、バックアップのため一時的にアクセスが停止します。
不正利用及び情報漏洩防止のため、パスワードは定期的に変更するようにしてください。

▼携帯

信州大学
キャンパス情報システム

信大 太郎
ｼﾝｼｭ ﾀﾛｳ
Shindai Tarou

卒業証書・学位記の作成のため、氏名の文字を確認して下さい。
文字に間違いがなければ、下のボタンを押して下さい。
文字が違う場合はボタンを押さずに各学部窓口まで御連絡下さい。

あなたに学生呼出しはありません

ログイン後のお知らせ

1. 休講情報
2. 時間割・講義室等変更情報
3. 集中講義日程
4. 授業情報
5. 免除・奨学金
6. 履修確認
7. 履修登録
授業抽選登録
8. 大学からのお知らせ
9. アカデミック情報
10. ハンズオン情報
11. 各種就職関連情報
12. 掲示版
13. メールアドレス変更
14. ログアウト 変更
15. 登録情報 確認・修正
16. ログアウト

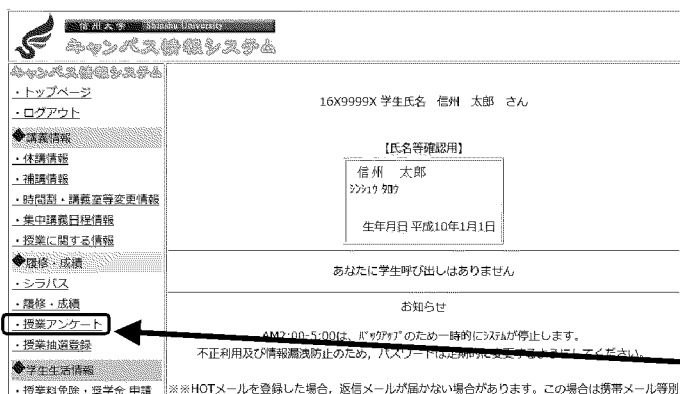
お問い合わせはこちら

自分の氏名を確認し、間違いがなければ「間違いありません」の確認ボタンを押してください。一度確認ボタンを押すと、次からはこのメッセージと確認ボタンは表示されず、通常の氏名確認メッセージが表示されます。

※一度確認をした後、卒業せず留年した場合、翌年度にあらためて氏名確認メッセージ・ボタンは表示されません

Webによる「授業アンケート」回答方法

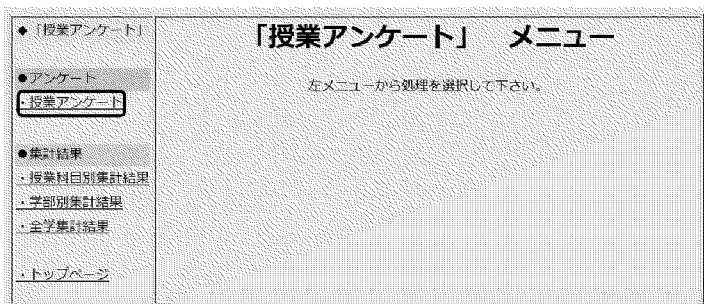
【PC版】



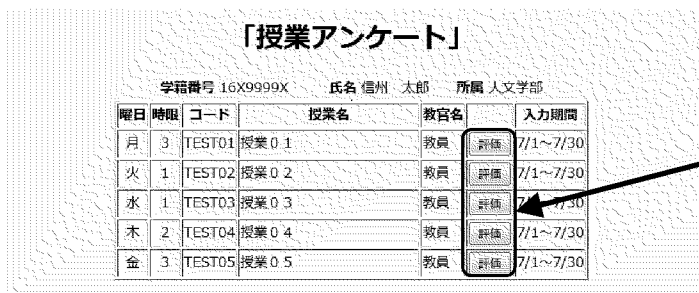
ACSUから、キャンパス情報システムに接続してください。(ACSUのURL: <https://acsu.shinshu-u.ac.jp>)

※キャンパス情報システムのユーザー登録をしていない場合は、まずユーザー登録を行ってください。

メニューの「◆履修・成績」から「授業アンケート」をクリックしてください。

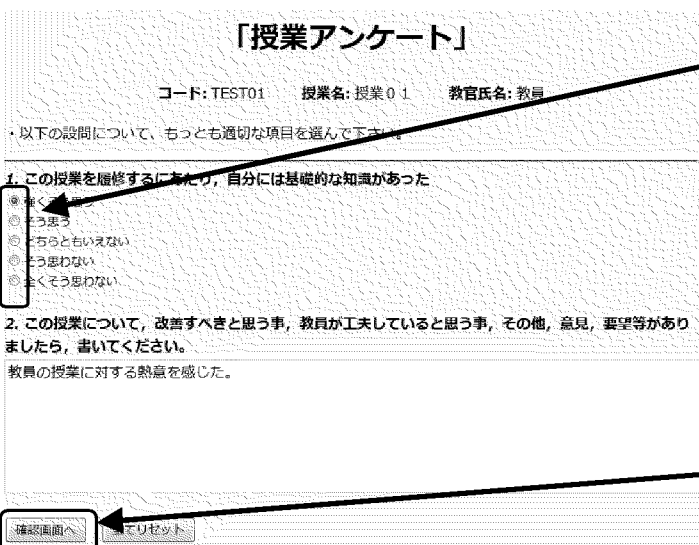


「●アンケート」の「授業アンケート」をクリックしてください。



あなたが履修している授業の一覧が表示されます。

回答する授業の「評価」ボタンをクリックします。



設問が表示されますので、それぞれの設問の回答欄をクリックし、チェックを付けてください。

※回答欄選択肢の違い
○ → 1つのみ選択できます。
□ → 複数選択できます。

記述式の回答欄には思ったことを入力してください。

最後まで回答したら「確認画面へ」をクリックします。

「授業アンケート」

コード: TEST01 授業名: 授業 0 1 教員氏名: 教員

内容を確認して下の「送信する」ボタンを押して下さい。
 内容を訂正する場合はブラウザの戻るを使わずに、下の「やりなおす」ボタンを押して下さい。

一度送信した内容は修正・削除することは出来ません。(未回答の設問に後で回答することも出来ません)

1. この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識があった
 強く思う

2. この授業について、改善すべきと思う事、教員が工夫していると思う事、その他、意見、要望等がありましたら、書いてください。
 教員の授業に対する敬意を感じた

[授業一覧へ戻る](#)

確認画面が表示されますので、最後の設問までスクロールして確認してください。

最後まで確認したら「送信する」をクリックします。

※ 送信すると、後から回答を訂正することはできません。

回答を訂正する場合は「やり直す」をクリックして画面を戻してください。
 (ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。)

ご協力ありがとうございました。

送信が終了すると表示されます。
 「戻る」をクリックすると授業の一覧画面に戻ります。

「授業アンケート」

学籍番号 16X9999X 氏名 信州 太郎 所属 人文学部

曜日	時限	コード	授業名	教員名	評価	入力期間
月	3	TEST01	授業 0 1	教員	評価	7/1~7/30
火	1	TEST02	授業 0 2	教員	評価	7/1~7/30
水	1	TEST03	授業 0 3	教員	評価	7/1~7/30
木	2	TEST04	授業 0 4	教員	評価	7/1~7/30
金	3	TEST05	授業 0 5	教員	評価	7/1~7/30

回答した授業は「評価済」となり、選択できなくなります。



キャンパスライフ

- **キャンパスライフサポート一覧** (各種届出 等)
- **保健室のご案内**
- **図書館のご案内**
- **施設・建物のご案内**
- **施設等使用規則**
- **災害発生時の避難・行動マニュアル**

キャンパスライフサポート一覧

【上田キャンパス】

事項	担当	説明
キャンパス情報システム	学務G	履修登録、成績確認、シラバス閲覧、休講情報ほか各種掲示の閲覧をインターネットで処理します。携帯電話からも可能（一部ページ除く） https://campus.shinshu-u.ac.jp/pcss/campusWeb.dll/
構内掲示板	学務G	講義棟対面にある掲示板は、大学からの通知を伝える伝達場所です。 毎日、登校・下校の2回は見て確認する習慣をつけて下さい。

各種証明書

証明書自動発行機	講義棟ロビー	稼働時間： 平日8:30～ 17:00	<ul style="list-style-type: none"> ◇学割証（1人年間（4/1～3/31）15枚まで） ◇在学証明書 15枚を超えた方は学務G窓口へ（翌業務日午後お渡し） ◇卒業（修了）見込証明書（最終学年へ進級後4月以降に発行可） ◇卒業（修了）証明書 ◇成績証明書 ◇健康診断証明書（4月中は発行不可。有効期限は今年度中〔～3/31〕） ※必要項目を受検していない場合は発行不可。保健室に相談して下さい。）
上記以外の証明書の申込	学務G窓口	交付日の3日前まで	<ul style="list-style-type: none"> ◇各種 英文証明書（交付に1週間前後かかります） ◇通学証明書 ※その他証明書は窓口で確認して下さい。（交付に日数を要します） <p>①「証明書交付願」により申請して下さい。 ②申込み3日後（土日祝日除く）に学生証持参の上、取りに来て下さい。</p>

学費・奨学金等

授業料の納入 ※在学中に授業料が改定された場合は別途掲示します	研究支援・会計G	(納入期限) 前期： 4/26 後期： 10/31	<ul style="list-style-type: none"> ○自動引落（預金口座自動振替）の場合 指定口座へは、引落日の前日（金融機関営業日）午後3時までにご入金ください。【引落日：前期分4/26(金)、後期分10/28(月)】残高不足等により引落しが出来なかった場合は、本人・保証人等に督促を行います。督促してもなお延滞が続く場合は、除籍となることがあります(学則63条)ので、早めに研究支援・会計G(会計担当)に連絡・相談してください。 ○振込用紙の場合 振込用紙は、前期分は4月中旬に、後期分は10月中旬に大学から郵送します。届きましたら、振込依頼書により期日までにお支払いください。 ★ 保証人住所や引落口座に変更がある場合には、研究支援・会計G(会計担当)に連絡してください。 ★ H23.4月より授業料の月割分納制度が出来ました。分納は、毎年半期ごとに申請し、許可された場合に限られます。 ★ 免除または月割分納を申請中の方は、選考結果が決定するまで、授業料の口座引落しを行いません。
日本学生支援機構奨学生の募集	学務G		学業成績優秀で学資等の支弁が困難な者は、願い出により奨学資金の貸与を受けることができます。（推薦基準があるため、申請者全員が採用されるものではありません。） 【書類配付】（申請受付期間等詳細は掲示） ●学部……4月上旬 ●大学院……予約採用：学部4年の10月頃 在学採用：4月上旬
奨学生の通学区分変更（自宅・自宅外）	学務G	4月中旬まで	★ 第一種奨学金のみ 上田キャンパスに移り、異動が生じた方は届け出て下さい。 （貸与月額増額・減額）
授業料免除〔学期ごと〕	学務G		経済的理由により授業料の支払いが困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合、本人の申請に基づき、選考の上で、その期の授業料の全額又は半額が免除される制度です。詳細は掲示しますので、各自で確認してください。申請用紙は配付期間中に学務へ取りに来てください。 【申請期間】前期分、前期分後期分一括：2月中旬～3月下旬、後期分：8月下旬～9月下旬
成績優秀学生授業料免除〔後期分〕	学務G		成績優秀学生（学業及び人物共に特に優秀と認められる学生）に対する授業料免除制度があります。選考基準等の詳細は学修便覧の後頁規則集の申合わせを参照して下さい。（申請は不要です。） ※対象：学部4年生後期分、修士2年生後期分、博士3年生後期分

休学・退学等

休学、退学等の申請	学務G	新学期開始の1ヵ月前まで	休学、退学等を希望する場合は、事前に所属学科・コース（課程）等の担当教員に相談の上、学務Gで申請用紙を受け取り、申請手続きを行って下さい。
-----------	-----	--------------	---

各種届出

保険の加入	学務G	随時	実験実習等で必要になりますので、保険未加入者は必ず加入して下さい。
施設使用願	学務G	使用7日前まで	体育館等施設を授業時間外に使用する場合は、学務Gにある「使用予定表」に記入し、仮予約をした上で、提出して下さい。 ※サークル等で定期的に使用する場合は、4月のサークル協議会に出席し、調整する必要があります。 土・日・祝日及び長期休業期間中の体育施設は、施設されています。
学生証再交付願	学務G	紛失時	実費1,300円を添えて申請して下さい。
有効期限延長願	学務G	随時	留年等により有効期限を延長する場合は、学生証を持参の上、申請して下さい。
登山届、海外渡航届	学務G	出発7日前まで	登山計画、海外渡航計画が決まったら、早めに届け出て下さい。
集会・催物開催届	学務G	開催1ヶ月前まで	
改姓届	学務G	随時	改姓があった場合に届け出て下さい。

就職活動

就職・求人情報	就職委員会	求人情報、就職相談の日程ほか、就職情報がインターネットで見られます。 (キャリアサポートセンターHP) http://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/careersupport/ このほか、講義棟ロビー就職コーナー、各学科・コース(課程)就職掲示板にも求人等資料があります。推薦での就職希望者は就職担当教員へ早めにご相談下さい。
---------	-------	---

上田キャンパスのきまり

構内の交通規制・学外の違法駐車	学生委員会	自動車(四輪)による構内への乗り入れは原則禁止されています。 (車両入構許可者は除く。許可申し込みについての詳細は掲示等参照) 構内では原動機付きの車両(2輪車を含む)は全て交通規制の対象となるので、指定の場所に駐輪して下さい。指定場所以外に駐輪するとチェーンロックされます。 大学周辺・正門付近への駐車及び外部より苦情のあった車両又は学生については、入構を許可致しません。
喫煙について	安全衛生委員会	学部構内は禁煙です。建物内も禁煙です。(平成27年8月より繊維学部構内は全面禁煙)
学生の掲示板使用	学務G	掲示物を持って学務Gに申し出てスタンプを押してください。 掲示する場所は生協前ですが、生協内の掲示板を使用する場合も必ず許可を得て下さい。 掲示期間は原則10日間です。
落し物・忘れ物	講義棟ロビー	構内での落し物・忘れ物で学務Gに届けられた物は、講義棟1Fロビーの「落し物BOX」に保管してあります。(3ヶ月経ったら処分します) また、構内で拾得物があった場合は学務Gへ届けて下さい。

学生生活 ～より良いキャンパスライフを送るために～

アルバイト情報	生協	キャンパス情報システムに掲載。求人受付
下宿・アパート情報	生協	大学生協作成の「下宿・アパート情報」をご覧ください。
学生相談	学生相談室 系(学科)・課程(コース)教員 保健室 相談員	★『悩まず、まずは何でも相談を!』(詳細は別途お知らせ) ★勉強上の悩みに関する相談……所属系(学科)・課程(コース)の担当教員・学務G等に相談して下さい。 ★身体及び精神の健康に関する相談 健康には普段から注意を払うことはもちろんですが、もし相談ごとがある場合は、保健室や健康相談担当の医師等に相談して下さい。(詳細は掲示)なお、授業・学校行事・課外活動中及び学内での不慮の災害事故に対する補償のため保険に必ず加入して下さい。 ★セクシャル・ハラスメント等に関する相談 「性的嫌がらせだ」等と感じることがあった場合には、信州大学の専門相談員がいますので、遠慮することなく希望する相談員に相談して下さい。秘密は守られます。
学生らしい規律	学生委員会	試験中の不正行為(カンニング)は懲戒処分となります。 刑事・民事事件を起こした場合は、大学での懲戒処分の対象となります。

- 悪徳商法や宗教、カード破産などの金銭トラブルに巻き込まれないように注意して下さい。また、実家宛に電話で大学職員を名乗り個人情報等を聞き出す前例もあるため、実家にも注意を呼びかけて下さい。
- 交通事故により他人を傷つけたり、本人が後遺症を受け、修学に支障が出るようなことがないように気を付けて下さい。
- 下宿等では、上田市民としての決まりを守り生活するよう心がけ、特にゴミ分別等のマナーには十分注意して下さい。
- 他大学受験については、在学のまま他大学を受験することは、認められません。

保健室のご案内

繊維学部保健室

保健室では、学生の皆さんの健康づくりや安全に大学生活を送るためのサポートをしています。自動身長体重計・体組成計・自動血圧計を配置しています。日頃から、ご自身の健康管理等に役立てて下さい。なお、医師は常駐しておりませんので、内服薬をお渡しすることは出来ません。

<対応時間>

平日	8:30~12:00 (昼休み)	13:00~17:00
----	------------------	-------------

※保健師は1名しかいないため、出張・休暇により不在の場合は事前に掲示をします。
なお、保健師不在の場合は学務係が対応します。

定期健康診断

学校保健安全法に基づき、毎年4月に全学生を対象に実施しています。個人の健康管理はもちろん、集団生活を送る上で健康診断を受けることは大切です。疾病予防の面からも必ず受診して下さい。受診しない場合は、就職活動・奨学金申請・サークル活動に必要な健康診断証明書の発行はできません。健康診断の結果は、証明書自動発行機及びキャンパス情報システムにて、10月1日から閲覧できますので、ご自身の健康管理のために活用して下さい。

健康相談・健康教育

けがや体調不良などの時の応急処置、心身に関する悩みなどの健康相談に保健師が対応します。また、月に一度の医師（内科・メンタルヘルス）の巡回相談も行っていますので、保健室で予約をして相談にお越しください。相談日時については、構内掲示で確認して下さい。
また、学生の皆さんの要望により、健康教室等の開催もします。

心理相談

心理的な悩みなどに関しては、常駐の心理カウンセラーに相談することが出来ます。予約窓口は保健室で行っていますので、相談を希望される方は、直接保健室を訪ねるか、電話で予約（保健室直通Tel 21-5312）をして下さい。学生相談日は、原則、水・木・金曜日です。

医療機関の紹介

近隣の医療機関の紹介を行っています。医療機関受診の際には健康保険証（コピーでも可）が必要となりますので、常時携帯することをお勧めします。

保健室閉室後ならびに休日・夜間等に緊急を要する事態が発生した場合は、下記に問合せをして下さい。

●上田中央消防署 0268-26-0119（夜間当番医の
問い合わせ）

●上田市内科・小児科初期救急センター 0268-21-2280（19:00~23:00 電話相談）
（20:00~23:00 診療時間）

●日曜・祝日の緊急医案内は、
上田市公式ホームページ（<http://www.city.ueda.nagano.jp>）
トップページ「暮らし・防災」-「消防・救急」-「救急、休日緊急医、歯科、薬局」

※ 但し当番の医療機関が遠方であったり、診察代のほか
夜間休日加算料がかかります。体調不良がある場合は、
早めに対処をしておくことをお勧めします。

QRコードの登録を
お勧めします。



図書館のご案内

繊維学部図書館

信州大学の図書館は、各キャンパスに配置され、ネットワーク型の図書館を形成しています。そのため、1年生のときと同じような方法で、繊維学部の図書館が利用できます。また、他のキャンパスの図書館を利用することもできます。

<開館時間>

	平日(月～金)	土曜日	日曜日・祝日
授業期	8:45～21:00	10:00～16:00	休館
試験期	8:45～21:00	10:00～17:00	10:00～17:00
長期休業期	8:45～17:00	休館	休館

<休館日>

- 日曜日、国民の祝日、夏季一斉休業、年末年始の休日(12月28日～1月4日)、休業期間中の土曜日
- 臨時休館日(事前に掲示やホームページ等でお知らせします)

本を借りる

- ◇借りるときは、本と学生証を持ってカウンターにお越しください。自動貸出装置でも借りられます。
- ◇貸出冊数と期間は次のとおりです。

対象者	貸出冊数	貸出期間
大学院生	10冊	30日
学部4年生	10冊	30日
学部1～3年生	10冊	14日
研究生・聴講生	5冊	14日

- *予約者がいなければ1回まで貸出更新ができます。(手続きは貸出期限内に、図書館ポータルサイト「My Library」またはカウンターで)
- *他キャンパスの図書館から取り寄せた本の貸出期間は一律14日です。

本を返す

- ◇返すときは、本を持ってカウンターにお越しください。自動貸出装置でも返却できます。
- ◇返却が遅れると罰則が付き、次の貸出ができない場合があります。返却期限日は必ず守ってください。
- ◇図書館が閉まっているときは、玄関にあるブックポストをご利用ください。

繊維学部図書館ホームページ <http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/library/textiles/>

- ◇最新のお知らせ、利用案内、開館カレンダー、学術情報へのリンクを提供しています。
- ◇図書館ポータルサイト「My Library」
圖書の購入リクエスト、自分が借りている本の確認や貸出の更新手続きなどができます。
図書館ホームページまたはACSUのメニューから利用してください。



蔵書検索(OPAC) ^{オーバーバック} <http://www-lib.shinshu-u.ac.jp/opc/>

- ◇信州大学にある資料を、書名・著者名などのキーワードで検索できます。(他キャンパスの資料も検索できます)
- ◇貸出中の本の予約や、他キャンパスの図書館からの取り寄せもできます。



図書館相互協力サービス(ILLサービス) 《有料》

- ◇他大学等の図書館から、コピーを取り寄せたり(文献複写)、本を借りたり(現物貸借)することができます。
- ◇「オンラインサービス利用申請書」を提出していただくことで、「My Library」から申し込みができます。ご希望の方は、カウンターへお申し出ください。

情報検索

- ◇1階に、パソコンがあります。情報検索にお使いください。
- ◇図書館内で、無線LANが利用できます。
- ◇論文を検索するときは、「SciFinder」「Web of Science」「JDreamⅢ」などをお使いください。
- ◇インターネットで論文を見ることのできる「電子ジャーナル」もご利用いただけます。

レファレンスサービス

- ◇資料の並んでいる場所や、情報検索についての質問はもちろんのこと、『ある事柄について調べたいけれど、どの資料を見ればよいのか分からない』といったご相談にもお答えします。お気軽にカウンターでおたずねください。

先生からの推薦図書

- ◇毎年、先生方から、学生に読んでもらいたい本を推薦していただき、購入しています。
- ◇授業の参考書を集めた「シラバス掲載図書コーナー」もあります。

図書購入リクエスト

- ◇図書館に置いてほしい本がありましたら、「図書購入リクエスト票」に必要事項を記入して、カウンターに提出してください。すでにある本や予算などを考慮して、購入するか判断します。「My Library」からもリクエストできます。

施設・建物のご案内

建物開閉時間

◇平日：月～金曜日

建 物	開館時間	閉館時間
講義棟	8：00	18：00
図書館 ※	8：45	21：00
体育館・武道場	9：00	20：00
福利施設（マルチホール）	8：00頃	19：00頃

これら以外の建物は別に定めます。

※長期休業期は8:45～17:00

（生協営業時間は別途生協に掲示）

◇休日：土・日曜日，祝日

建 物	開館時間	閉館時間
図書館（土曜のみ）※	10：00	16：00

※試験期は土・日曜日，祝日10：00～17：00，
長期休業期は閉館

これ以外の建物は，原則終日閉館されます。（届出により体育施設を使用する場合は除く）

教室等使用上の注意

◇講義棟講義室の学習室としての使用について

みなさんの自学自習のために，次のとおり講義棟講義室を開放しています。

- ・授業使用時間帯を除いて自由に使用できます。

（時間は，平日の前項建物開館時間中。ただし，長期休業期間中は使用できません。）

- ・校内LANへの接続もできます。（ACSUにアクセスし，IDとパスワードによりログイン）

◀禁止事項▶ AV機器の使用，室内での飲食，周囲の迷惑となるおしゃべり，ゴミの放置

※ 繊維学部の教育・研究に関係しない活動では使用出来ません。

◇校内LAN接続によるネットワーク利用ができる場所

PC持参	講義室全室（有線・無線LAN），生協2階ラウンジ，図書館（無線）
PC備付	図書館（PC数台）

- ・ウイルス対策をしたパソコンを用い，ネットワークの使用に当たってはルールを守って使用の上，セキュリティには十分注意して下さい。

- ・ネットワーク接続等に関する不明な点は，各課程情報システム支援室員へお問い合わせ下さい。

◇研究室・演習室・実験室・特別教室等の使用について

各建物等の定めるところにより，指導教員等の許可のもと安全に使用して下さい。

◇課外活動のための施設使用について

施 設	使用申込方法等	備 考
体育施設	1週間前までに学務Gへ施設使用願を提出	各使用規程を参照
学生部室	（別に定める）	繊維学部学生登録団体

◇注意事項

退室時は，整理整頓・戸締りを確実に行って下さい。急った場合は，以後の使用を認めません。

土・日・祝日及び長期休業期間中の体育施設は，施錠されていますので，使用を希望する場合は，施設使用願を提出してください。

構内交通規制について（自転車，バイク，自動車）

◇自転車・バイク

- ①自転車は指定された駐輪場に整然ととめて下さい。

- ②バイクは，図書館西側・機械棟西側の駐輪場に止めてください。それ以外は進入禁止です。

（キャンパスマップ：構内交通規制図参照。止むを得ず校舎間を移動するときは，手で押し移動し，騒音の発生防止に努めて下さい。）

◇自動車

- ①自動車による登校は原則として禁止します。ただし，学部4年生，大学院生等は申請により車両の入構を許可することがあります。（怪我等で短期間の場合は，学務Gへ申し出て下さい。）詳細は，講義棟南側の掲示板を参照して下さい。（申請時期：4・10月）

- ②大学周辺・正門付近への駐車及び外部より苦情のあった車両又は学生については，入構を許可いたしません。

信州大学繊維学部 体育施設内規

第1条 この内規は、信州大学繊維学部が管理する体育施設（以下「体育施設」という。）の管理運営に必要な事項を定める。

第2条 体育施設の管理運営については、信州大学国有財産一時使用許可規程又はその他の法令等に定めるもののほか、この内規に定めるところによる。

第3条 体育施設は、次に掲げるとおりとする。

体育館

体育館附属棟

弓道場

運動場

テニスコート

第4条 体育施設の管理運営の責任者（以下「管理者」という。）は、学部長とする。

第5条 体育施設は、次に掲げる場合に使用することができる。

（1）学生の課外活動

（2）教職員の福利厚生

（3）本学が主催する諸行事

（4）前各号に定めるもののほか、管理者が適当と認めた場合

第6条 体育施設を使用とする者は、所定の使用許可願を管理者に提出し、その許可を受けなければならない。

第7条 使用者は、この内規及び第10条の規程により定められた細目並びに関係法令を遵守するとともに、管理者の指示に従わなければならない。

第8条 管理者は、次の各号の一に該当するときは、使用許可を取消し、使用を中止又は使用を不許可とすることができる。

（1）使用許可願に虚偽の記載があったとき。

（2）使用者が前条の規定に違反したとき。

（3）体育施設の管理運営上特別の事情があるとき。

（4）その他使用させることを不相当と認めるとき。

第9条 使用者は、その責に帰する事由により、建物・設備の全部又は一部を滅失・破損及び汚染させた時は、管理者の指示に従い原状回復に必要な弁償をしなければならない。

第10条 この内規の定めるもののほか、体育施設の管理運営について必要な細目は、各施設ごとに定める。

附 則

この内規は昭和56年7月24日から施行する。

附 則

この内規は平成30年4月1日から施行する。

繊維学部 体育館 使用細則

1. この細則は、信州大学繊維学部体育施設内規（以下「体育施設内規」という。）第10条の規定に基づき、体育館の使用に関し必要な事項を定める。
2. 体育館を使用しようとする者は、原則として使用開始予定日の7日前までに別記様式による体育館使用許可願を顧問教員の同意を得た上で、学務係に提出して許可を受けなければならない。
ただし、土・日・祝日を除く日の8時30分から16時までの間の使用については占有はできない。
3. 体育館の使用時間は、8時30分から20時までとする。
ただし、管理者が特別に許可した場合は、21時まで延長することができる。
4. 体育館を複数の者で使用するときは、代表者を定め、当該代表者が所定の手続きを行うとともに、使用上の一切の責任を負うものとする。
5. 体育館の使用を許可されたものは、次に掲げる事項を遵守しなければならない。
 - (1) 許可された目的以外の用途に使用しないこと。
 - (2) 許可された日時以外は使用しないこと。
 - (3) 許可された者以外を入館させないこと。
 - (4) 館内では上履き用運動靴（ゴム底）以外の履物を使用しないこと。
 - (5) 館内に火気及び危険物は持ち込まないこと。
 - (6) 館内で飲酒・喫煙しないこと。
 - (7) 館内に無許可で張紙、掲示をしないこと。
 - (8) 節電に努めること。
 - (9) 使用後は必ず原形に復し、清掃を行い、ゴミを片付けること。
 - (10) 退館する際は窓・扉等を締め、消灯すること。
6. 鍵の受け渡しは、土・日・祝日は、警務員室で行うものとする。
7. 体育館の建物・設備の全部又は一部を滅失・破損及び汚染したときは、速やかに学務係（土・日・祝日及び勤務時間外は、警務員室）を経由して管理者に届け出た上、係員の指示を受けなければならない。
8. この細則に定めるもののほか、体育館の使用に関する必要な事項は、係員が指示する。
9. この細則は、体育施設内規の施行日から実施する。

信州大学繊維学部学生課外活動施設内規

- 第1条 この内規は、信州大学繊維学部が管理する学生課外活動施設（以下「課外施設」という。）の管理運営に必要な事項を定める。
- 第2条 課外施設の管理運営については、信州大学国有財産一時使用許可規程又はその他の法令等に定めるもののほか、この内規に定めるところによる。
- 第3条 課外施設の管理運営の責任者（以下「管理者」という。）は、学部長とする。
- 第4条 課外施設を使用することができる者は、所定の団体設立届（別記第1号様式）を提出して承認された繊維学部学生登録団体にかぎるものとする。
- 第5条 課外施設を使用しようとする者は、別に定める使用許可願を管理者に提出し、その許可を受けなければならない。
- 第6条 使用者は、この内規及び第9条の規定により定められた細目並びに関係法令を遵守するとともに管理者の指示に従わなければならない。
- 第7条 管理者は、次の各号の一に該当するときは、使用を不許可、又は使用許可を取り消すことができる。
- (1) 使用者が前条の規定に違反したとき。
 - (2) 課外施設の管理運営上特別の事由があるとき。
 - (3) その他使用させることを不適当と認めるとき。
- 第8条 使用者は、その責に帰する事由により、建物又は設備の全部又は一部を滅失・破損又は汚染したときは、管理者の指示に従い原状回復に必要な弁償をしなければならない。
- 第9条 この内規に定めるもののほか、課外施設の管理運営について必要な細則は、管理者が別に定める。

附 則

この内規は昭和56年10月1日から施行する。

附 則

この内規は平成30年4月1日から施行する。

- 1 この細則は、信州大学繊維学部学生課外活動施設内規（以下「課外施設」という。）第9条の規定に基づき、課外施設の使用に関し必要な事項を定める。
- 2 学生部室の使用に当たっては、毎年団体設立届提出時に別紙様式による学生部室使用願を学部長に提出し、その許可を受けなければならない。ただし、使用代表者が交替した場合は、その都度施設使用願を提出し、その許可を受けなければならない。
- 3 課外施設の使用期間は、5月16日から翌年5月15日までとする。ただし、12月29日から翌年1月3日までの期間は、特別の事情のないかぎり閉鎖する。期間を越えて継続して使用する場合でも、使用許可願を提出しなければならない。
- 4 課外施設の使用時間は、8時30分から20時までとする。ただし、管理者が許可した場合は、21時まで延長することができる。
夜間は特に騒音に注意すること。また、寝泊りは許可しない。
- 5 課外施設を使用しようとする者は、使用開始予定日の7日前までに別記第2号又は第3号様式により、管理者に使用許可を願い出なければならない。
- 6 各サークル代表者の中から部室担当者を定め、学務係やその他对外的な連絡窓口とする。
部室担当者は、各サークルの代表者に連絡を取れるようにしておくこと。
- 7 定期的にEMS学生委員会もしくは環境委員会が部室の使用状況を確認することとする。
- 8 必要に応じて警務員が廊下を巡回できるようにするとともに、室内を確認できるようにすること。
- 9 サークル顧問教員は、課外施設に随時出入りできるものとし、その他管理上必要と認めた場合は、点検業者・関係教職員等は室内に入出入りできるものとする。
- 10 課外施設を使用する者は、次の事項を細心の注意をもって遵守しなければならない。
 - (1) 室内・周辺の廊下を整理整頓し、不要な物品を放置しない。必ず鍵をかけ、注意をすること。
 - (2) 粗大ゴミ・私物を共有スペースへ置かないこと。発見した場合、置いた人に関わらず、部室全体の使用を停止する措置も取り得る。
 - (3) 課外施設は、その目的以外の用途に使用し、又は許可を受けた者以外に使用させてはならない。
 - (4) 使用時間を厳守しなければならない。
 - (5) 管理者等の指示に従わなければならない。
 - (6) 著しく喧騒にわたり、又は風紀を乱すなど他人の迷惑となる行為をしてはならない。
 - (7) 火気及び危険物は一切持ち込んではいけない。
 - (8) 喫煙してはならない。
 - (9) 盗難には、各自が細心の注意をはらわなければならない。
 - (10) 許可なく課外施設備付の物品を持ち出してはならない。
 - (11) 使用後は、室内を整理・清掃のうえ、消灯及び施錠を確認しなければならない。
 - (12) 課外施設の鍵は学務係が管理し、各部屋の出入はダイヤル錠とし、学生が管理し、番号を変更した場合は学務係へ届ける事。
 - (13) 本学の教育研究に関わらない、外部団体の意志を代弁したり、企業などの宣伝に利用されるような活動、信州大学の名を語って商業活動を行う団体は使用できない。
 - (14) 室内及びその設備に加工を加えたり、汚損したりしてはならない。
電気は、照明器具以外は使用してはならない。又、許可なく照明器具を増やし、コンセント等を使用してはならない。
 - (15) 各部室で暖房器具を使用する場合は、あらかじめ種類と使用台数を届け出ること。
また、各部室に火元責任者を定め、灯油の管理等を責任を持って行い、保管場所をあらかじめ届け出ること。
 - (16) 音量・ゴミ・使用方法等の苦情が発生した場合は一時、使用禁止とする。

- (17) 部室内での飲酒は禁止する。他のサークル、人々に迷惑のかかる行為は厳に謹み、快適な環境のもとで行動するよう努めること。
- (18) 以上のことが守れない場合や使用状況があまりにも悪い場合で、かつ改善の努力が見られない場合は部室使用停止とし、翌年度の申し込みを認めない。
- (19) 貴重品の類は絶対に置かない事。
- 11 課外施設の管理運営に関する事務は、学務係において処理する。
- 12 第3項に定める閉鎖期間中に特別な事情により課外施設を使用しようとする場合は、別記第3号様式により管理者に使用許可を願い出なければならない。
- 13 この細則に定めるもののほか、課外活動施設の使用に関する必要な事項は、係員が指示する。
- 14 体育施設内規、体育館細則、課外活動施設内規及びこの使用細則が守られない場合は使用を認めない又は翌年度の申し込みを認めない。
- 15 この細則は、課外活動施設内規の施行日から実施する。

繊維学部学生部室使用の注意事項

- 1 学生部室の使用に当たっては、毎年団体設立届提出時に別紙様式による学生部室使用願を学部長に提出し、その許可を受けなければならない。ただし、使用代表者が交替した場合は、その都度施設使用願を提出し、その許可を受けなければならない。
- 2 学生部室等の使用時間は、8時30分から20時までとする。ただし、管理者が許可した場合は、21時まで延長することができる。
夜間は特に騒音に注意すること。また、寝泊りは許可しない。
- 3 各団体代表者の中から部室担当者を定め、学務係やその他対外的な連絡窓口とする。
部室担当者は、各団体の代表者に連絡を取れるようにしておくこと。
- 4 定期的にEMS学生委員会もしくは環境委員会が部室の使用状況を確認することとする。
- 5 顧問教員は、室内に出入りできるものとし、その他管理上必要がある場合は、点検業者・関係教職員等は室内に出入りできるものとする。また、環境管理組織関係者も、室内に出入りできるものとする。
- 6 必要に応じて警務員が廊下を巡回できるようにするとともに、室内を確認できるようにすること。
- 7 室内は常に整理整頓をし、清潔に心がけること。又、外出の際は必ず鍵をかけ、盗難に細心の注意をすること。
- 8 粗大ゴミ・私物を共有スペースへ置かないこと。発見した場合、置いた人に関わらず、部室全体の使用を停止する措置も取り得る。
- 9 電気は、照明器具以外は使用してはならない。又、許可なく照明器具を増やし、コンセント等を使用してはならない。
- 10 各部室で暖房器具を使用する場合は、あらかじめ種類と使用台数を届け出ること。
また、各部室に火元責任者を定めること。
- 11 最後の退出者は、必ず不始末がないか確認し、消灯して退出すること。
- 12 部室内での飲酒は禁止する。他のサークル、人々に迷惑のかかる行為は厳に謹み、快適な環境のもとで行動するよう努めること。
- 13 以上のことが守れない場合や使用状況があまりにも悪い場合で、かつ改善の努力が見られない場合は部室使用停止措置を取り得る。

(平成30年2月20日学生委員会承認)

繊維学部学生登録団体について

繊維学部学生委員会

大学への届出について

学生団体（サークル等）を結成した場合は大学へ届出を行ってください。届出の手続きが完了した団体を登録団体とします。新規学生団体（サークル等）の届出は毎年4月に行われるサークル協議会で受け付けます。

登録団体となるには次の要件を満たす必要があります。

1. 顧問を定める（本学部の専任教員に限る）
2. 名簿を提出する（会員には非正規生を含んでも良いが、上田キャンパス正規学生を5名以上の構成員を有する事）
3. 会則（団体内のルール）を作成する。

登録団体は、体育施設・課外活動施設などの施設利用申込みが出来るようになります。

学生団体の運営は構成員の自主性に基づくものとし、外部団体の意志を代弁したり、企業等の営利・宣伝等に利用されるような活動、信州大学の名を語って商業活動を行うような事は、登録団体として相応しくありません。

団体届は以下のようにしてください。

- ・継続している団体も1年に1回提出。
- ・全学のサークル・同好会は、全学の役員氏名、会員数を記入。
- ・役員は必ず、上田キャンパスの学生及び教員を記入。（全学サークルを上田キャンパスに登録する場合も同様）
- ・会計に責任が持てる体制が団体内に整備され、顧問として専任の教員が1名以上いて、代表学生1名、副代表、連絡員及び会計担当者が各1名以上いること。
- ・学生団体設立届と学生部室使用願の顧問教員欄は、必ず顧問教員の捺印を受けてください。
- ・学生団体設立届、サークル・同好会名称、サークル・同好会部員名簿、会則及び部室使用願（該当団体のみ）の各用紙は、必ず顧問教員へ写し（コピー）を必ず渡してください。

注意事項

1. 課外活動施設は登録団体になってから1年以上経過し、許可された団体が使用申し込みができます。
2. 継続の学生団体でも期間内に届出をしなかった場合は新規の学生団体となり、活動年数は0年となります。
3. 書類不備の場合は届出が完了したことになりません。必要書類をすべて揃え、締切までに提出する必要がありますので、届出は余裕を持って行ってください。
4. 届け出は、必ず当該年度の様式を使用してください。例年、前年度の様式を提出する団体がありますが、書類不備となります。

諸事項等

- ① サークル宛の郵便物は講義棟ロビーの事務室入口前の右側のボックスに「文科系」「体育系」のトレイに入れておきます。定期的に確認して持って行くようにしてください。5月、8月、12月、2月頃に棚中を整理し、残っている郵便物は処分します。
- ② サークル協議会は毎年4月に開催予定です。期日等は掲示及び大学からのお知らせに掲載します。
- ③ 代表者が変更になる場合はあらゆる事項について、確実に引き継ぐようにしてください。
- ④ 課外活動施設及び体育施設は特別な場合を除き、8時30分～20時までが使用時間です。特にテニスコート・グラウンドについては、朝の練習による苦情（声大きい）がありました。夏季でも朝早くからの練習は認められませんので注意してください。特に音楽系サークルは使用時間を厳守（守られない場合は即時使用禁止とします）してください。
- ⑤ 繊維学部は教室での活動を認めていませんので、注意してください。
- ⑥ 体育施設を使用するサークルの代表者の電話番号及び大学付与のメールアドレスは、大会・合宿・外部貸出等で1日中使用したい団体等に日程調整のため、知らせる事になりますのでご承知ください。
- ⑦ 課外活動施設内に貴重品（盗まれたら困るものモノ）は絶対に置かないで下さい。

- ⑧ 大学から代表者等への連絡は、電話又は大学付与アドレスへメールで行います。
- ⑨ 届出書類の提出が無い場合は、施設使用・予約・使用割振り等が無効となりますので、注意してください。
- ⑩ 各施設を使用した場合は必ず掃除を行い、最終使用者は戸・窓を締めて下さい。掃除状況・戸締り状況により、施設自体の使用を中止する場合がありますので、注意してください。
課外活動施設を使用している団体は廊下の清掃を行う事。片付け・清掃状況が悪い場合は、該当団体又はフロア使用全団体が翌年度の使用が出来ない場合がありますので注意してください。
- ⑪ 施設管理上、安全衛生委員会及び点検業者等が施設内に入ります。

その他(平成30年度のみ)

特例として、平成27年度及び28年度に登録申請があった団体については、29年度に登録がなかった場合でも30年度に申請がある場合は、継続申請として取り扱う。

(平成30年2月19日学生委員会)

災害発生時の避難・行動マニュアル【学生編】

(2013.09.19：防災委員会)

1. 日常からの安全対策

地震等の自然災害は、突然発生し、建築物の倒壊、家具等の落下・転倒など物的被害とそれに基づく人的被害などの直接被害だけでなく、火災等による間接的な被害も起こるため、これらの災害の発生を最小限に留めるためには、日常からの備えが必要です。

(1) 一般的な安全対策

- ・あらかじめ、学内（本学からの配布物）、自宅周辺（自治体のホームページ等）の避難場所を確認しておく。
- ・消火器、火災報知器等の使用法や設置場所などを確認しておく。
- ・夜間の避難に備えて、居住する部屋に懐中電灯を用意する、又は小型のライトを携帯することが望ましい。
- ・冬期における避難時の防寒対策のため、防寒シート（新聞紙による代替も可能）の常備・携行が望ましい。

(2) アパート・学生寮等での安全対策等

- ・就寝の位置は、なるべく窓際（窓ガラス）や、転倒、崩落の可能性がある家具等から離す。
- ・窓ガラス等は破損して散乱する危険性があるので、就寝時は障子戸・カーテン等を閉め、上履きを身近におく。
- ・日頃から、使用しないときはガスの元栓を閉めておく。
- ・居室の戸締まりや、ガス、電気等の火気の始末には十分留意する。
- ・たこ足配線はせず、常にコンセントの周囲を清掃し、埃等を取り除く。
- ・自宅に給水用のポリタンク（バケツにビニール袋で代用も可）や3日分以上の水、食料を準備しておく。
- ・お風呂の残り湯を貯めておき、火災時の消火や断水時のトイレのタンクへの給水に利用する。

(3) 教室・実験室等での安全対策

- ・通路が塞がれる場合を想定し、建物から退避するための複数の避難経路を確認しておく。
- ・実験室等の室内を整理整頓し、安全な避難路を平素から確保しておく。

2. 災害発生後の安全対策

地震による強い揺れを感じた場合、あわてず冷静に次のように各自で対処する。また、地震規模が【震度6弱以上】の場合は、安否等の情報を教職員に連絡する。

(1) 災害発生直後の対応（学内）

- ・講義室、実験室、実習室等で授業中の場合は、教員の指示に従って、速やかに机の下等に身体（特に頭部）を隠す、または、カバン等で頭を守る。
- ・ドアを開けて非常脱出口を確保する。
- ・倒れた書庫等の下敷きになっている人はいないかなど、周囲の人の安全を確認する。
- ・強い余震が発生する可能性もあることから、あわてて外に飛び出さない。

- ・実験室等で火気等を使用中の場合は、直ちに火を消すなどの安全措置を講じる。
- ・廊下を通行中の場合は、破損した窓ガラスなどに注意するとともに、壁の近くに身を寄せ、安全を確保する。
- ・渡り廊下または階段を通行中の場合は、天井等が落下するおそれがあるので、速やかにそこから離れ、近くの安全な場所に退避する。
- ・体育館にいる場合は、壁に身を寄せ、落下物に注意する。
- ・売店等にいる場合は、物品及びガラス等の飛散に注意し、店員の指示に従う。
- ・野外にいる場合は、速やかに建物、高い壁、階段、送電線等から離れ、最寄りの避難場所や屋外の開けた場所で身の安全を確保する。
- ・エレベーターの中にいる場合、全ての階のボタンを押し、停止した階で降りる。閉じ込められたら、非常ボタンを押して救助を待つ。(救出されるまで長時間を要する可能性もあるので、体力を消耗しないように努める。)
- ・負傷者や救助を必要とする人がいる場合は、周りの状況を慎重に判断し、救助する。付近に人がいる場合は応援を求める。
- ・隣の教室、部屋等で救助を求めている人はいないか確認する。
- ・障害を持つ人、負傷した人など自力で避難できない人はいないか確認する。

(2) 災害発生直後の対応（学外）

- ・まずは、学内の行動を参考にして、その場で身の安全を確保する。
- ・自動車、バイク、自転車を運転中の場合には、ゆっくりと道路の左側に寄せて停車する。(エンジンを切る。)自動車、バイクから離れて避難する際は、連絡先のメモを残し、キーはつけたまま、車検証を持って安全な場所へ避難する。
- ・本学以外の施設において災害が発生した場合は、当該施設の職員の誘導等に従う。

(3) 避難するときの注意

- ・地震の揺れが収まったら、教職員の指示に従い、速やかに部局が指定する避難場所に避難する。
- ・二次災害を防止するため、可能な限り、電源の遮断、ガスの元栓閉鎖等の措置を取る。
- ・壁や建物上方からの落下物（特にガラス等）や足下に十分注意し、カバン、本、ヘルメット等で頭部を守る。
- ・エレベーターは使用しない。
- ・傾いた建物・ブロック塀・自動販売機など倒壊の恐れのあるものには近寄らない。
- ・出火時は、姿勢を低くし、ハンカチやタオルを口と鼻に当て、煙を吸わないようにする。
- ・一旦避難したら、教職員から指示があるまでは、建物の中に戻らない。(しばらくの間、建物内に入れられない可能性があるため、自宅の鍵、携帯電話、財布、上着（特に冬季は）などを忘れずに身につけて、避難すること。)

(4) 屋外に避難した後の対応

- ・ブロック塀・自動販売機など倒壊の恐れのあるものには近寄らない。
- ・避難先では、各研究室単位、学部生にあっては各学年単位で集合し、教員又は各学部事務職員による不明者の有無、負傷者の有無等、避難状況の確認を受ける。
- ・負傷した場合や負傷者がいる場合には、教職員に申し出る。
- ・震度5強以下の場合は状況により、震度6弱以上の場合は必ず、本学から学生宛携

帯に一斉メールを送信するので、本学へ安否について返信する。または、学部ごとに指定する電話番号に連絡する。(別途、本学による確認を受けた場合には返信、連絡は不要)

(5) その他

- ・ 停電等からの復旧時の漏電やガス漏れによる火災、水道水の濁りなどが想定されるので、教職員からの指示があるまでは電気、ガス、水道は利用しないようにする。
- ・ 帰宅が困難となった場合（例えば公共交通機関を通学に利用している場合で片道 20 km以上）には、教職員の指示を受けて、学内の指定された場所に宿泊すること。

4. 安否等の連絡先

【連絡先】

松本キャンパス

学生総合支援センター	(0 2 6 3) 3 7-2 1 9 7
人文学部 学務係	(0 2 6 3) 3 7-2 2 3 6
経済学部 学務グループ	(0 2 6 3) 3 7-2 3 0 4
理学部 学生支援グループ	(0 2 6 3) 3 7-2 4 3 9
医学部医学科 学務第1係	(0 2 6 3) 3 7-2 5 8 0
医学部保健学科 学務第2係	(0 2 6 3) 3 7-2 3 5 6
全学教育機構 共通教育窓口	(0 2 6 3) 3 7-2 9 7 8
国際交流センター	(0 2 6 3) 3 7-2 8 6 5

他のキャンパス

教育学部 学務係	(0 2 6) 2 3 8-4 0 0 5
工学部 学務グループ	(0 2 6) 2 6 9-5 0 5 1
農学部 学務グループ	(0 2 6 5) 7 7-1 3 0 9
繊維学部 学務グループ	(0 2 6 8) 2 1-5 3 2 2
繊維学部 総務グループ	(0 2 6 8) 2 1-5 3 0 3

※震度5強以下の場合は状況により、震度6弱以上の場合は必ず、本学から学生宛携帯に一斉メールを送信しますので、本学へ安否について返信してください。または、学部ごとに指定する電話番号に連絡してください。

【緊急連絡ダイヤル】

「信大災害・緊急ダイヤル」 TEL：0 2 6 3-3 7-3 3 3 3

- ・災害、事故、火災等緊急時で本学に連絡する必要がある場合は、それぞれ各部局の緊急連絡網へ直接電話することとなっていますが、咄嗟の場合で連絡すべき電話番号が分からない場合にご利用ください。
- ・オペレーターが指定された部局の緊急連絡先に連絡します。
- ・災害による建物の火災、建物倒壊の危険など、緊急を要する場合などにご利用ください。

5. 災害用伝言ダイヤルの使い方

【災害伝言ダイヤル】

A (自分の情報を相手に伝えたい時) =伝言録音

「1 7 1」 + 「1」 + 「自分の TEL」 + 「自分のメッセージ録音」

- ①「1 7 1」をダイヤルする
- ②ガイダンスに従って「1」(暗証番号ナシ)をダイヤルする
- ③自分の電話番号をダイヤルする
- ④30秒以内に自分のメッセージを録音する

B (相手の情報を聞きたい時) =伝言再生

「1 7 1」 + 「2」 + 「相手の TEL」 + 「相手のメッセージ再生」

- ①「1 7 1」をダイヤルする
- ②ガイダンスに従って「2」(暗証番号ナシ)をダイヤルする
- ③相手の電話番号をダイヤルする
- ④相手のメッセージを再生する

6. 各キャンパスの最寄りの指定避難場所は以下のWebサイトを参照ください。

松本キャンパス周辺（松本市Webサイト）

<http://www.city.matsumoto.nagano.jp/kurasi/bosai/torikumi/matsumotoshihinanbasyo.html>

長野教育キャンパス周辺（長野市Webサイト）

<https://www.city.nagano.nagano.jp/soshiki/kikibousai/2530.html>

長野工学キャンパス周辺（長野市Webサイト）

<https://www.city.nagano.nagano.jp/soshiki/kikibousai/2530.html>

上田キャンパス周辺（上田市Webサイト）

<http://www.city.ueda.nagano.jp/kiki/kurashi/bosai/3taio/koiki.html>

伊那キャンパス周辺

（南箕輪村Webサイト）

<http://www.vill.minaminowa.nagano.jp/soshiki/soumu/hinan.html>

（伊那市Webサイト）

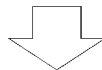
http://www.inacity.jp/bohan_bosai_kinkyu/bosai_bohan/hinanjoichiran/index.html

地震発生時の初動対応マニュアル
Instructions in case of an Earthquake

災害発生時の対応

When an earthquake strikes...

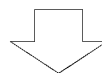
- (1) まず、身を守る！ 机、実験台の下などへ
Get under a desk or laboratory table to protect yourself.
 - (2) 火元の確認！ ガスの元栓、実験器具、実験試薬等の確認
Turn off the gas main, experimental instrument or laboratory reagent.
 - (3) 非常口の確保！ ドアを開ける
Open the door to secure an exit.
- ※自分の身を守ることを最優先に行動する！
* Make it to your top priority to protect yourself!



災害発生直後の対応

What to do immediately after an earthquake

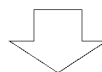
- (1) 余震の様子を見る！ 慌てて、飛び出さない
Beware of aftershocks. Do not rush outside.
- (2) すばやく消火！ 火が出たら、落ち着いて初期消火
If a fire has started, try to put it out calmly at an early stage.
- (3) 周囲の人の安全を確認！
倒れた書庫等の下敷きになっている人はいませんか？
Check to see if anyone has been injured.



災害発生後の対応

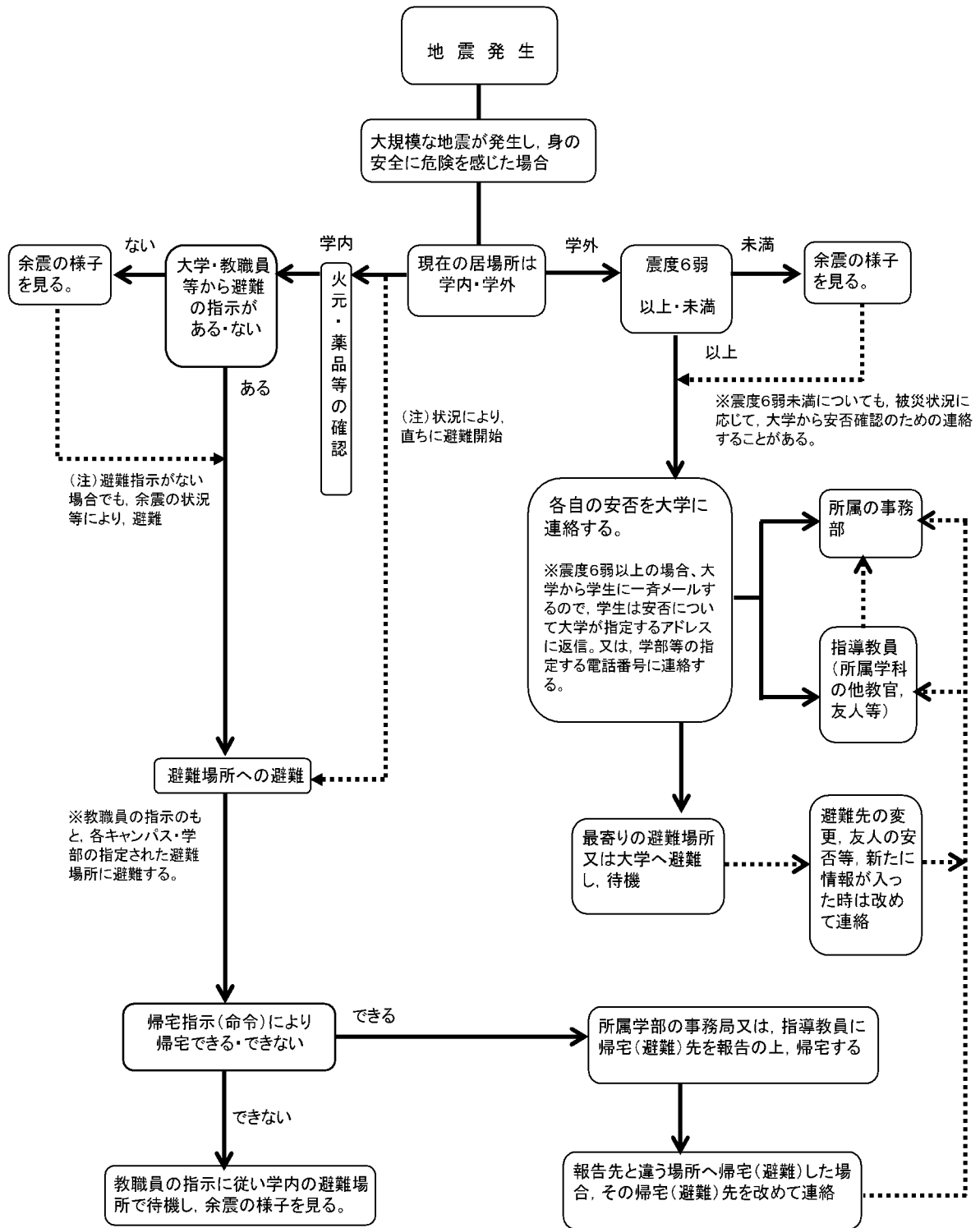
Procedures for evacuating

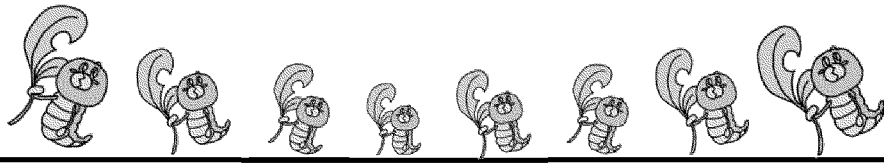
- (1) 隣接する部屋等は大丈夫？
隣の教室、部屋等で救助を求めている人はいませんか？
Check to see if anyone in the next room calls for help.
- (2) 指定された場所への避難！
授業担当教員の判断や職員の指示により指定された避難場所へ避難
Take refuge in the designated area as instructed by the teachers or staff.
- (3) 障害を持つ人、負傷した人など自力で避難できない人はいませんか？
Help anyone who is handicapped or hurt and unable to evacuate without assistance.



教職員による安否確認、避難場所での対応の指示を受けてください。
Have your safety confirmed and receive instructions by the staff in the designated evacuation area.

地震発生時の初動対応の流れ(学生)

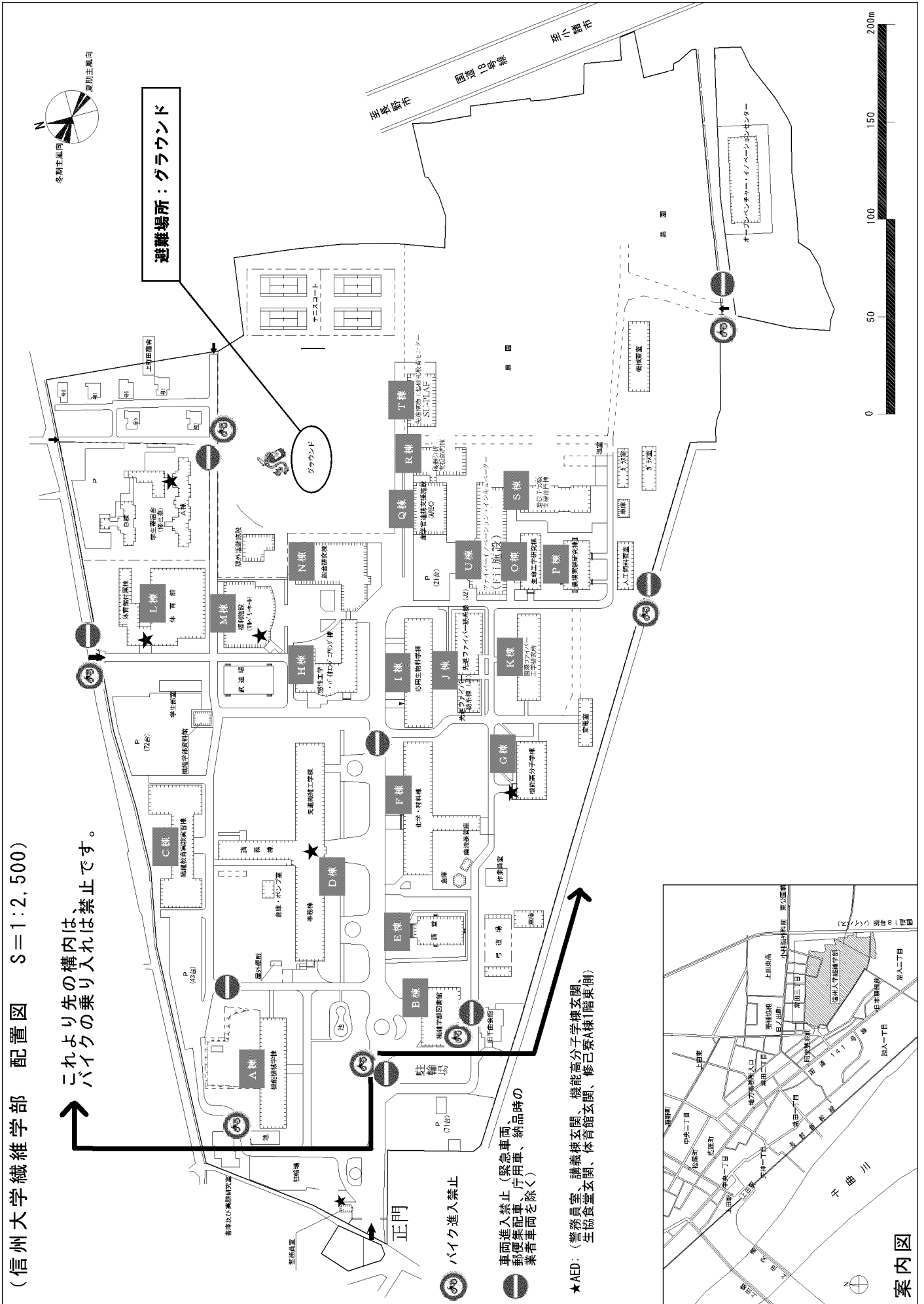




上田キャンパスマップ

(信州大学繊維学部 配置図 S=1:2,500)

これより先の構内は、
バイクの乗り入れは禁止です。



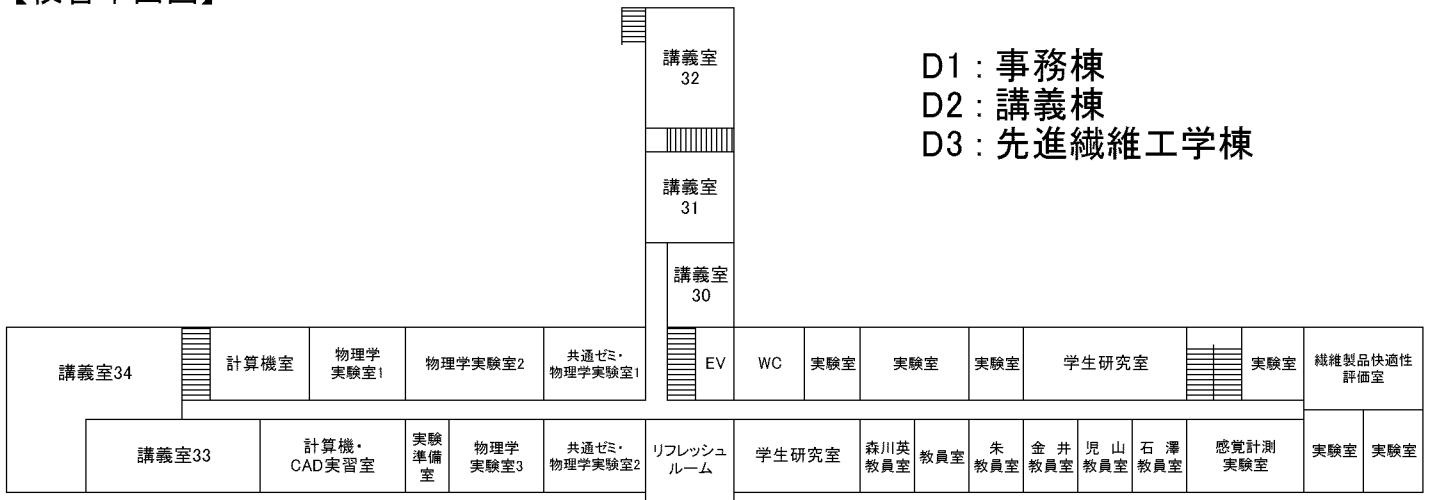
- バイク進入禁止
- 車両進入禁止 (緊急車両、郵便配車、庁用車、納品時の業者車両を除く)

★AED: (警務員室、講義棟玄関、機能高分子学棟玄関、生協食堂玄関、体育館玄関、修己寮A棟1階東側)

案内図

【校舎平面図】

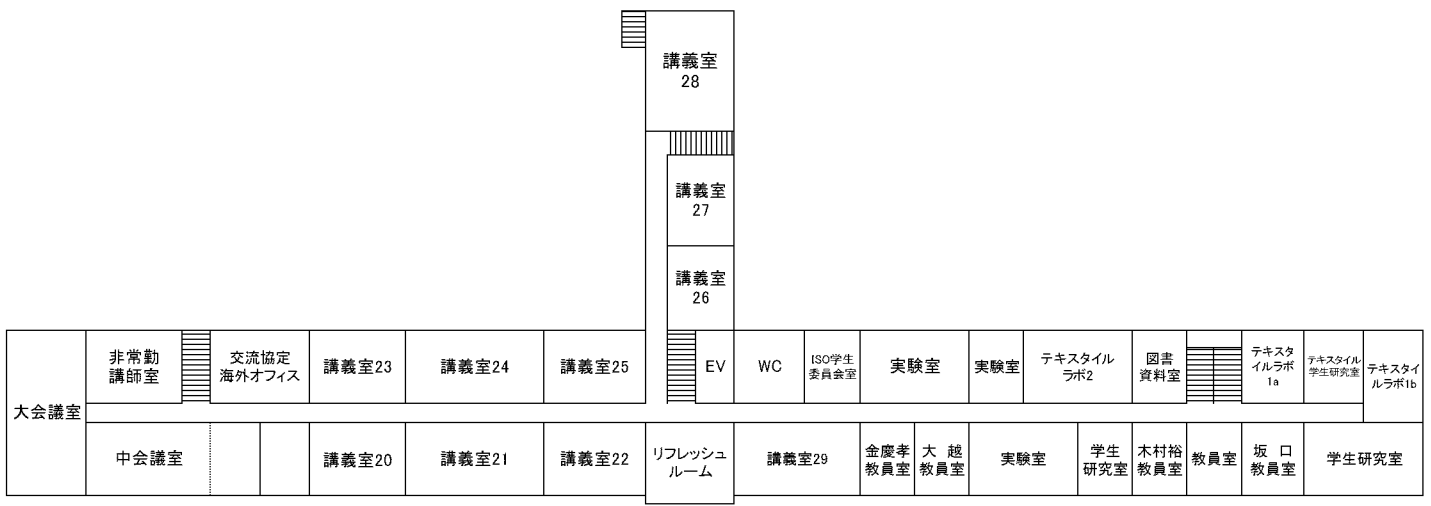
D1 : 事務棟
 D2 : 講義棟
 D3 : 先進繊維工学棟



事務棟3階平面図

講義棟3階平面図

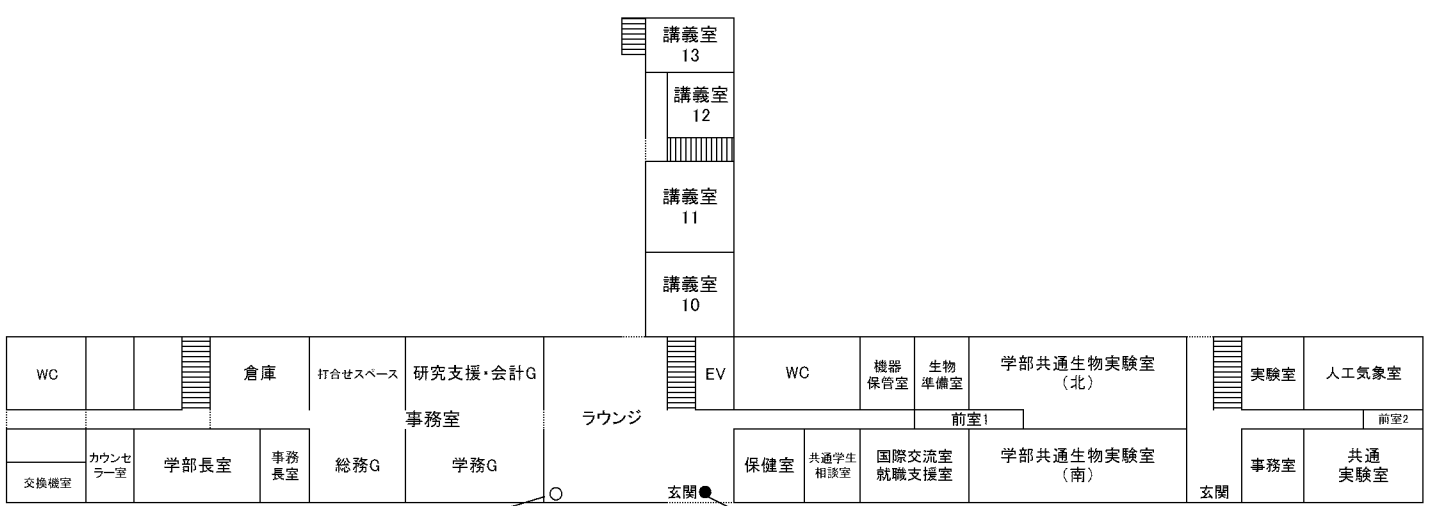
先進繊維工学棟3階平面図



事務棟2階平面図

講義棟2階平面図

先進繊維工学棟2階平面図



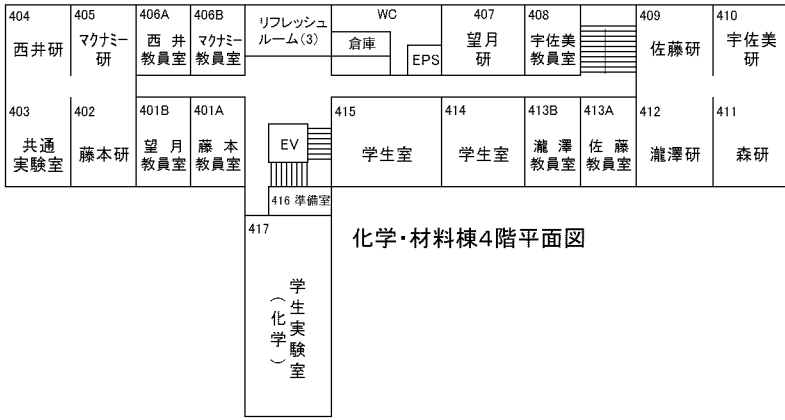
事務棟1階平面図

証明書発行機

講義棟1階平面図

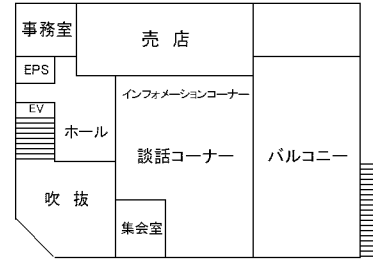
AED

先進繊維工学棟1階平面図

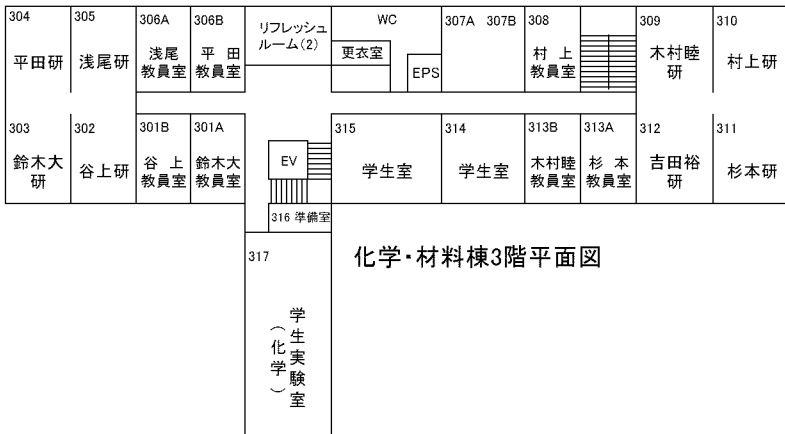


化学・材料棟4階平面図

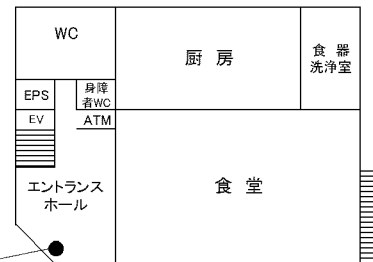
F: 化学・材料棟
M: 福利施設(マルベリーホール)
R: 機器分析支援部門棟



福利施設(マルベリーホール)2階平面図

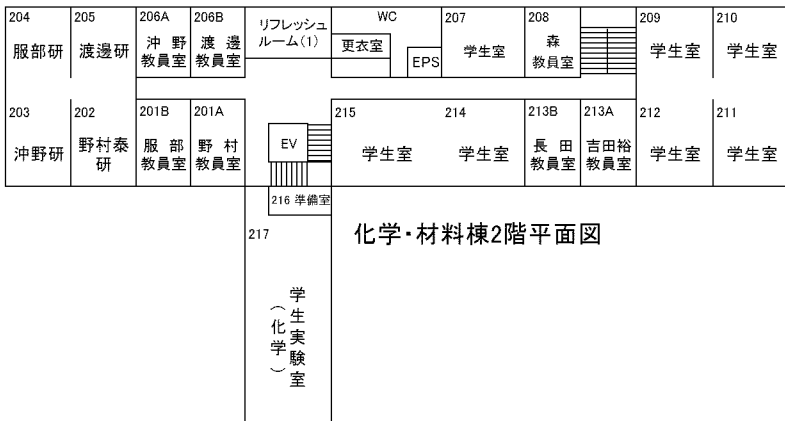


化学・材料棟3階平面図

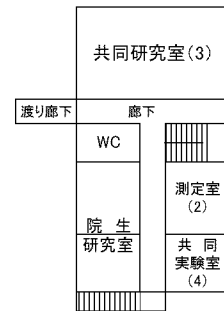


AED

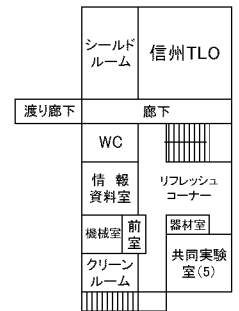
福利施設(マルベリーホール)1階平面図



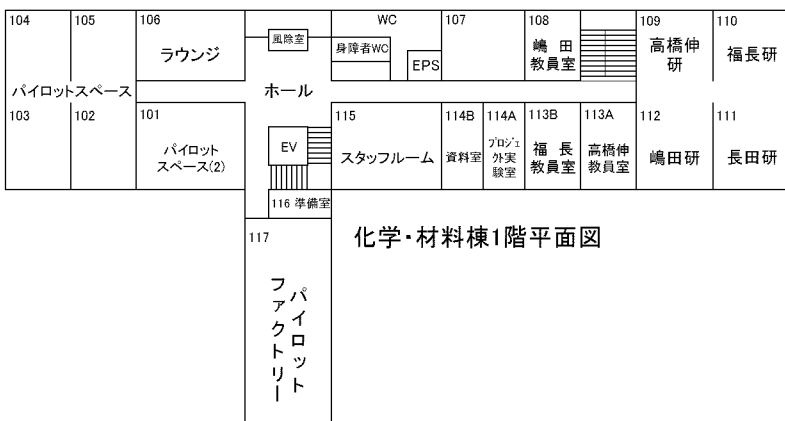
化学・材料棟2階平面図



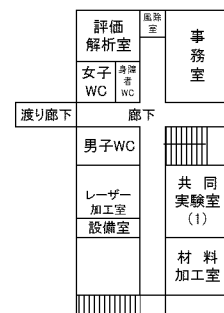
機器分析支援部門棟
3階平面図



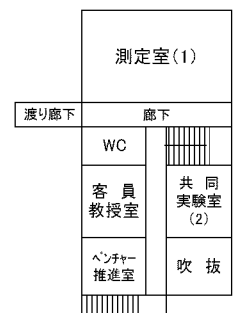
機器分析支援部門棟
4階平面図



化学・材料棟1階平面図



機器分析支援部門棟
1階平面図



機器分析支援部門棟
2階平面図

A : 機能機械学棟
 G : 機能高分子学棟
 I : 応用生物科学棟

301 製図室	302 教員室	311 繊維応用力学室 (恒温恒湿室)	312 成形研究室	313 暗室	314 暗室 前室	315 機械電子材料 科学研究室(3)	316 恒温恒湿室	317 X線装置 前室	318 クリーン ルーム	319 材料電子機 械学実験室
303 繊維応用力学 研究室(2)		304 教員室	305 鮑 教員室	306 機械電子材料科学研究室(1)		EV	307 倪 教員室	308 会議室	309 夏木 教員室	310 機械電子材料 学実験室(1)

機能機械学棟3階平面図

210 電子機械学 実験室(3)	211 電子機械学 実験室(4) (機械力トロ ニクス講座)	212 教員室	WC	214 須藤教員室	215 小西教員室	216 教員室	217 機械力学 研究室 (工作室)	218 暗室	219 暗室 前室	220 繊維機械 力学実験室 (3)
201 テクノロジー 研究室	202 テクノロジー 研究室	203 機械力トロニクス講座	204 電子機械学研究室 (生体/医用電子)	205 技術職員室	206 EV		207 金翼水 教員室	208 河村 教員室	209 宇宙探査工学 研究室	

機能機械学棟2階平面図

101 生体流体 実験室	110 恒温 恒湿室	111 鈴木智 教員室	WC	低湿 産	113 恒温 恒湿室	114 恒温 恒湿室	115 機械室 前室	116 低湿 産	117 女子更衣室	118 熱及び流体 工学実験室 (3)	118 繊維機械力学 実験室
102 数理工学実験室		103 熱及び流体工学 研究室(1)	104 若月 教員室	105 姫野 教員室	南側玄関		106 EV	107 事務室	108 生体応用 力学実験室	109 熱及び流体工学実験室(2)	東側玄関

機能機械学棟1階平面図

401 実験室	男子 WC	女子 WC	413 コミュニケーション ルーム	412 学生室	411 学生室	410 実験室	
	402 下坂 教員室	403 田口 教員室	404 志田 教員室	405 矢澤 教員室	406 野川 教員室	407 学生室	408 培養 実験室

応用生物科学棟4階平面図

301 実験室	男子 WC	女子 WC	312 コミュニケーション ルーム	311 学生室	310 学生室	309 実験室
	302 塩見 教員室	303 野村 教員室	304 林田 教員室	305 学生室	306 梶浦 教員室	307 教員室

応用生物科学棟3階平面図

吹抜	男子 WC	女子 WC	212 コミュニケーション ルーム	211 学生室	210 学生室	吹抜	
	202 森脇 教員室	203 玉田 教員室	204 白井 教員室	205 新井 教員室	206 学生室		207 多目的 実験室

応用生物科学棟2階平面図

実験室	108 事務室	男子 WC	女子 WC	107 コミュニケーション ルーム	106 実験室	105 実験室	旧ボイラ室
	101 パイロットスペース	102 実験室	103 実験室	104 共通 実験室			

応用生物科学棟1階平面図

511 実験室(3)	WC	510 大川 教員室	509 学生室 (3)	508 実験室(2)		
501 実験室(1)	502 伊藤 教員室	503 学生室 (1)	504 ES室 (1)	505 ES室 (2)	506 学生室 (2)	507 高坂 教員室

機能高分子学棟5階平面図

412 実験室(5)	WC	411 村井 教員室	410 学生室 (2)	409 寺本 教員室	408 実験室 (4)	
401 実験室(1)	402 荒木 教員室	403 学生室 (1)	404 ES室 (1)	405 ES室 (2)	406 実験室 (2)	407 実験室 (3)

機能高分子学棟4階平面図

309 実験室(3)	WC	310 ES室 (2)	309 ES室 (1)	308 実験室 (2)		
301 実験室(1)	302 市川 教員室	303 学生室 (1)	304 小駒 教員室	305 学生室 (2)	306 学生室 (3)	307 小山 教員室

機能高分子学棟3階平面図

211 実験室(3)	WC	210 ES室 (2)	209 ES室 (1)	208 実験室 (2)		
201 実験室(1)	202 後藤 教員室	203 学生室 (1)	204 鈴木正 教員室	205 学生室 (2)	206 学生室 (3)	207 梶上 教員室

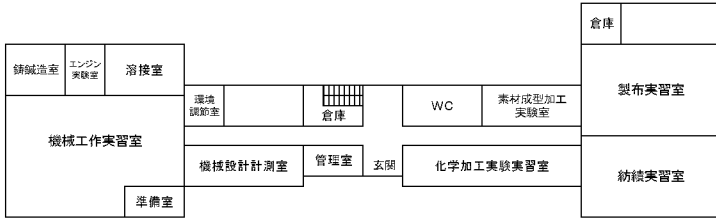
機能高分子学棟2階平面図

109 事務室	風除室	WC	108 電気室	107 PF室 (5)	106 会議室
101 PF室 (1)	102 PF室 (2)	103 PF室 (3)	104 PF室 (4)	105 共通 機器室	

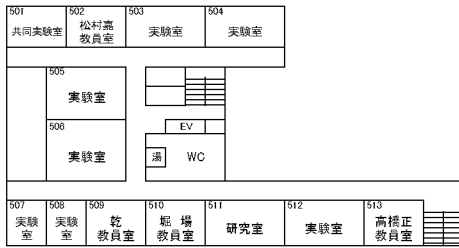
機能高分子学棟1階平面図

テキスタイル 性能計測室 (1)	テキスタイル 性能計測室 (2)	倉庫	繊維計測制御 装置室	紡糸計測システム室
フアイバー性能 計測室	紡績モニタシ ステム室	自動コトシステム室	製織自動化 システム室(1)	製織自動化 システム室(2)

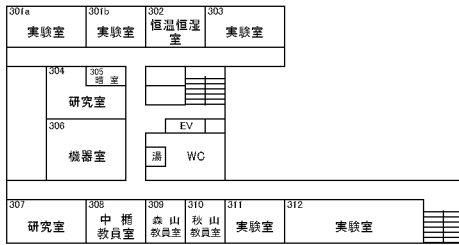
繊維教育実験実習棟2階平面図



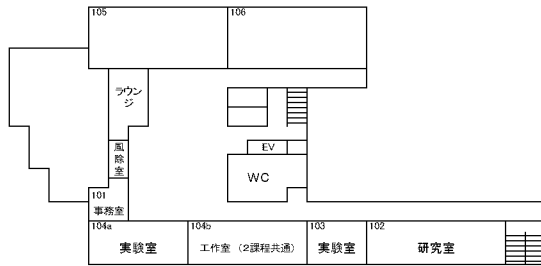
繊維教育実験実習棟1階平面図



感性工学・バイオエンジニアリング棟5階平面図

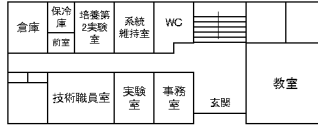


感性工学・バイオエンジニアリング棟3階平面図



感性工学・バイオエンジニアリング棟1階平面図

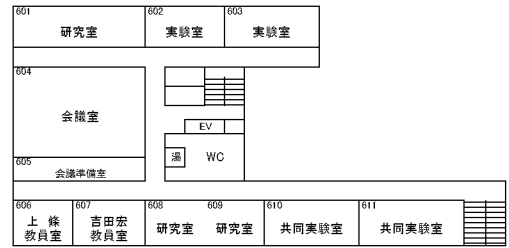
C: 繊維教育実験実習棟
H: 感性工学・バイオエンジニアリング棟
P: 農場実験研究棟



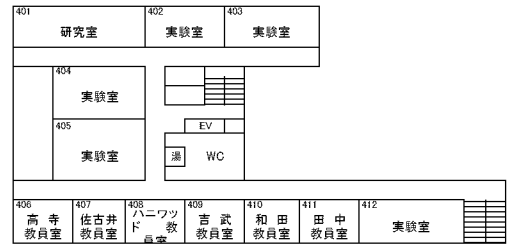
農場実験研究棟1階平面図



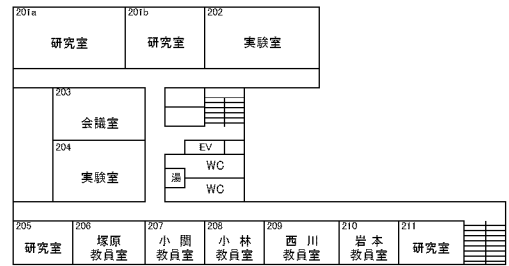
農場実験研究棟2階平面図



感性工学・バイオエンジニアリング棟6階平面図

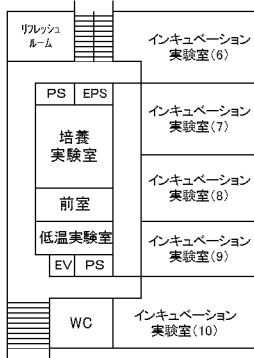


感性工学・バイオエンジニアリング棟4階平面図

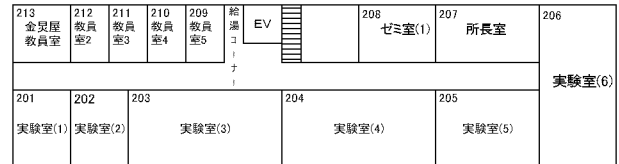


感性工学・バイオエンジニアリング棟2階平面図

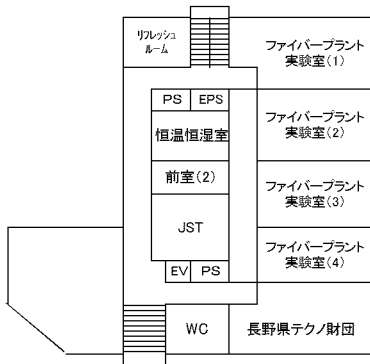
K : 国際ファイバー工学研究所
 N : 総合研究棟
 S : 遺伝子実験支援部門棟



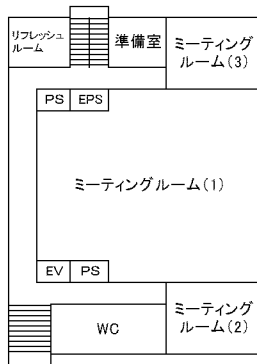
総合研究棟4階平面図



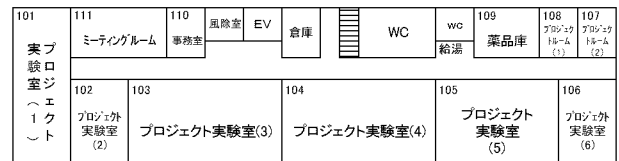
K棟 (国際ファイバー工学研究所) 2階平面図



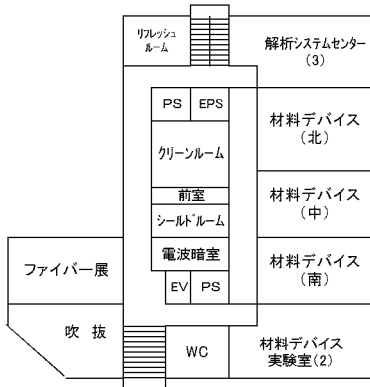
総合研究棟3階平面図



総合研究棟7階平面図



K棟 (国際ファイバー工学研究所) 1階平面図



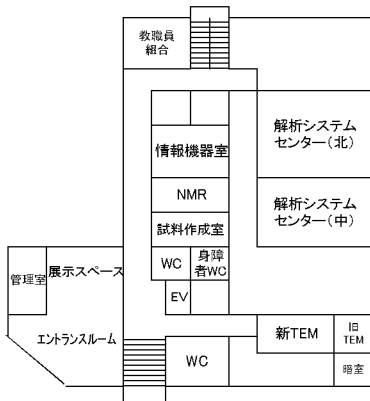
総合研究棟2階平面図



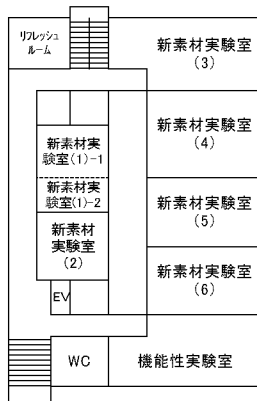
総合研究棟6階平面図



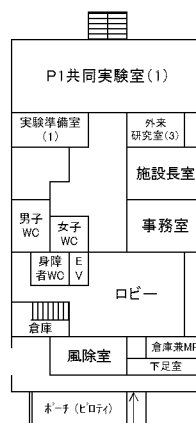
遺伝子実験支援部門棟3階平面図



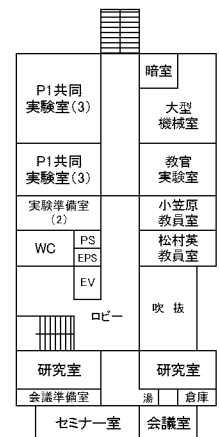
総合研究棟1階平面図



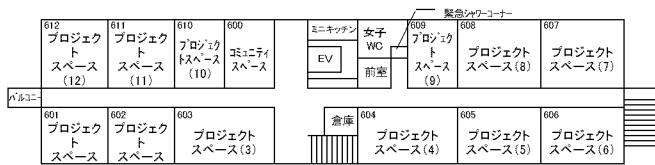
総合研究棟5階平面図



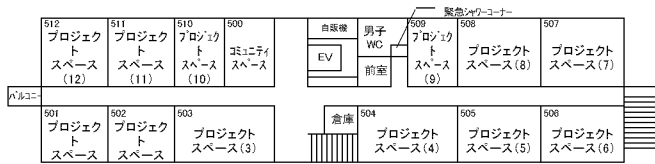
遺伝子実験支援部門棟1階平面図



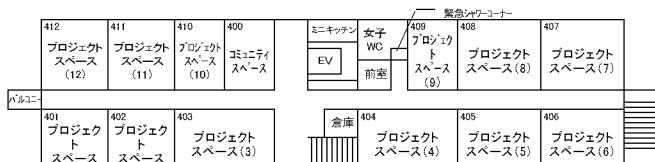
遺伝子実験支援部門棟2階平面図



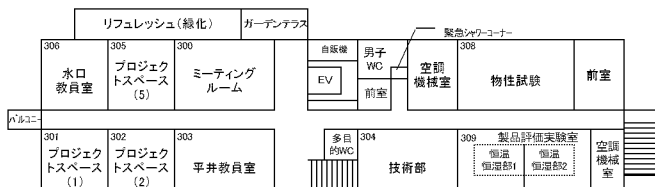
ファイバーイノベーション・インキュベーター施設6階平面図



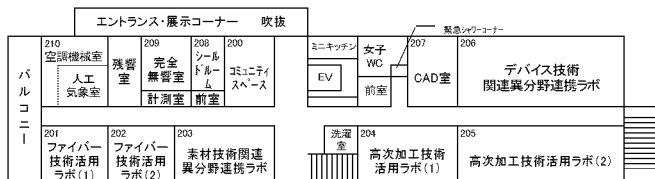
ファイバーイノベーション・インキュベーター施設5階平面図



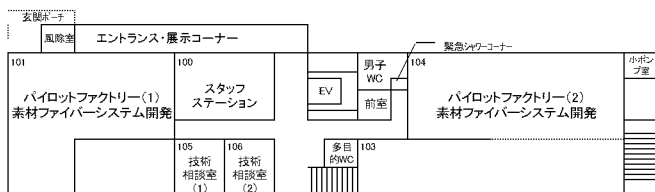
ファイバーイノベーション・インキュベーター施設4階平面図



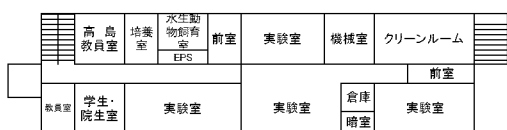
ファイバーイノベーション・インキュベーター施設3階平面図



ファイバーイノベーション・インキュベーター施設2階平面図



ファイバーイノベーション・インキュベーター施設1階平面図



生命工学研究棟2階平面図

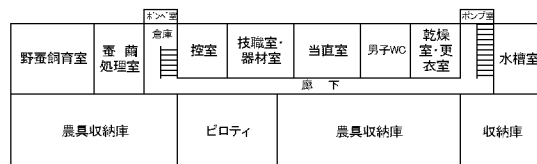


生命工学研究棟1階平面図

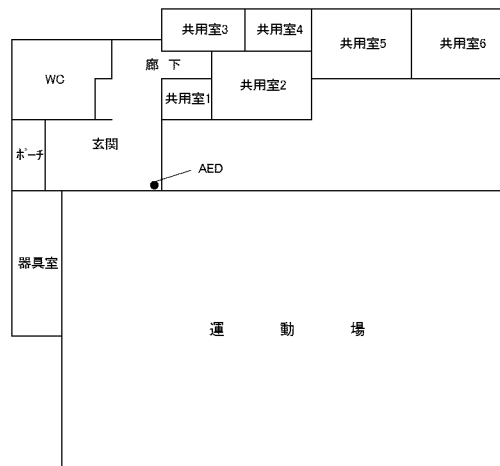
- L: 体育館
- O: 生命工学研究棟
- T: 先進植物工場研究教育センター
- U: ファイバーイノベーション・インキュベーター施設
- *: 大室農場(東御市)



東御市大室農場2階平面図



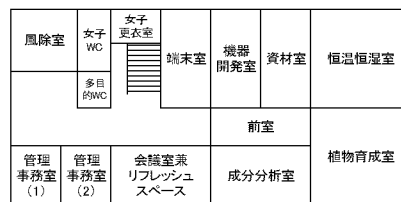
東御市大室農場1階平面図



体育館平面図



先進植物工場研究教育センター2階平面図



先進植物工場研究教育センター1階平面図

Address

	住 所	電話番号
信州大学繊維学部	〒386-8567 上田市常田3-15-1	
	◆学務G	(0268) 21-5322
	◆保健室	(0268) 21-5312
	◆研究支援・会計G	(0268) 21-5306
附属図書館 繊維学部図書館	//	(0268) 21-5313
国際ファイバー工学研究所	//	(0268) 21-5572
附属農場	//	(0268) 21-5555
// (大室農場)	〒389-0505 東御市和6788	(0268) 62-0090
信州大学基盤研究支援センター-遺伝子実験支援部門	〒386-8567 上田市常田3-15-1	(0268) 21-5800
繊維学部学生寄宿舍(修己寮)	〒386-0018 上田市常田3-15-1	(0268) 21-5613

信州大学 共通教育支援室	〒390-8621 松本市旭3-1-1	(0263) 37-2977
--------------	---------------------	----------------

信州大学生協(繊維学部)	〒386-8567 上田市常田3-15-1	(0268) 27-4978
信州大学基盤研究支援センター-機器分析支援部門上田分室	//	(0268) 21-5325
AREC(浅間リサーチ・イノベーション・センター)	//	(0268) 23-4377
千曲会館	〒386-0018 上田市常田3-8-37	(0268) 22-4465

〔信州大学ホームページ〕 <http://www.shinshu-u.ac.jp/>

〔繊維学部ホームページ〕 <http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles>

●上田中央消防署 0268-26-0119 (18時以降の当番医の確認)

●上田市内科・小児科初期救急センター 0268-21-2280

(必ず電話にて受診指示を受けて下さい)
(19:00~23:00 電話相談)
(20:00~23:00 診療時間)

●日曜・祝日の緊急医案内は、

上田市公式ホームページ (<http://www.city.ueda.nagano.jp>)

トップページ「暮らし・防災」-「消防・救急」-「救急、休日緊急医、歯科、薬局」

登録をお勧めします。



信州大学繊維学部

2019年4月発行

発行・編集/信州大学繊維学部 教務委員会 学務グループ
〒386-8567 長野県上田市常田3-15-1 TEL0268-21-5322